

- ル以下之ニ倣フ)、條數、架設年月
  - 十 本柱ノ種類(杉檜等ノ別)、防腐方法、末口(單位ヲ寸トス以下之ニ同シ)、全長(單位ヲ尺トス以下之ニ同シ)、建設年月
  - 十一 鐵柱ノ種類、構造(圖面ヲ添附スヘシ)、全長、建設年月
  - 十二 支柱ノ種類(杉、檜等ノ別)、防腐方法、末口、全長、建設年月
  - 十三 支線ノ型(叉形兩橫、兩縱、三方、四方、「マトチングトル」、「ホリゾンタルスター」等ノ別)、一束ヲ構成スル線種及條數
  - 十四 腕木ノ種類(樺、偶鐵等ノ別)、寸法、本數
  - 十五 碍子ノ種類箇數
  - 十六 開閉器ノ用途(變壓器用、引込用等ノ別)、種類(函入、單極、雙極、三極、單投、雙投、刀形、油入等ノ別)、容量(電壓電流)、箇數
  - 十七 變壓器ノ種類(油入、單相、三相等ノ別)、電壓、容量、箇數
  - 十八 避雷器ノ種類及箇數、地中板ノ種類及寸法
  - 十九 外燈ノ種類(白熱燈、弧光燈、炭素纖維條、金屬纖維條等ノ別)燭力、燈具ノ種類
  - 二十 電車線ノ形狀、太サ、線間距離(複線電車線式ノ正負兩極線間ノ距離)、吊架法(「ブラケット」、「スパン」、「カテナリー」等ノ別、其ノ構造ヲ各種類毎ニ圖面ヲ添附スヘシ)、架設年月
  - 二十一 電車線ノ「セクシヨン」、インシュレーターノ種類、箇數
  - 二十二 饋電線ヨリ電車線ニ至ル接續線ノ種類、太サ、條數
  - 二十三 電車線ニ於ケル饋電點ノ位置
  - 二十四 分岐點又ハ引込點
  - 二十五 電線ヲ所管外ノ線路ニ添架シタル場合ハ其ノ旨所管外電線ヲ添架セシメタル場合ハ前項ノ事項中之一ニ對スル分ヲ朱書別記スヘシ
- 第八條 歸線明細簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

[中略]

一 區間

- 一 第七條第一項第六號及第七號ノ事項
  - 二 導電ニ使用セル普通軌條ノ形狀及寸法、一碼ノ重量、標準一本ノ長サ、延長(軌道ノ長サニ依ル)
  - 三 補助歸線ノ品質、太サ、條數、延長、布設位置(軌道ヨリ右側又ハ左側、軌道中心ヨリノ距離)、布設年月
  - 四 「ボンド」ノ種類、形狀及寸法(長サハ實長トス、圖面ヲ添附スヘシ)、取付方法、一接續點ニ於ケル取付箇數、取付總數、標準隣接「クロツス」、ボンド間ノ距離
- 第九條 地中電線路ノ明細簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 第七條第一項第一號及第四號乃至第七號ノ事項
  - 二 布設ノ位置(軌道ノ右側、左側、橫斷等ノ別、若地中ニ埋設セサル部分アルトキハ其ノ取付箇所即チ石垣、隧道壁橋梁等ノ別ヲモ附記スヘシ)
  - 三 電線ノ用途(送電線、配電線、饋電線等ノ別及低壓、高壓等ノ別)、條數、構造(心線ノ種類及數、太サ、被覆絶緣物ノ種類、鍍裝ノ種類尙圖面ヲ添附スヘシ)、互長(第十條第一項第一號「ヘ」參照)、延長(鍍裝延長心線延長)、製造者名、布設年月
  - 四 布設ノ方法(暗渠、線渠直接埋設等ノ別ニ依ル)、布設ノ方法、圖面ヲ添附スヘシ)
  - 五 接續函ノ種類(開閉器ヲ備フルモノハ其ノ構造)、箇數、位置、包藏方法(圖面ヲ添附スヘシ)
- 第十條 電線路ノ互長及延長計算方ハ左ノ各號ニ依ルヘシ
- 一 互長計算方
    - (イ) 電柱ト電柱トノ間ハ地際ニ於ケル柱心間ノ直線距離(「スパン」、ボートルヲ用ヒタル箇所ハ本柱相互間)ニ依ル
    - (ロ) 電柱ト隧道又ハ橋梁トノ間ハ地際ニ於ケル柱心ト地際ニ於ケル隧道又ハ橋梁ノ端トノ直線距離ニ依ル
    - (ハ) 隧道内又ハ橋梁上ハ其ノ隧道又ハ橋梁ノ實長ニ依ル

[中略]

(ニ) 隧道ト隧道、隧道ト橋梁、橋梁ト橋梁トノ間ハ地際ニ於ケル其ノ隧道又ハ橋梁ノ端間ノ直線距離ニ依ル

(ホ) 家屋ノ内部及外側ハ支持點間ノ直線距離ニ依ル

(ヘ) 地中線路ハ電纜ノ鍍裝又ハ軌條ノ各實長ニ依ル

(ト) 引込線及幹線ニアラサル屋内線ノ互長ハ計上セサルモノトス

(チ) 前各號ノ計算ハ尺位ニ止メ其ノ以下ハ四捨五入トス

二 延長計算方

前號ニ依リ算出シタル互長ニ線條數ヲ乘シタルモノトス

前項ノ計算ハ總テ尺ヲ以テ表ハスヘシ

第十一條 電柱、支柱、支線ハ左ノ各號ニ依リ記載スヘシ

一 A柱、H柱、組合柱等ノ類ハ電柱一本トシテ計算シ明細簿ニハ「A」、「H」、「組」等ノ記號ヲ附シ適宜

ノ一本ヲ本柱トシ他ハ支柱欄ニ記入シ支柱ニ通算スヘシ

二 「スパン、ポール」ノ一方ニ饋電線ヲ架シタルモノハ之ヲ本柱トシ他ヲ副柱トスヘシ但シ双方ニ饋電線

ヲ架セサルモノハ前番號本柱ト同側ニ在ルモノヲ本柱トシ又前番號トシテ依ルヘキモノナキ場合ハ適宜

其ノ一方ヲ本柱トスヘシ

三 電車線路ニ添架セル饋電線ノ一部分カ地形其ノ他ノ關係上電車線路ニ添架シ能ハサル場合ニ饋電線專

用トシテ建設シタル電柱ハ特柱トスヘシ

四 「センタリ、ポール」ハ本柱トスヘシ

五 電柱ノ代用トシテ橋梁又ハ家屋ニ取付ケタル電線支持物ハ電柱ト見做シ明細簿ニ記入シ其ノ數ハ電柱

ニ通算シ尙未記再掲スヘシ

六 「ホリゾンタル、ステール」、「マトチングトル」ハ支線一本ト看做シ尙支線柱ハ支柱ノ欄ニ記載シ支線柱

ナル旨附記スヘシ

第十二條 明細簿ノ記載事項ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ異動事項ヲ更記シ其ノ他ハ記號「」ヲ記入シ置ク

〔中管〕

〔中管〕

第三章 電力線路圖

第十三條 電力線路圖ハ左ノ區分ニ依リ整理スヘシ

一 縮尺ヲ約二千分ノ一トシ架空線路、地中線路等ノ一連續區域毎ニ一枚トスヘシ

二 複雑ナル驛所構内ノ分ハ前號ノ圖面ニ幹線ノミヲ記載シ更ニ縮尺約六百分ノ一ノ詳細圖ヲ作製スヘシ

三 前各號ノ場合ニ於テ二箇以上ノ線路カ相接近シ又ハ同一位置ニ架設シアリテ明瞭ヲ缺クト認ムルモノ

ハ各線路毎ニ作製スヘシ

電燈ニ關シテハ電燈設備手續ニ依リ作製シタル電燈設備現在圖ヲ常ニ加除訂正シ之ヲ前項第二號ノ電力線

路圖ニ兼用スヘシ

第十四條 鐵道線路ニ沿フ電線路ノ軌道ノ位置ヲ示シテ其ノ關係ヲ明カナラシムヘシ

第十五條 電線ハ左ノ區別ニ依リ圖示スヘシ

一 架空線(架空電車線ヲ除ク)

二 架空電車線

三 地中線(地面線ヲ含ム)

四 補助歸線

第十六條 左ニ掲クルモノハ其ノ所在ヲ圖示スヘシ

一 電柱及其ノ他ノ支持物(其ノ番號ヲ附記スヘシ)

二 支線及支柱

三 地中線接續函

四 引込箇所

五 停車場本屋及關係建物

六 橋梁及隧道

七 電力線路ト交叉セル他ノ電線

八 前各號以外圖示スルヲ必要トスルモノ  
第十七條 第十三條第一項第二號ノ驛所構内圖ニハ前條ニ依ルノ外尙左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 變壓器

二 開閉器

第十八條 電力線路略圖ハ明治四十二年達第六六一號電線路臺帳其ノ他整理保存ノ件中電線路圖調製方ニ依ルノ外別紙圖例及左ニ依リ作製スヘシ

一 明細簿一冊毎ニ一枚トナスコト但シ驛所構内其ノ他複雑ナル枝線アル場合ハ枝線ニ對スル分ヲ別紙トシ幹線トノ關係ヲ明示スヘシ

第十九條 圖面ニ用フル符標ハ大正二年十月鐵道公報注意事項電氣ニ關スル圖示符標ニ依ルヘシ但シ特種ノ符標ヲ要スル場合ハ凡例ヲ示シ置クヘシ

大正三年十二月東達第一三八號ハ之ヲ廢止ス  
(附屬樣式及圖面ハ別途關係ノ向ニノミ配付ス)

○發電所、變電所、電車庫、列車電燈所、工場以外ニ設置シタル電力

機械並附屬器具保守方

(大正五年五月十日) 局一般  
中達甲第三五五號

自今發電所、變電所、電車庫、列車電燈所、工場以外ニ設置シタル電力機械並附屬器具ハ其ノ設置場所ヲ擔當スル電力區ニ於テ保守スヘシ  
大正三年二月東達第一三三號及本達ニ牴觸スル從前ノ達示ハ之ヲ廢止ス

○變壓器油檢查方

(大正五年五月十日) 工場、運輸、電力事務所、發電所、變電所、電力區  
中達甲第三五三號

變壓器油檢查方左ノ通定ム

一 油入變壓器(柱上變壓器ヲ除ク)使用ノ各所ニ於テハ毎年一、四、七、十月ニ於テ變壓器下層部分ノ油ニ付左ノ事項ノ檢查ヲ爲シ若不良ト認ムルモノアルトキハ取替又ハ濾過乾燥其ノ他適當ノ措置ヲ爲スヘシ

[中管]

[中管]

(イ) 沈澱物ノ有無

(ロ) 水分含有ノ程度

(ハ) 酸、アルカリノ有無

(ニ) 前各號外變質又ハ濃度變化等著シキ現象

二 前項(ロ)號ニ依ル水分ノ檢定ハ適宜左ノ方法ニ依リ施行スヘシ

(イ) 油ノ少量ヲ小皿ニ入レ之ニ赤熱シタル鐵片ヲ挿入スルトキ小爆音ヲ發スレハ水分ヲ含有ス

(ロ) 油ノ少量ヲ試驗管ニ入レ之ヲ熱スルトキ小爆音ヲ發スレハ水分含有ス

(ハ) 青色硫酸銅ヲ燒キテ白色ニシタル無水硫酸銅ノ少量ヲ試驗管ニ入レ之ニ油ヲ注キ充分振盪シタル後白色硫酸銅青色ニ變スルトキハ水分ヲ含有ス

(ニ) 試驗管ニ五十瓦ノ油ヲ入レ之ニ十立方センチメートルノ濃硫酸ヲ注入スルトキ明ニ溫度ノ上昇ヲ認ムレハ水分ヲ含有ス

三 正確ナル電氣的絶緣力破壞試驗又ハ酸、アルカリ若ハ硫黃ノ存否檢定ヲ爲スノ必要ヲ認ムルトキハ見

本油ヲ送附シ工作課ニ檢定方ヲ請求スヘシ

大正三年十一月東達第一七號油入變壓器下層部分ノ油檢查方ノ件大正二年十一月東管電第八三九號礦油中

ニ含有スル水分檢定方ノ件及之ニ牴觸スル從前ノ達示ハ之ヲ廢止ス

○屋内電燈電力線定期檢查方

(大正五年五月十日) 工場、運輸事務所、電力事務所  
中達甲第三五七號

電力區

屋内電燈電力線ハ左ノ區別ニ依リ定期檢查ヲ行ヒ不良ノ部分ニ對シテハ相當措置ヲ爲シ檢査ノ成績及措置ノ要領ヲ記録シ置クヘシ

一 當局ニ於テ送電上ノ責任ヲ有スルモノハ保守上ノ必要ニ依リ隨時施行スルノ外定期檢査トシ毎年四、

五、六月中ニ於テ絶緣試驗ヲ行フヘシ

絶緣試驗ハ電線ト大地間及電線相互間ニ付行フヘシ但シ特種ノ事由ニ依リ試驗ヲ行フコト困難ナル場合ハ省略方具申シ承認ヲ受クヘシ

- 一 當局ニ於テ設備シタルモノニシテ電氣供給事業者ニ於テ送電上ノ責任ヲ有スルモノハ當該事業者ヲ立會ハシメ前號ニ依ル絶縁試験ヲ行フヘシ
- 二 電氣供給事業者ニ於テ設備シタルモノハ立會ノ上當該事業者ヲシテ毎年一回以上遞信省令電氣工事規程ニ依ル絶縁試験ヲ行ハシムヘシ
- 三 大正三年十一月東達甲第三六號屋内電燈電力線定期検査方ノ件大正二年七月神管達第二〇〇七號電氣ニ關スル報告例中第七條報告例第十八項驛所電燈検査報告及本達ニ抵觸スル從前ノ達示ハ之ヲ廢止ス

○容量小ナル三相交流誘導電動機運轉上ノ注意ニ就テ

（大正五年五月十日）  
局報注意  
改正 大正五年十二月九日局報注意

- 容量小ナル三相交流誘導電動機ノ取扱者ハ常ニ左ノ事項ニ注意シ運轉スヘシ
- 一 濕氣ノ侵入ニ注意スルコト  
電動機其ノ他電氣機械ハ濕氣ヲ帶フルトキ其ノ絶縁耐力著シク減退スルモノナレハ直接濕氣ノ侵入ヲ防止スルハ勿論塵埃ノ附着カ往々濕氣ヲ誘致スル原因トナルヲ以テ出來得ル限り之カ附着ノ防止ニカムヘシ殊ニ一時運轉ヲ中止セシ電動機ハ濕氣ヲ帶ヒ易キヲ以テ運轉ニ先テ乾燥ノ爲一、二時間電動機ノミヲ運轉シ絶縁良好トナルヲ認メタル上漸次負荷セシムヘシ
  - 二 軸承ノ發熱ニ注意スルコト  
電動機軸承ノ發熱ハ概シテ左ノ場合ニ起ルモノナレハ之カ注意ヲ怠ルヘカラス  
（イ）軸承油溜中ニ油量少キ場合  
（ロ）軸承内「メタル」ノ油道閉塞シタル場合  
油道ニ塵埃、金屬粉等停滯スル爲油ノ流通ヲ阻碍スルコトアリ又純良ナル油モ之ヲ長時間使用スルトキハ殘滓ヲ生シ油道ヲ閉塞スルコトアリテ時々取替ヲ爲スヘシ  
（ハ）軸承ノ注油環ノ廻轉自由ナラサル場合  
（ニ）油ノ不良ナル場合  
「ダイナモ」油ヲ使用スヘシ  
（ホ）軸ト軸承トノ摺り合セ適當ナラサル場合  
（ヘ）鋼革ノ緊張強キニ過キタル場合

〔中管〕

調車ハ注ラサル限り成ヘク緩ニ張ルヘシ

- （ト）負荷大ニ過クル場合
- （チ）廻轉子（ロートル）其ノ他ノ箇所ニテ發熱シタルモノカ軸ヲ傳達シテ軸承ニ至ル場合
- 三 軸承ノ油ノ分量ニ注意スルコト  
油溜ニ油少キトキハ軸承發熱ノ原因ヲ爲スコト勿論ナルモ若シ之ヲ多量ニ注入スルトキハ外部ニ溢出シ不經濟ナルノミナラス油ハ廻轉子軸ヲ傳ハリ廻轉子並固定子（ステーター）ニ侵潤シ爲ニ塵埃附着シ損傷ヲ生スルコト少カラサルヲ以テ油量ニ過不足ナキ様注意スヘシ
- 四 廻轉子固定子間ノ空隙ニ注意スルコト  
廻轉子、固定子間ノ空隙ハ全周周通シテ各部等一ノ距離ヲ保タシムヘシ長時間運轉ノ結果軸承ノ「メタル」磨滅シ其ノ間隙不同トナリ甚シキニ至リテハ遂ニ廻轉子ト固定子ト相互磨擦シ燒損スルコトアリ故ニ其ノ間隙ニハ常ニ充分ナル注意ヲ爲シ甚シキ不同ヲ來サ、ル内「メタル」ノ取替ヲ爲スヘシ
- 五 固定子ノ發熱ニ注意スルコト  
固定子ノ甚シク發熱スルハ主トシテ規定以上負荷セシムルニ因ルモノナレハ其ノ際ハ發熱ノ甚シカラサル程度迄負荷ヲ輕減スヘシ
- 六 可熔遮斷器ニ注意スルコト  
可熔片ニハ常用電流ニ適應スル大サノ可熔安全金屬線（又ハ片）ヲ使用スヘシ決シテ銅、鐵片ノ如キモノヲ用ウヘカラス
- 七 電壓計又ハ案内燈ニ注意スルコト  
電壓計又ハ案内燈ハ電壓力適當ナルヤ否ヲ表示スルモノナレハ開閉器ヲ閉ツル以前充分ナル注意ヲ爲スヘシ若シ電壓計指示多大ナルカ案内燈ノ光輝甚シキトキハ電動機、線輪其ノ他線路ニ障害ヲ惹起スルコトアルヲ以テ又電壓計ノ指示非常ニ小ナルカ案内燈ノ光輝著シク暗弱ナルトキハ電動機起動セス或ハ線輪ノ燒損ヲ生スルノ虞アルヲ以テ適當ナル電壓ニ變更セシムヘシ
- 八 電流計指針ニ注意スルコト  
（イ）電動機附屬ノ電流計ハ常ニ負荷ノ狀態ヲ指示スルモノナルカ故ニ規定電流ヲ超過セサル様注意スヘシ  
（ロ）起動電流ハ大抵普通運轉狀態ニ於ケル電流ト異ルモノナルヲ以テ豫メ之ヲ明記シ置キ若シ起動ニ當リ一層大ナル電流表ハル、モ電動機運轉セザルコトアルトキハ過負荷ナラサルヲ軸、軸承等ニ於ケル磨擦大ナラサルヲ廻轉子ト固定子トカ接觸シ居ラサルヲ點檢スヘシ  
（ハ）電動機起動スルモ電流計指示セザルトキハ電流計ヲ檢査シ電動機起動セス電流計指示セザルトキハ電路ノ切斷セル箇所ナキヤ點檢スヘシ
- 九 電動機ノ附近ニアル鐵片、鐵屑等ニ注意スルコト  
電動機ニ鐵片、鐵屑、鐵粉等チ近ツクルトキハ忽チ吸引セラレ廻轉子又ハ固定子等ニ附着シ電動機燒損其ノ他不慮ノ障害ヲ惹起スルコトアルヲ以テ特ニ充分ナル注意ヲ爲スヘシ
- 十 電動機ノ掃除ヲ怠ラサルコト

〔中管〕

上述ノ如ク電動機ハ濕氣ヲ帶ヒサル様又油液ニ浸潤セラレサル様且又鐵屑、鐵粉、塵埃等附着セサル様充分清潔ニ保守スルコト肝要ナルヲ以テ掃除ヲ怠ルヘカラス而シテ掃除ハ機械掃付場所ニヨリ其ノ度數一様ナラサレトモ通常塵埃等甚シカラサル場所ニ在リテハ毎月一回分解ノ上丁等ニ施行スヘシ掃除ノ順序ハ先ツ電動機ノ軸承部分ヲ外シ廻轉子ヲ固定子中ヨリ取出スヘシ軸承部分外シタラハ「メタル」、注油環及廻轉子軸ニ附着セル汚物ヲ石油ニテ能ク洗ヒ去リ清潔ナル布片ヲ以テ石油ヲ拭ヒ取ルヘシ廻轉子、固定子ノ鐵心及其ノ線輪ニ附着セル塵埃等ハ清潔ナル布片ヲ以テ丁寧ニ拭ヒ取ルヘシ若シ鐵心ニ附着セル塵埃等ニシテ布片ヲ以テ除去シ難キモノハ便宜細小ナル刷毛（齒磨子ノ如キモノナ）以テ丁寧ニ之ヲ掃除シ最後ニ線輪ノ組合部分ノ如キ狭キ箇所ニ附着セルモノハ手吹子ヲ以テ之ヲ吹キ去リ出來得ル限り清潔ナラシムヘシ而シテ全ク掃除ヲ終リ再ヒ組立ヲ爲シタルトキハ軸承ノ注油環力原位置ニ復シ軸ニ從ヒ廻轉スルヲ認メタル後新シキ油ヲ（又ハ濾過シタルモノ）注入スヘシ

前述ノ如ク石油ヲ以テ各部ヲ洗フ際ト雖特ニ注意シ導線、線輪其ノ他電氣的絕緣部分ニ之ヲ觸レシムヘカラス

（大正二年十二月二十六日局報注意事項ハ之ヲ廢止ス）

○驛庫所ニ設置セル電動機ノ油ニ就テ

（大正五年十二月二十七日）  
（局報注意）

○電燈設備手續

（大正四年十月九日） 局一般  
（中達甲第二四三號）  
改 大正五年一月二十八日中達甲第二七號  
正 大正六年一月二十四日同 第一五號

電燈設備手續左ノ通定メ十月十五日ヨリ之ヲ施行ス

大正三年十一月東達甲第五八號電燈設備手續及大正二年七月神管達第二〇〇七號電氣ニ關スル報告例電力ニ關スル事項中其ノ他本達ニ牴觸スル從前ノ達示ハ之ヲ廢止ス

電燈設備手續

- 第一條 電燈ノ新設（驛、庫、所別）増設並燭力變更ヲ爲サムトスル場合ニハ本手續ニ依リ其ノ旨具申シ承認ヲ經テ施行スヘシ
- 第二條 電線燈具等ノ設備ヲ院ニ於テ施設スル場合ノ具申書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
  - 一 工事名

〔中管〕

〔中管〕

- 二 本設備ヲ必要トスル事由
- 三 費途
- 四 工事施行ノ方法（直管又ハ請負、隨意契約）  
前項ノ具申書ニハ工事ノ施行ノ方法ニ從ヒ之ニ適合スル左ノ書類並圖面ヲ添付スヘシ
- 一 工事費豫算書（第一號様式）
- 二 工事内譯書（第二號様式）
- 三 工事設計書（直管工事ニ限リ添付スヘシ）
- 四 工事示方書（請負工事ニ限リ添付スヘシ）
- 五 外線及外燈配置設計圖（縮尺ハ六百分ノ一トス但シ大停車場圖ハ千二百分ノ一トシ又舊私設鐵道線路ニ屬スル分ハ一吋ヲ一釐ニ縮尺スルコトヲ得。以上ノ縮尺ヲ用キタル平面圖ニ電氣ニ關スル圖示符號凡例（大正三年一月九日公報）ニ依リ電燈ノ位置、燭力及燈具ノ種類、電柱ノ位置、柱間距離、電線ノ種類（第一種絕緣鋼線ヲ用ユル場合ハ記載スルニ及ハス高壓配電線ハ其ノ符號ヲ示ス）線號（「ビ」ニス、ゲージ）ヲ使用スルコトニ定ム其ノ場合ニハ單ニ線番ノミナ記載スルニ及「ゲージ」ヲ使用スル必要ナシタルトキハ線號、線番ヲ併記ス以下之ニ依リ）及條數（二條（往復線）架ノミ架設ノ場合ハ記載スルニ及スルニ及ハス以下之ニ依リ）變壓器ノ位置、容量、及個數其ノ他特種器具並油燈位置（新設ノ場合ニ限ル）等ヲ記載スヘシ）
- 六 内線及内燈配置設計圖（縮尺百分ノ一ノ平面圖ニ電燈ノ位置、燭力及燈具ノ種類、電線ノ種類、電線ノ種類、線號、條數、契約ノ締結又ハ變更ニ要スル供給者ノ申込條件書若ハ覺書
- 七 電燈供給者ノ一般供給規程（新設ノ場合ニ限リ添付スヘシ但シ既ニ提出シタル規程ト同一ノ場合ハ其ノ旨附記シ省略スルコトヲ得）
- 八 電燈比較表 第四號様式ニ依リ主管事務所長作製ス
- 第三條 電線燈具等ノ設備ヲ電氣供給者ニ於テ施設スル場合ノ具申書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
  - 一 本設備ヲ必要トスル事由
  - 二 本設備ハ電氣供給者ノ負擔ヲ以テ施設スル旨
  - 一 前項ノ具申書ニハ左ノ書類並圖面ヲ添付スヘシ
  - 一 工事示方書
  - 二 前條第二項五、（柱間距離）記入スルニ及ハス六、乃至九各號ノ圖面及書類

何々工事豫算書

(第一號様式判紙半裁大)

費目	工費	材料費	雜費	計	財産増額	記事
補充費						
電力線路費	4,900	18,390		23,180	23,180	
電燈電力費	6,400	34,710		41,110		
※ 計	11,200	53,090		64,290	23,180	
保存費						
電力線修繕費	3,200	13,780		16,980		
※ 計	3,200	13,780		16,980		
※ 合計	14,400	66,870		81,270		
					23,180	
備考	※印ノ行ハ朱書スヘシ					

- 第四條 左ノ場合ハ臨機施行ノ上工事豫算額圖面及契約變更其ノ他必要ナル事項ヲ遲滞ナク報告スヘシ
- 一 白熱電燈五燈以下ヲ既設箇所ニ増備スル工事但シ電力線路ノ増加ハ延長七十五間以内ニシテ且ツ且長二十五間以内タルコトヲ要ス
  - 二 連續使用七日以内ノ期間ニ於テ假設スル電燈並電力線路
  - 三 燈具及燭力ノ變更
- 第五條 前各條ノ設備竣成シタル場合其ノ他異動ヲ生シタルトキハ別紙第三號様式ニ依リ一箇月分ヲ取纏メ翌月十日迄ニ提出スヘシ
- 第六條 電燈設備ニ異動ヲ生シタル場合ハ電燈設備現在圖(第二條第二項ノ各號ニ準シ調製)尙(尙)ヲ調製若ハ加除訂正シ置クヘシ



摘要	現 在		新 設		種別	燃力	筒數	單一箇月間ノ費用
	種別	筒數	種別	筒數				
屋内外共設備總數	八	五分	白熱	五	"	一〇	二	三、五〇〇
赤芯、層、火舎、其ノ口金	計	六	白熱	一	一六	一七	二	七、〇〇〇
		三						
電燈料	計	二						一、九、六〇〇
		五分						四、九〇〇
仕拂額	計	二						一、四、七〇〇
		五分						一、七、七〇〇
合 計	計							二、一六五
差引 増加費額								一、二、九二六
								一、七、七〇〇

○電燈點火契約書例文制定ノ件

(大正五年五月十日 中途甲第三四四號)

局一較

〔中管〕

電燈點火契約書例文左ノ通定ム

大正三年十一月東達第一七三三號ハ之ヲ廢止ス

契 約 書 (甲ノ設備定額燈)

停車場構内所要電燈ニ關シテ中部鐵道管理局長

- ヲ甲トス
- ヲ乙トシ契約スルコト左ノ如シ
- 第一條 乙ハ甲ノ要求ニ從ヒ甲ノ設備ニ係ル電燈ニ對シ所定ノ電壓ニ於テ電氣ヲ供給スルモノトス
- 第二條 電燈數並點火料金ハ別表ノ通り之ヲ定ム
- 第三條 甲ニ於テ燈數ヲ増減シ若ハ燭力ノ變更ヲ申込ミタルトキハ乙ハ電力ノ許ス限リ之ニ應スルモノトス
- 此ノ場合乙ノ提出スル承諾書ノ日附ヲ以テ別表ノ燈數ヲ改正シタルモノト看做ス
- 第四條 乙ニ於テ一般ニ點火料金ヲ低減シタルトキハ直ニ甲ニ通知シ本契約ノ料金ヲ亦之ニ準シ低減スルモノトス
- 第五條 電線路其ノ他設備物件ノ保安並送電上ノ責任ハ全部乙ノ負擔トス
- 設備物件ノ補修費ハ次條ニ掲ケルモノヲ除クノ外甲ノ負擔トス
- 第六條 電球燈、炭素棒及安全線ノ取換ハ甲ノ故意又ハ過失ニ因リ破損シタル場合ノ外總テ乙ノ負擔トス燭力減退拾分ノ壹以上ノ電燈球ハ即時取換ヲ爲スモノトス
- 前項ノ取換品ハ甲ノ所有トス
- 第七條 乙ノ故意又ハ過失ニ因リ甲ノ設備物件ヲ毀損シタル場合ハ乙ニ於テ直ニ修理スルモノトス
- 第八條 乙ニ於テ事故ノ爲點火シ能ハサルコトヲ豫知シタルトキハ直ニ其ノ旨甲ニ通知スルモノトス
- 第九條 點火料ハ左ノ計算方法ニ依リ每翌月中乙ノ請求ニ應シ甲ヨリ之ヲ支拂フモノトス
- 一、點火日數壹箇月ニ滿タサルモノニ對シテハ其ノ月ノ日數ニ應シ日割計算トス



二、總テ支拂ハ曆月ニ依リ打切計算トス  
第十條 本契約ノ期間ハ大正 年三月三十一日迄トス但シ甲ハ三日以前ノ豫告ヲ以テ何時ニテモ解約スルコトヲ得

契約期間満了ノ際當事者互ニ異議ノ通告ヲナササルトキハ更ニ壹箇年間本契約ヲ繼續スルモノトス爾後尙此ノ例ニ依ル

右契約ノ證トシテ本書式通ヲ作り甲乙各其ノ壹通ヲ保管ス  
大正 年 月 日

中部鐵道管理局長

契 約 書 (乙ノ設備定額燈)

停車場構内所要電燈ニ關シ中部鐵道管理局長

ヲ甲トシ

ヲ乙トシ契約スルコト左ノ如シ

第一條 乙ハ其ノ負擔ヲ以テ甲ノ要求スル箇所ニ電燈點火ニ必要ナル一切ノ物件ヲ設備シ及其ノ所定ノ電壓ニ於テ電氣ヲ供給スルモノトス但シ甲ニ於テ特殊ノ裝置ヲ要求スル場合ハ其ノ費用ハ甲ノ負擔トス

第二條 電燈數點點火料金ハ別表ノ通り之ヲ定ム  
(前項ノ外器具損料トシテ電燈壹個壹箇月ニ付金 錢ヲ甲ヨリ乙ニ支拂フモノトス)

第三條 甲ニ於テ燈數ヲ増減シ若ハ燭力變更ヲ申込ミタルトキハ乙ハ電力ノ許ス限リ之ニ應スルモノトス此ノ場合乙ノ提出スル承諾書ノ日附ヲ以テ別表ノ燈數ヲ改定シタルモノト看做ス

第四條 乙ニ於テ一般ニ點火料金ヲ低減シタルトキハ直ニ甲ニ通知シ本契約ノ料金モ亦之ニ準シ低減スルモノトス

第五條 電線路其ノ他物件ノ設備方法ハ總テ甲ノ指圖ニ從ヒ且ツ其ノ材料ニ付豫メ甲ノ檢査ヲ經ルモノトス

第六條 甲ノ都合ニ因リ既設物件ノ移轉、撤去、模様替ヲ要求シタル場合ハ乙ハ速ニ之ヲ施行スルモノトス但シ之ニ要スル工費ハ甲ノ負擔トス

〔中管〕

〔中管〕

第七條 電線路其ノ他設備物件ノ補修、保安、並送電上ノ責任ハ全部乙ノ負擔トス

第八條 乙ハ電球心ノ自然斷線及燭力減退拾分ノ壹以上ノ場合ハ即時無償ニ之ヲ力取換ヲ爲スモノトス

第九條 甲ノ故意又ハ過失ニ因リ乙ノ所有物件ヲ亡失毀損シタル場合ニ於テ乙ヨリ請求アリタルトキハ甲ハ協議ノ上其ノ補修ニ要スル實費ヲ支拂フモノトス

第十條 乙ニ於テ事故ノ爲點火シ能ハサルコトヲ豫知シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ甲ニ通知スルモノトス

第十一條 點火料ハ左ノ計算方法ニ依リ每翌月中乙ノ請求ニ應シ甲ヨリ之ヲ支拂フモノトス

一、點火日數壹箇月ニ滿タサルモノニ對シテハ其ノ月ノ日數ニ應シ日割計算トス

二、總テ支拂ハ曆日ニヨリ打切り計算トス

第十二條 本契約終了ノ際乙ハ其ノ所有物件ヲ速ニ撤去スヘシ若之ヲ怠ルトキハ甲ニ於テ施行シ其ノ費用ハ乙ヲシテ支辨セシムヘシ此ノ場合ニ乙ニ損害ヲ生スルコトアルモ甲ハ一切其ノ責ニ任セス

第十三條 本契約ノ期間ハ大正 年三月三十一日迄トス但シ甲ハ三日以前ノ豫告ヲ以テ何時ニテモ解約スルコトヲ得

契約期間満了ノ際當事者互ニ異議ノ通告ヲ爲ササルトキハ更ニ一箇年間本契約ヲ繼續スルモノトス爾後尙此ノ例ニ依ル

右契約ノ證トシテ本書式通ヲ作り甲乙其ノ壹通ヲ保管ス  
大正 年 月 日

中部鐵道管理局長

契 約 書 (從量燈)

停車場構内所要電燈ニ關シ中部鐵道管理局長

ヲ甲トシ

ヲ乙トシ契約スルコト左ノ如シ

第一條 乙ハ甲ノ要求ニ從ヒ甲ノ設備ニ係ル電燈ニ對シ所定ノ電壓ニ於テ電氣ヲ供給スルモノトス

第六編 電氣 第二章 電力、動力

八十七

乙ハ前項ノ外甲ノ設備ニ係ル電燈ニ對シ積算電力計ヲ設備シ其ノ點火ニ要スル電力ヲ供給スヘシ

第二條 電燈數並點火料金ハ別表ノ通之ヲ定ム

第三條 甲ニ於テ燈數ヲ増減シ若ハ燭力ノ變更ヲ申込ミタルトキハ乙ハ電力ノ許ス限リ之ニ應スルモノトス此ノ場合乙ノ提出スル承諾書ノ日附ヲ以テ別表ノ燈數ヲ改正シタルモノト看做ス

第四條 乙ニ於テ一般ニ點火料金ヲ低減シタルトキハ直ニ甲ニ通知シ本契約ノ料金モ亦之ニ準シ低減スルモノトス

第五條 電線路其ノ他設備物件ノ保安並送電上ノ責任ハ全部乙ノ負擔トス

第六條 電燈球、炭素棒及安全線ノ取換ハ甲ノ故意又ハ過失ニ因リ破損シタル場合ノ外總テ乙ノ負擔トス燭力減退拾分ノ壹以上ノ電燈球ハ即時取換ヲ爲スモノトス

(但シ金屬線電球使用ノ場合ハ甲ニ於テ負擔スルモノトス)

前項ノ取換品ハ甲ノ所有トス

第七條 乙ノ故意又ハ過失ニ因リ甲ノ設備物件ヲ毀損シタル場合ハ乙ニ於テ直ニ修理スルモノトス

第八條 乙ニ於テ事故ノ爲點火シ能ハサルコトヲ豫知シタルトキハ直ニ其ノ旨甲ニ通知スルモノトス

第九條 從量計算ニ依ル電氣料ハ乙ノ設置セル電量計ヲ每翌月 日迄ニ甲乙立會ノ上検査シ之ヲ決定スルモノトス但シ電量計ニ故障ヲ生シ査定シ難キ場合ハ前後兩月間ノ平均ニヨリ其ノ消費高ヲ算出スルモノトス

電氣計器ノ使用一箇月未滿ノ場合ハ日割ヲ以テ計算ス

第十條 本契約ノ期間ハ大正 年三月三十一日迄トス但シ甲ハ三日以前ノ豫告ヲ以テ何時ニテモ解約スルコトヲ得

契約期間滿了ノ際當事者互ニ異議ノ通告ヲ爲ササルトキハ更ニ壹箇年間本契約ヲ繼續スルモノトス爾後尙此ノ例ニ依ル

右契約ノ證トシテ本書貳通ヲ作り甲乙各其ノ壹通ヲ保管ス

〔中管〕

〔中管〕

大正 年 月 日

中部鐵道管理局長

契約書附屬表

別表	種	類	燭	光	燈	數	壹燈壹箇月料金

(甲乙設備共通)

(本欄全野)

契約書附屬表

別表	種	類	燭	光	燈	數	(從量燈)

一、電氣料  
 (電氣料)「キロワット」時ニ付  
 (一)燈一箇月平均使用量 上 「キロワット」時ヲ超過シタル時ハ其ノ超過分ニ對シ  
 (同)電量計使用料  
 (二)電量計使用料  
 (一)箇月 錢トシ以上一燈ヲ增ス毎ニ金 錢ヲ増ス)  
 (電燈) 燈迄金 錢トシ以上一燈ヲ增ス毎ニ金 錢ヲ増ス)

○電燈燈具掃除方ニ就テ

(大正五年五月十日) 局報注意

近來電燈々具ニ煤煙塵埃等附着セル爲著シク光力減退セルモノアリ遺憾ノ義ニ付電燈ヲ使用セル各所ニ在リテハ自今一層之カ掃除ヲ履行シ常ニ相當ノ光力ヲ維持スルニ努ムハシ尙電燈球及心線ハ破損シ易キモノナレハ丁寧ニ取扱フヘシ「タンクステン」ノ如キ金屬製細心線ノモノハ殊ニ切

第六編 電氣 第二章 電力、動力

斷シ易キヲ以テ激シキ振動ヲ與フヘカラス  
(大正二年七月十九日東管局報注意電燈々具掃除方ニ就テハ之ヲ廢止ス)

### ○弧光燈内外「グローブ」掃除方ニ就テ

(大正五年五月十日 局報注意)

弧光燈内外「グローブ」ニシテ掃除ノ不充分ナル爲其ノ面ニ「カーボン」粉末又ハ煤煙塵埃等附著シテ其ノ光力ヲ減退セルモノアリ遺憾ノ義ニ付當該電氣供給者ナシテ「カーボン」取替ノ都度掃除ヲ履行セシムヘシ  
(大正三年一月二十八日東管局報注意弧光燈内外「グローブ」掃除方ニ就テハ之ヲ廢止ス)

### ○列車電燈取扱方

(大正五年五月十日 中達甲第三一二號)

運輸事務所、驛、列車電燈所、機關庫、檢車所、車掌監督

列車電燈取扱方左ノ通定ム

第一條 列車始發、終著驛ニ於テハ改札前又ハ著車後十五分以上點燈スヘカラス

但シ郵便車、手小荷物車等ニシテ搭載取卸上必要アル場合ハ豫メ當該列車受持列車電燈所ト協議ノ上點燈時間ヲ定ムルコトヲ得

第二條 列車掃除、洗滌等ノ爲點燈スヘカラス但シ必要ノ場合ハ豫メ當該列車受持列車電燈所ト特ニ協議ノ上必要ナル時間ヲ定メ使用スルコトヲ得

第三條 列車運行中ニ於ケル點滅ハ雨天ノ場合ヲ除キ大略左ノ時刻ニ依リ行フヘシ

自一月至三月及  
自十月至十二月

自四月至五月及九月  
自午後四時半至午前七時半

自六月至八月  
自午後五時至午前六時半

自四月至五月及九月  
自午後六時至午前六時

第四條 隧道又ハ雪覆ヲ通過スルトキハ其ノ出入口ニ於テ點滅スヘシ但シ隧道又ハ雪覆多數接近スル箇所ハ連續使用スルコトヲ得

第五條 寢臺車ニ於テ乘客就眠後ハ電燈數ヲ減スヘシ又各寢室毎ニ點滅シ得ル車輛ニ在リテハ不要ノ電燈ハ減燈シ置クヘシ

(中管)

(中管)

第六條 列車電燈用可熔遮斷器動作シタルトキハ適當ナル可熔片ヲ挿入スヘシ若可熔片ナキトキハ豫備燈ヲ點シ決シテ銅鐵片ノ如キモノヲ挿入スヘカラス

第七條 列車運轉中(停車中ヲ含ム)ニ於ケル點滅ハ列車長ノ責任トス但シ列車長乗務セサル場合ハ客扱專務車掌、列車長及客扱專務車掌共ニ乗務セサル場合ハ主任車掌ノ責任トス(以下單ニ責任乗務員ト稱ス)

第八條 責任乗務員ハ左記様式ニ依リ列車電燈狀況日報ヲ調製シ列車終著驛駐在車掌監督又ハ同助手(共ニ駐在セサル驛ニ在リテハ驛長)ヲ經テ最寄列車電燈所ニ送付スヘシ

第九條 責任乗務員交代ヲ爲ス場合ニ於テハ同日報ニ記載スヘキ事項ノ引繼ヲ爲スヘシ

第十條 列車電燈所ニ於テ第八條ノ報告ヲ受領シタルトキハ事故ノ有無ヲ調査シ不良ノ部分ニ對シテハ直ニ手當ヲ施スヘシ但シ受持以外ノ列車狀況日報ヲ受ケタル列車電燈所ハ手當後本報告ヲ受持列車電燈所ヘ送付スヘシ

第十一條 列車電燈ノ手當ヲ要スル事故ハ責任乗務員ヨリ行先最寄ノ列車電燈所又ハ派出ノ電燈檢査手詰所ニ電報ヲ以テ其ノ旨通知スヘシ

第十二條 車輛解放ノ際ハ聯結器解放前列車電燈用接續線ノ取外シヲ爲スヘシ

第十三條 「ベルト」其ノ他列車電燈用器具ヲ拾得シタルトキハ拾得者氏名所屬、拾得場所、日時ヲ記載シタル紙片ヲ付シ最寄列車電燈所又ハ驛、庫、所ニ送付スヘシ送付ヲ受ケタル驛、庫、所ハ遺漏ナク最寄列車電燈所ニ送付スヘシ

第十四條 發電機吊金具「アクスルブレイク」及蓄電池外箱取付方ノ檢査ハ電燈檢査手ニ於テ之ヲ行フヘシ但シ電燈檢査手駐在地以外ニ於テハ檢車手之ヲ行フヘシ

附 則

大正二年十一月東達第一三七九號列車電燈ニ關スル事故電報々告ノ件、大正二年十二月東達第二一〇二號列車電燈成績報告書調製提出方ノ件、大正三年三月東達第七二三號列車電燈使用方ノ件、大正三年三月局報注意事項列車電燈取扱方ノ件、明治四十二年十月西管達第六四七號列車電燈「ストロン」式發電機用調革落下ノ場合處理方ノ件、及本達ニ抵觸スル從前ノ達示ハ之ヲ廢止ス

運輸事務所長

列車電燈所主任

車掌監督 (局長)

線第 列車電燈狀況日報

天候

月

日

提出

責任乘務員

考

夜間	點	減	時間	間	停車中電光状態	運輸中電光状態	備	球	考
午後	時	分	分	點			電		
午前	時	分	分	點			ラケット及フローア		
午後	時	分	分	點			電		
午前	時	分	分	點			電		

記

事

(用紙フー、ル、ス、カ、ク、ア、フ、ア、ク、切、大)

1 記事欄ニハ事故ヲ生シタル場合ニハ勿論其ノ他注意スルキ事項ヲ記入スルシ

2 備考欄ニハ電球ノ取扱数及器具ノ良否ヲ記入スルシ

3 提出者ノ担当欄ニ記名捺印スルシ

○郵便車内設備電燈取扱方ニ就テ

(大正五年六月十三日) 局報注意

郵便車内設備電燈取扱方ニ關シ別紙第一號ノ通過省通信局長宛照會セルニ別紙第二號ノ通回答アリタルニ付了知スヘシ

(別紙第一號)

中管作第三四三號

大正五年五月二十日

逓信省通信局長殿

中部鐵道管理局長

〔中管〕

照會

議ニ通業第四六二二號ヲ以テ當院工作局長ト御協議相成候郵便車内郵便區分構附近ヘ電燈用開閉器設備ノ件竣成ノ部分ヨリ使用開始ノ處郵便係員乗車セサルニ電燈點火ノ儘車窓ヲ鎖錠シ滅火シ能ハサル等兎角濫用ニ陥リ甚キハ當局係員ニ於テ相當注意スルモ之ニ應セサル者有之候趣斯クテハ取締上不止得折角ノ貴意ニ應シ難キ場合ナ生スルヤモ難計遺憾ノ次第ニ付當局ニ於ケル別紙列車電燈規程ニ準シ貴局郵便係員ニ於テモ相當電燈使用ニ就テ留意スル様御取計相成度

(別紙第二號)

通業第二三八二號回答

大正五年五月二十四日

中部鐵道管理局長殿

中管作第三四三號電燈用開閉器取扱方ノ件

御來照ノ次第ハ關係ノ向ニ對シ夫々注意致置候間右様御了知相成度候

逓信省通信局長

〔中管〕

○列車電燈ニ關スル報告及標準ニ關スル件

(大正四年十二月二十八日)

各運輸事務所、列車電燈所

(中管作第四三八號)

列車電燈ニ關スル報告方左ノ通定メ十二月分ヨリ之ヲ施行ス

報告ハ別紙各様式ニ依リ翌月十日迄ニ所管運輸事務所長經由提出スヘシ

(一) 列車電燈成績報告 (第一號様式)

(イ) 發電機、蓄電池、電扇、信號燈ハ修理ニ其ノ他ノ種別ハ取替ニ要シタル使拂數量ニ依リ記入スヘシ

(ロ) 修理又ハ取替ニ要シタル費額ハ最近單價ニ依リ見積計算スヘシ

(ハ) 蓄電池ノ部分品(極板及外函)及全部ヲ補充シタルトキハ其ノ數量及費額ヲ朱記再掲スヘシ

(ニ) 運行總列車數ハ月ノ末日ニ運行セル所屬總列車編成數(臨時列車ヲ除ク)ヲ記入スヘシ但シ一列車ニ

シテ折返運轉スルモノハ其ノ折返數ヲ別ニ朱記スヘシ

第六編 電氣 第二章 電力、動力

- (ホ) 點火實電燈數及點火實信號燈數ハ月ノ末日ニ運行セル所屬列車ノ點火總燈數ヲ記入スヘシ
- (ヘ) 一日一列車平均點火時間ハ月ノ末日ニ運行セル所屬各列車ノ點火時間(晝間隧道點火時間ヲ含ム)ノ累計ヲ運行列車數ニテ除シタル數ヲ記入スヘシ但シ一月ヨリ四月迄十月ヨリ十二月迄ハ午前七時滅火午後四時點火五月ヨリ九月迄ハ午前六時滅火午後六時點火トシ計算スヘシ
- (ト) 一日一列車平均運行時間ハ月ノ末日ニ運行セル所屬各列車ノ運行時間ヲ累計シ運行列車數ニテ除シタル數ヲ記入スヘシ

- (チ) 一箇月換算車時數ハ別紙電燈車換算標準表ニ依リ計算シタル月ノ末日ニ於ケル運行列車ノ換算車數ノ累計ニ一日一列車平均點火時間及運行時間ノ和ヲ乘シ更ニ其ノ月ノ日數ヲ乘シタル數ヲ記入スヘシ
- (リ) 従事員數ハ雇員以上ノ職員及定備人ニ對スル數ヲ記入シ修繕場ニ從事スルモノハ朱記再掲スヘシ
- (ヌ) 修繕ノ爲特ニ備入レタルモノノ給料ハ修繕費ニ常備人ニ係ルモノノ給料諸給與ハ俸給々與ニ其ノ他ノ臨時雜備人ハ其ノ他ノ欄ニ計上スヘシ
- (ル) 備考欄ニハ其ノ月ノ臨時列車數他管理局所屬列車ノ物品費臨時備人延總人數ヲ記入スヘシ
- (二) 列車編成及發電機使用狀況報告 (第二號樣式)
- (三) 列車電燈用發電機其他異動報告 (第三號樣式)

附 則

大正二年八月十四日東達第九四一號發(變)電成績外三報告方ノ件中列車電燈成績報告、列車電燈用發電機其ノ他異動報告及大正二年七月神管達第二〇〇七號電氣ニ關スル報告例中第七條報告例目第三、四、六、七、十二乃至十五ノ報告其ノ他本達ニ抵觸スル從來ノ達示ハ之ヲ廢止ス

[中管]

[中管]

第一號樣式(美濃紙半裁大)

第 號 年 月 日  
 事務所長  
 列車電燈所主任  
 大正 年 月 分列車電燈成績報告  
 中部鐵道管理局長殿

費途別	種 別	修理又ハ取替ニ要シタル		所屬組成列車數		充 自 營 電 購 入 費 其 他	所 要 費 額	備 考
		數量	費 額	運行總列車數	運行實車輛數			
列 車 費	發電機			運行總列車數	運行實車輛數	列車費 車輛修繕費 俸給々與 其 他 合 計		
	蓄電池			點火實電燈數	點火實信號燈數			
	電 扇			使用電扇數	一日一列車平均點火時間			
	信號燈			同 運行時間	一月ケ月換算數			
	調 車			一車一日	一車一日			
	小 調 車			一車一日	一車一日			
	電 球			一車一日	一車一日			
	其 他			一車一日	一車一日			
	小 計			一車一日	一車一日			
	合 計			一車一日	一車一日			
車 輛 修 繕 費	開閉器			備 考				
	電 線			臨時列車數				
	グロープ			他管所屬列車物品費				
	セ ー ド			臨時備人延總人數				
	ソケット							
	カツブリング							
	カツブリング線							
其 他								
小 計								
合 計								

第 號  
中部鐵道管理局長殿

大正 年 月 日  
事務所長  
列車電燈所主任

列車編成及發電機使用狀況報告

列車番號	列車組成數	列 車 編 成					發電機數	換算車數
		1.5	2.5	2.0	2.0	2.5		
1-2	2	キユム GRNo1	スロキ GRNo4	スロ GRNo5	スシ GRNo6	スデ GRNo8	CR-2 CZ-1	11.0
3-4	1	キ GRNo4	スロ GRNo5	スロ GRNo6	スシ GRNo8	スデ GRNo9	CR-2 CZ-1	5.5
3-6-11 .....26	1	キ GRNo7	スロ GRNo8	スロ GRNo9	スシ GRNo9	スデ GRNo9	D-2 C-1	3.0
計 10	15					GR-8 CZ-5 D-8 C-4	150	

信號燈ヲ用フル列車ノ0.5ヲ記入スヘシ  
換算車數ハ朱記スヘシ  
當日運行セサル豫備組成車ハ\*印ヲ附スヘシ

【備考】

第 號  
中部鐵道管理局長殿

大正 年 月 分列車電燈用發電機其他異動報告

大正 年 月 日  
運輸事務所長殿  
列車電燈所主任

【備考】

種 別	發 電 機 數					蓄 電 池 數	計	記 事
	D	CZ	CR	C	BZ			
定期運轉用								
臨時運轉用								
宮廷列車用								
留置車用								
取卸中								
他管内へ使用中								
電燈所修繕中								
工場入								
修繕數								
計								
規定所屬配備數								
他所屬ノモノ使用中								
廢棄數								
備考								

第三號樣式 (美濃紙半張大)

電燈車換算標準表

率	
0.5	四輪車ノ各車種
1.0	四輪ホギー車ノホロハフ、ホロハニ、ホハ、フホハ、ホハフ、ホハニ、ホニ、ホユニ、ホユフ、ホハユフ、
1.5	四輪ホギー車ノホトク、イネロ、ホシ、ホイ、ホイロ、ホロ、ホロフ、ホロハ 六輪ホギー車ノナロハ、ナハ、ナハフ、オハフ、ナハニ、ナユニ、オユニ、オニ、ホロ、オハ、オハニ、
2.0	六輪ホギー車ノスロネフ、スシ、ホイ、オイ、ホイロ、ナイロ、ナロ、スロ、イネロ、オワシ、ナイネロ、ナワシ、スロシ、
2.5	四輪ホギー車ノイロネフ、六輪ホギー車ノナイ、ナロフ、オロフ、オイネロ、オイネ、ステン、オトク、ストック、スイネ、オロネ、スロネ、

信號燈ヲ有スル車輛ハ一車=0.5ヲ加フヘシ

〔中管〕

〔中管〕

○列車電燈運轉報告方ノ件

(大正五年七月十八日 中達甲第四七四號)

各運輸事務所、列車電燈所

列車電燈運轉報告七月分ヨリ左記様式ニ依リ調製毎翌月八日迄ニ提出スヘシ

月分列車電燈運轉報告

大正 年 月 日  
運輸事務所長

運用	數	發	電	機	電	池	記	事
備	數							
取	數							
換	數							
行	哩	四	輪	車	數	ホ	ギ	一
走								
電								
燈								
裝								
置								
客								
車								

備考 運用數ハ定期、不定期、臨時及機内留置車輛ニ取付ラレバモノノ數トス  
 機備數ハ車輛ヨリ取外シアルモノノ數ニシテ修繕中ノモノヲ含ム  
 取換數及走行哩ハ月分ヲ共他ノ月未現在ヲ宗スホギー車走行哩ハ四輪車走行哩ノ二倍ニ換算スルモノトス  
 取換數トハ故障ノ爲取換ヘタル數及吊換ノ數(取卸及取付ヲ通シテ取換數一回ニ換算ス)ヲ云フ向故障ノ爲取換ヘタル數ハ之ヲ未記再掲スルモノトス  
 運用數及走行哩ノ數ハ之ヲ未記再掲スルモノトス

○西管ニ直通スル列車ノ電燈検査其ノ他ニ關シ協定方

(大正五年五月十日 中達甲第三五四號)

新橋、名古屋、金澤運輸事務所  
列車電燈所

西管ニ直通スル列車ノ電燈検査其ノ他ニ關シ左記協定條項ニ依リ取扱フヘシ

第六編 電氣 第二章 電力、動力

- 一 各列車ノ電燈ハ其ノ所管箇所ニ於テカメテ完全ニ設備シ且保守スルコト
- 二 他所屬列車設備ニ對シテハ電壓燈光ノ状態ヲ取調ヘ良好ノ場合ハ發電機蓄電池ノ内部検査ハ行ハサルコト
- 三 列車始發ノ箇所ニ於テハ燈具諸器具「カッブリングワイヤ」「ベルト」等ノ有無並完否ヲ検査シ必ス不足品ヲ補充スルノミナラス不良ノモノハ修理スルコト若補充セサルトキハ其ノ旨到著箇所ノ列車電燈所ヘ速報スルコト
- 四 列車到著ノ箇所ニ於テハ著後直ニ前記諸器具等ノ有無ヲ検査シ破損又ハ紛失シタルモノアルトキハ適當ニ手入シ又ハ補充シ其ノ旨所屬列車電燈所ニ速報スルコト
- 五 前記ノ如ク列車電燈所相互間ニ送受シタル事項ハ之ヲ其ノ所屬工作課長又ハ電氣掛長ニ報告スルコト
- 六 蓄電池ノ豫備品ヲ前以テ互ニ送り置キ他所屬蓄電池ニ不良ヲ生シタル場合ニ之ヲ以テ補充シ不良品ハ直ニ其ノ主管所ヘ送付スルコト而シテ不良品ヲ受ケタル主管所ハ之ト引替ニ良品ヲ豫備トシテ直ニ送付スルコト
- 七 他所屬發電機ノ使用ニ堪ヘサルモノハ相當手當ヲ施スカ又ハ一時取換補充シ不良機ヲ直ニ所屬箇所ニ送付スルコト而シテ補充セラレタル發電機ハ直ニ返却スルコト
- 八 電扇其ノ他供用品ニ不良ヲ生シタル場合ハ第五號ニ準シ取扱フコト
- 九 互ニ入り組ミ判明シ難キ物品ニハ所屬箇所ノ記號ヲ入ルコト
- 十 第九、第十、列車ノ郵便「ボキ」車ハ單獨點火ノ必要アルニ付發電機蓄電池ノ取付ヲナスコト
- 十一 西管ニテハ未タ尾側燈(電燈)ノ豫備無之ニ付依テ至急之カ手配ヲナスコト

○東管ニ直通スル列車ノ電燈検査其ノ他ニ關シ協定方ノ件

(大正五年七月二十四日)

關係運輸事務所、列車電燈所

東管ニ直通スル列車ノ電燈検査其ノ他ニ關シテハ大正五年五月中達甲第三五四號西管ニ直通スル列車ノ電燈

〔中管〕

検査其ノ他ニ關シ協定方ヲ準用スヘシ

〔中管〕

○電力ニ關スル工事竣成報告様式ノ件

(大正五年四月七日)

工場、運輸、電力事務所

電力ニ關スル工事竣成報告様式左ノ通定ム

大正二年十二月東達第二〇五八號電氣ニ關スル工事竣成報告様式ノ内電力ニ關スル分及大正二年七月神管達第二〇〇七號電氣ニ關スル報告例第七條第一項第二項ノ内電力ニ關スル分其ノ他本達ニ牴觸スル從前ノ達示ハ之ヲ廢止ス

一、工事竣成シタルトキハ七日以内ニ別紙様式ニ依リ報告スヘシ但シ場、所長職務權限内工事及電燈設備手續第四條ニ依リ施行シタル工事ハ此ノ限ニ在ラス

一、部分竣成ニシテ特ニ使用開始ヲ要スルモノハ假竣成トシ便宜ノ様式ニ依リ使用開始希望月日ヲ記載シ申請スヘシ



大正 年 月 日提出

事務所長

### 工事竣成報告

第 局 長

認可年月日及番號	大正 年 月 日 第 號
工 事 名	工 事
者 手	大正 年 月 日
竣 成	大正 年 月 日

竣成數量内譯

種 別	竣成數量	増減比較數量	記 事
備	工事竣成圖添付 電線路總括表添付 電線路圖添付		
考			

- 調製心得
1. 種別、設計書記載ノ工程種類別ニ列記スヘシ
  2. 増減比較數量ハ設計書又ハ示方書ノ前提ト比較シ増加ノ墨書減少ノ朱書スヘシ

(中管)

## ○電力線路工事數量報告提出方ノ件

(中管)

大正六年二月達第一二〇號ニ依ル電力線路工事數量報告件名及記載方別表(別表ハ關係ノ向(配付ス)ノ通制定ノ旨ニ依リ提出相成度)

追テ大正五年第四四分ニ限リ大正六年三月ノ數量ヲ揭記相成度

(大正六年三月十日) 各運輸事務所長 各工場長  
 (中管) 第四一號ノ二依命通譯  
 新橋電力事務所長 各工場長

## ○達第一一九〇號電燈並電力線路ノ保存費支辦工事處理方ニ就テ

(大正六年二月十五日)

局報注意

客年十二月達第一一九〇號電燈並電力線路ノ保存費支辦工事處理方ニ關シ左ノ通譯アリタリ

作電ノ第一六號

大正六年一月二十九日

中部管理局工作課長殿

工作局電氣課長心得

客年十二月達第一一九〇號電燈並電力線路ノ保存費支辦工事ニ關スル件ニ付西管局長何出ニ對シ左ノ通譯局長ヨリ依命通譯相成候間了知相成

追テ官有財產處理方ニ關シテハ目下委員ニ於テ調査中ニ付追テ變更スル場合アルヤモ雖計候間豫メ右御含置相成度

一 (何) 達示本文中「保存費ヲ以テ施行ス」トアルハ工事ノ目的性質等ノ如何ニ拘ハラヌ必ス保存費ヲ以テ施行セサル可ラサレ義ナリヤ或

ハ建設工事等ニ伴フモノハ例外ト解シ可然哉

理由

改良工事(例ハ東京線改良工事ノ如キモノ)掛員詰所ニ電燈ヲ設備スル場合ニ之ヲ保存費支辦トナス事ハ差支無之哉同所關係ノモノハ筆紙

墨ノ末ニ至ル迄全部改良費ナルニ獨リ電燈設備ノミ保存費(點火料ハ勿論改良費ニテ支辨致居候)支辨トナスハ費途ノ混亂ヲ來スモノナルヲ

以テ改良工事ニ伴フモノノ如キハ本工事に同費目支辨ヲ穩當ト認メラレ從テ本疑ヲ生シ候

(通譯) 既設營業線以外ノ工事區間ニ於テ施行スル工事(殘工事施行ノ場合ヲ含ム)ニ對シテハ達第一一九〇號ヲ適用スル限ニアラス

二 (何) 本達ニ依リテ施行ノ電線路増加ニ對スル財產整理トシテハ増加數量ノミヲ揭ケ價額ニ關シテハ「増減代價」欄ニ左ノ通譯記スルコトト

シ可然哉



參照

◎技電第一九〇號

電氣事業者カ當院鐵道ト交叉シテ其ノ架空電線路ヲ施設セントスルトキハ電氣工事規程ニ依ルノ外尙左ノ條項ニ準據スルコトヲ要ス

第一條 交叉部分ニ於テハ鐵線若クハ煤烟ノ爲メ腐蝕サレ易キ電線ヲ使用スルコトヲ得ス

第二條 特別高壓架空電線ノ高サハ軌道面上二十尺以上他ノ架空電線(特別高壓架空電線路添架電話線ヲモ含ム)ノ高サハ軌道面上二十尺以上ナルコトヲ要ス

特別高壓電線ノ下部ニ保護金屬線ヲ施設スヘキ場合ニハ其金屬線ノ高サハ軌道面上二十尺以上ナルコトヲ要ス

第三條 交叉部分ニ於テハ切斷面積一平方寸ニ付七千五百貫以上ノ柱斷力ヲ有スル「ビーエス」四番ノ硬鋼線若ハ之ト同等以上ノ強サヲ有スル電線ヲ使用スルコトヲ要ス但シ使用電壓三百「ヴナルト」未満ナルトキハ切斷面積一平方寸ニ付七千五百貫以上ノ柱斷力ヲ有スル「ビーエス」八番硬鋼線若ハ之ト同等以上ノ強サヲ有スル電線ヲ使用スルコトヲ得

第四條 鐵道ニ沿ヒ當院ノ架空電線又ハ架空弱電流電線ノ存在スルトキハ特別高壓架空電線ハ六尺以上他ノ架空電線ハ四尺以上之ヲ離隔シ電氣事業者ノ電線ヲ上部トシ交叉スルコトヲ要ス

第五條 架空電線ハ鐵道ト六十度以下ノ角度ヲ以テ交叉スルコトヲ得ス但シ工事上止ムヲ得サル爲メ特殊ノ設計ニ依ル場合ハ四十五度以上ノ角度ヲ以テ交叉スルコトヲ得

第六條 工事施行並其ノ保守ニ關シテハ當院ノ指揮監督ヲ受クヘシ

第七條 當院ニ於テ必要ト認ムルトキハ何時ニテモ電氣事業者ノ負擔ヲ以テ本件工作物ノ移轉又ハ改築セシムルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テ其ノ施行ヲ怠ルトキハ當院ニ於テ之ヲ施行シ其ノ費用ハ總テ電氣事業者ノ負擔トス  
前項ニ基ク損害ハ當院其ノ責ニ任セス

第八條 天災事變其ノ他不可抗力ニ因ル場合ト雖總テ本件工作物存在ノ爲メニ生シタル當院ノ損害ハ電氣事業者ニ於テ賠償スルノ責アルモノトス

○電力關係財産異動報告手續

(大正五年五月十日  
中達甲第三一八號)

局一般

〔中管〕

電力關係財産異動報告手續左ノ通定メ大正五年度ヨリ之ヲ施行ス

電力關係財産異動報告手續

一 財産ニ異動ヲ生シタルトキハ別紙様式ニ依リ直ニ之ヲ報告スヘシ  
二 本手續ニ依リ報告スル財産種目左ノ通

- イ 電力線路 電燈、電力、電車線路
- ロ 電氣機械 發電機、變流機、電動機、變壓機、汽機、瓦斯發動機、石油發動機、汽鐘、水車、配電盤等(工場機械トシテ整理スヘキモノヲ除ク)

三 建設費、改良費及補充費支辨ノ工事ハ財産ニ異動ヲ生セサル場合ト雖前二項ニ準シ報告スヘシ

四 物品代其ノ他未決算ノ爲財産價額ノ確定ニ時日ヲ要スル場合ハ價額未定トシテ報告シ確定後直ニ之ヲ追報スヘシ

五 院外者ノ負擔ニテ施行シタル工事ト雖當局財産ニ異動ヲ生スルモノハ本手續ニ準據スヘシ

六 前各項ノ外鐵道院所管官有財産處理規程ニ依リ處理スヘシ

附 則

七 大正二年十二月東達第二一五一號ハ之ヲ廢止ス

〔中管〕

財產異動報告

財第 號 大正 年 月 日提出 事務所長

工事件名 第 號  
承認年月日番號 大正 年 月 日  
起工竣工年月日 大正 年 月 日起工 大正 年 月 日竣工  
据付場所 電氣機械之部

摘要	機械名	數量	費 額			費額ノ内 無代價品 見積額	記 事
			機械代	据付費	計		
本工事施行ノ結果増							
同 減							
差引増減							

同工事決算額内譯

科 目	決算額	内財産價格ニ編入セサル額			差引編入額
		供用品代	其 他	計	

備考

1. 異動數量及費額ノ増ハ墨書シ減ハ朱書スヘシ

〔中管〕

財產異動報告

財第 號 大正 年 月 日提出 事務所長

工事件名 第 號  
承認年月日番號 大正 年 月 日  
起工竣工年月日 大正 年 月 日起工 大正 年 月 日竣工  
線 電力線路之部

摘要	數 量		費 額	費額ノ内 無代價品 見積額	記 事
	互 長	延 長			
本工事施行ノ結果増					
同 減					
差引増減					

同工事決算額内譯

科 目	決算額	内財産價格ニ編入セサル額			差引編入額
		供用品代	其 他	計	

備考

1. 電力線ト通信線トヲ併架セル線路ハ主タル線路ニ其ノ互長ヲ揭ケ延長ハ各其ノ所屬ニ揭クヘシ此ノ場合ニ於テ線條、腕木、碍子等ノ代價ハ各其ノ所屬ニ、電柱ノ代價ハ互長ヲ揭クル線路ニ合算スヘシ
2. 異動數量及費額ノ増ハ墨書シ減ハ朱書スヘシ

〔中管〕

### ○電力事故報告心得

(大正四年十月三十日 中達甲第三一五號)

局一般

電力事故報告心得左ノ通定メ來十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

電力事故報告心得

- 第一條 電力設備ニ發生シタル事故ハ鐵道事故報告手續(以下單ニ報告手續ト稱ス)ニ規定セル外尙本心得ニ依リ報告スヘシ
- 第二條 報告手續第一條ノ電報ハ事故發生地、所管區、所、庫、主任ニ於テ之ヲ爲スヘシ
- 第三條 工場所屬ノ發變電所事故ニ關シ工場長ハ報告手續第一條乃至第六條中事務所長ニ準ス
- 第四條 左記各號ノ事故ハ凡テ報告手續第一條及第三條ニ依リ報告スヘシ但シ機械器具ノ損傷ニシテ輕微ナルモノハ電報ニ及ハス
  - 一、電燈電力線路ニ異狀ヲ生シ停電十五分以上ニ涉ルモノ
  - 二、電力區保管電動機又ハ變壓器ノ損傷
  - 三、運轉中列車電燈機械ノ損傷
  - 四、列車電燈設備ニ異狀ヲ生シ全部三十分以上ノ滅燈
  - 五、列車電燈所充電用機械ノ損傷
  - 六、發變電所內設備ニ異狀ヲ生シ停電十五分以上ニ涉ルモノ
  - 七、發變電所內設備ノ機械器具ノ損傷
  - 八、電車設備ノ機械損傷
  - 九、電車庫內設備ノ機械器具ノ損傷
  - 十、從事員ノ死傷
- 第五條 前條第一號第六號ノ事故ニシテ停電十五分未滿ノモノハ一ヶ月分ヲ取纏メ別紙様式ニ依リ翌月十五日迄ニ管理局長ニ報告スヘシ
- 第六條 報告書ハ報告手續第七條ニ依ル外左記ニ從ヒ作成スルヲ要ス

【中管】

【中管】

- 一、規程様式甲號中現場ノ狀況及損害ノ有無欄ニハ損害物件ノ始用又ハ建設年月日、原價、損害、ヲモ記入スヘシ
  - 二、同上當時ノ處置欄ニハ事故發生ノ知得日時、恢復又ハ應急修理日時ヲモ記入スヘシ
  - 三、同上其ノ他ノ記事欄ニハ損害ノ影響、應急修理費額ハ復舊見積費額ヲモ記入スヘシ
  - 四、機械器具等ノ損傷ハ説明圖ヲ添付シ製造所、製造年月日検査又ハ修理年月日ヲモ記入スヘシ
- 附則  
大正三年三月三十一日東達第七二五號其ノ他本達ニ抵觸スル從來ノ達示ハ之ヲ廢止ス  
(様式)

局長  
庶務課長  
工作課長  
大正 年 月 日  
事務所長  
工場長  
主任

第 年 月 電力事故月報

故障種類	發生月日時	場所又ハ區間	故障又ハ被害原因	延時	摘要
				時 分	

### ○發電機(蓄電池ヲ含ム)配置數並發電機格定ニ關スル件

(大正六年一月二十九日)  
中達甲第一八號

運輸事務所、列車電燈所

發電機(蓄電池ヲ含ム)配置數並發電機格定別表ノ通定ム  
大正五年一月中達甲第一四號發電機配備數及發電機點火燈數標準ニ關スル件ハ之ヲ廢止ス

發電機(蓄電池ヲ含ム)配置數表

發電機形式稱號	列車電燈所							計
	AZ	BZ	C	CR	CZ	D		
東京	—	—	4	84	182	8	278	
名古屋	17	9	—	8	26	—	60	
甲府	—	—	—	4	10	—	14	
金澤	7	—	3	8	3	—	21	
計	24	9	7	104	221	8	373	

發電機格定表

發電機型式稱號	發電機出力 (アンペア)	電燈回線電流 (アンペア)	點火シ得ヘキ電燈 數 (換算 6.C.P)
A Z	25	10	10
B Z	35	20	15
C	40	20	15
C R	40	20	20
C Z	40	20	20
D	80	40	40

備考 一、電燈16.C.P=要スル電流ヲ「アンペア」トス  
 二、電氣扇使用ノ場合ニハ一箇=要スル電流ヲ2.5「アンペア」  
 トシ其使用箇數=應シ本表電燈數ヲ減少スルモノトス

(中管)

### ○電機並附屬機械臺帳ノ設備及加除訂正副本提出方

(大正五年五月十日)  
中達甲第三五〇號

工場、電力事務所、運輸事務所、  
電力區、電車庫、發電所、變電所、  
列車電燈所

(中管)

電氣並附屬機械保管者ハ明治四十二年七月達第六六一號ノ内電機並附屬機械臺帳調製方及明治四十三年五月達第四一七號電機並附屬機械臺帳整理方ニ準據シ電機並附屬機械臺帳ノ設備及加除訂正ヲナシ其ノ副本ヲ本局ニ提出スヘシ  
大正三年七月東達第一六五九號ハ之ヲ廢止ス

### ○發變電所内設備ノ機械器具等ニ命名方

(大正五年五月十日)  
中達甲第三五一號

工場、運輸、電力事務所、  
發電所、變電所

發、變電所内設備ノ機械、器具等ハ左記標準ニ依リ番號ヲ附スヘシ從來命名セルモノニシテ之ニ牴觸スルモノハ相當改訂スヘシ

追テ發、變電所間ヲ連絡スル同一回線ハ兩所ニ於テ同一番號ノモノタルコトヲ要ス

本標準ニ依ル事能ハサルモノハ其ノ旨報告スヘシ

左記

#### 一 配電盤

正面ニ向ヒテ左ヨリ右ヘ順次番號ヲ附スヘシ

#### 二 原動機發電機及變流機等(附圖參照)

甲 一列ニ配置セラレタル場合

(イ) 配電盤ト並行スル場合ハ配電盤ノ正面ニ向ヒテ左ヨリ右ヘ順次番號ヲ附スヘシ

(ロ) 配電盤ト直角ナル場合ハ配電盤ノ正面ヲ左ニシテ左ヨリ右ヘ順次番號ヲ附スヘシ

乙 數列ニ配置セラレタル場合  
 (イ) 配列ノ方向カ配電盤ト並行ナル場合ニハ、配電盤ニ最モ近キ列ヨリ甲、(イ)式ニ從ヒ順次遠  
 キ列ニ繼續番號ヲ附スヘシ  
 (ロ) 配列ノ方向カ配電盤ト直角ナル場合ハ、配電盤ニ向ヒテ左側ノ列ヨリ甲、(ロ)式ニ從ヒテ順  
 次右方ノ列ニ繼續番號ヲ附スヘシ

三 汽罐

甲 一列ニ配置セラレタル場合  
 汽罐ノ焚口ニ向ヒテ左ヨリ右ヘ順次番號ヲ附スヘシ  
 乙 焚口相對シテ二列ニ配置セラレタル場合(附圖參照)  
 (イ) 原動機室ノ隔壁ト並行ナル場合ハ、其ノ隔壁ニ近キ列ヨリ甲式ニ從ヒ、第二列モ亦甲式ニ從  
 ヒテ順次繼續番號ヲ附スヘシ  
 (ロ) 原動機室ノ隔壁ト直角ナル場合ハ隔壁ヲ背ニシテ左列ヨリ甲式ニ從ヒ、第二列モ亦甲式ニ從  
 ヒ順次繼續番號ヲ附スヘシ

四 送電線及饋電線等

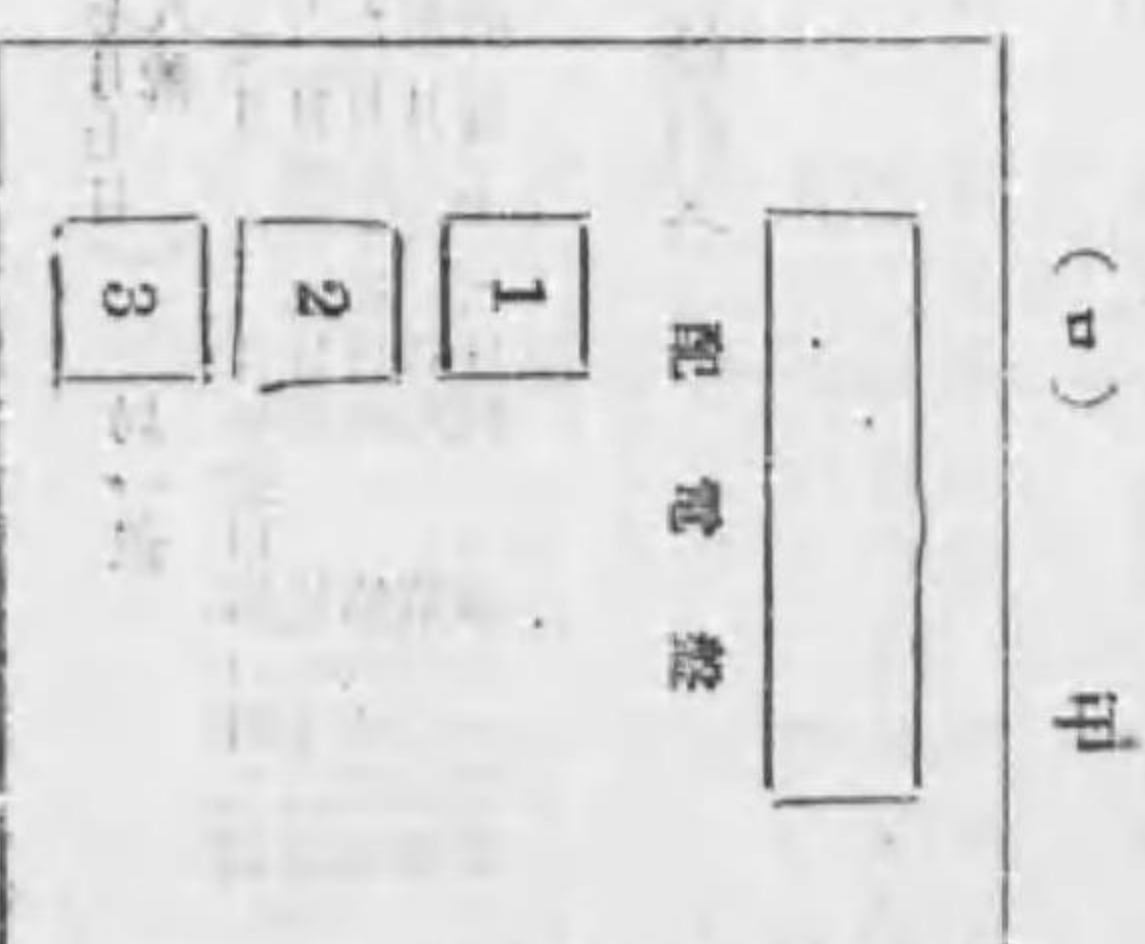
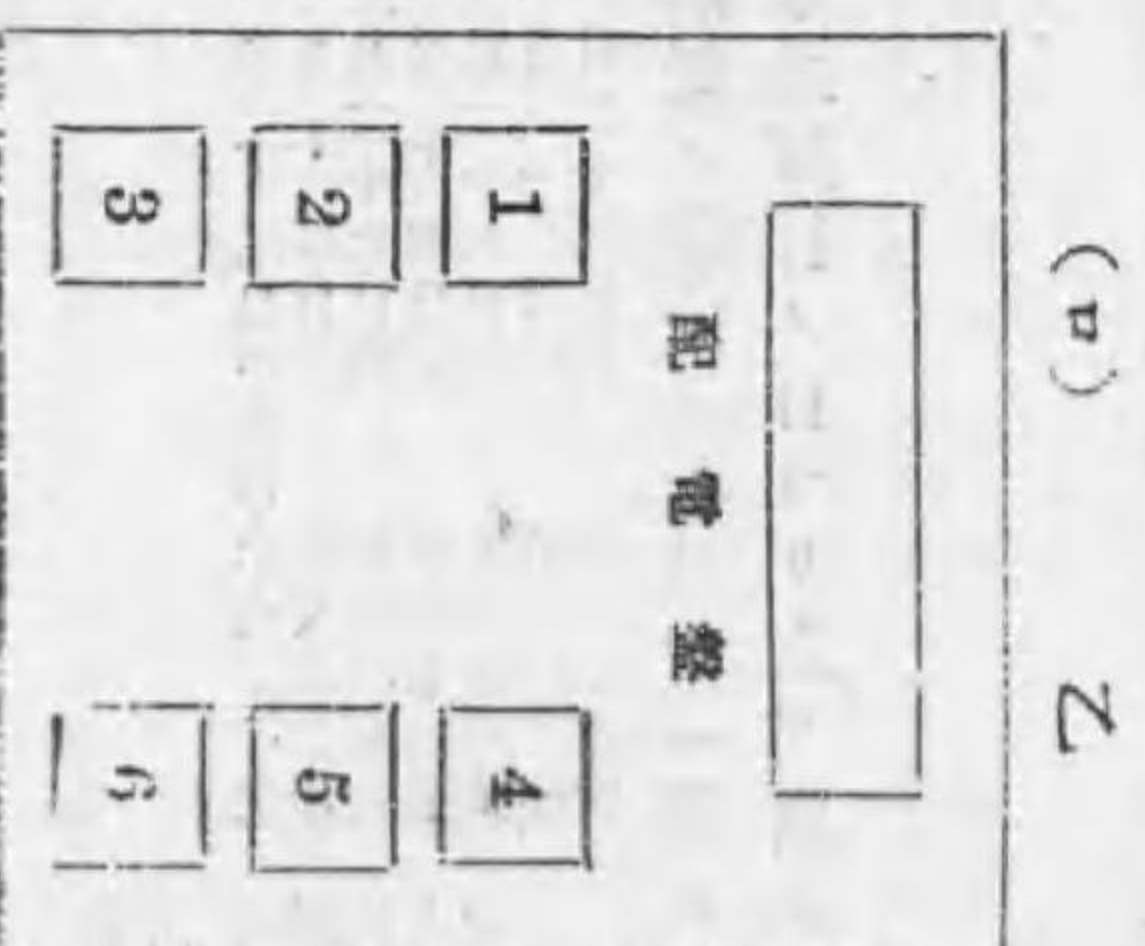
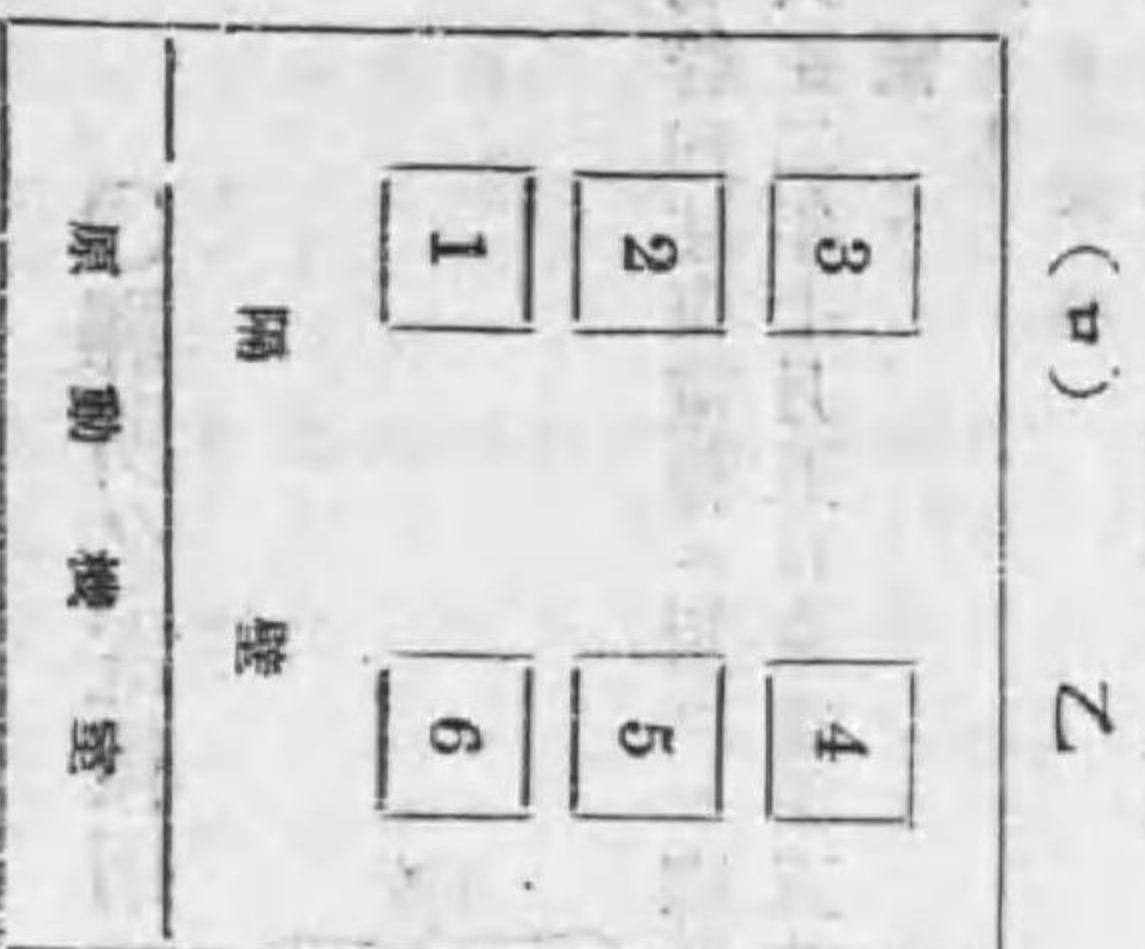
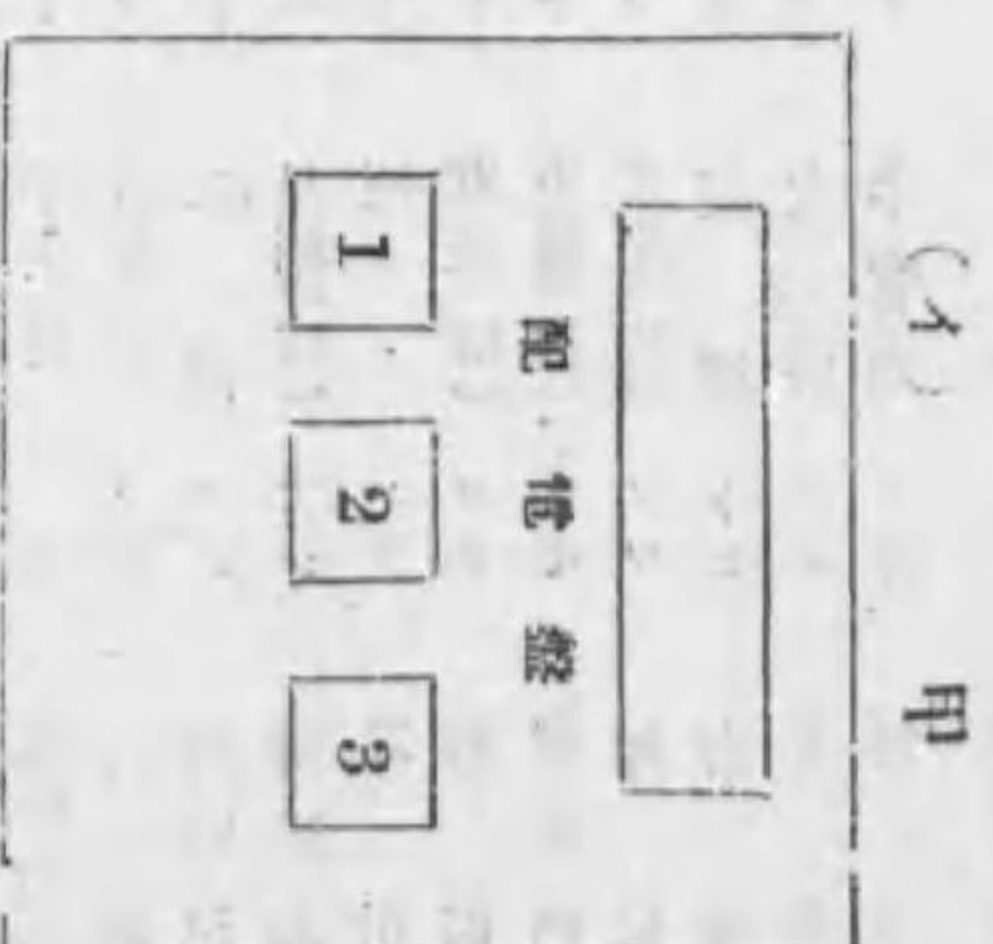
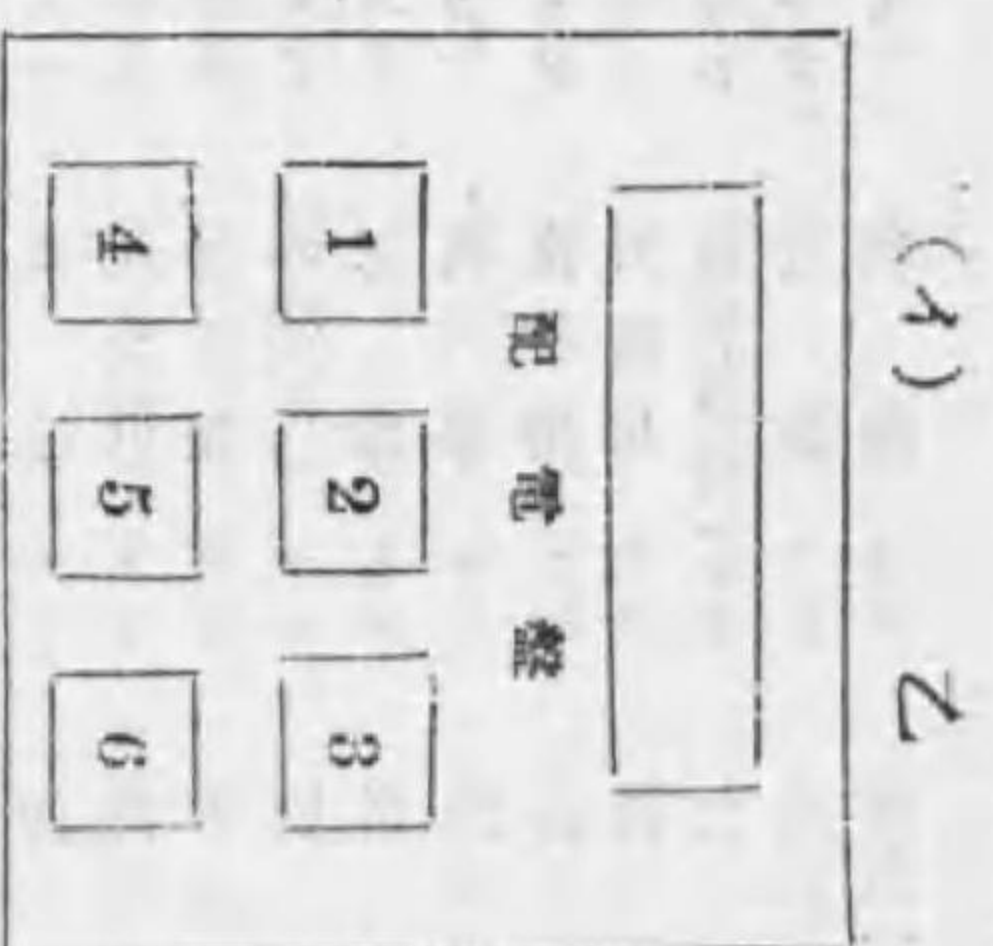
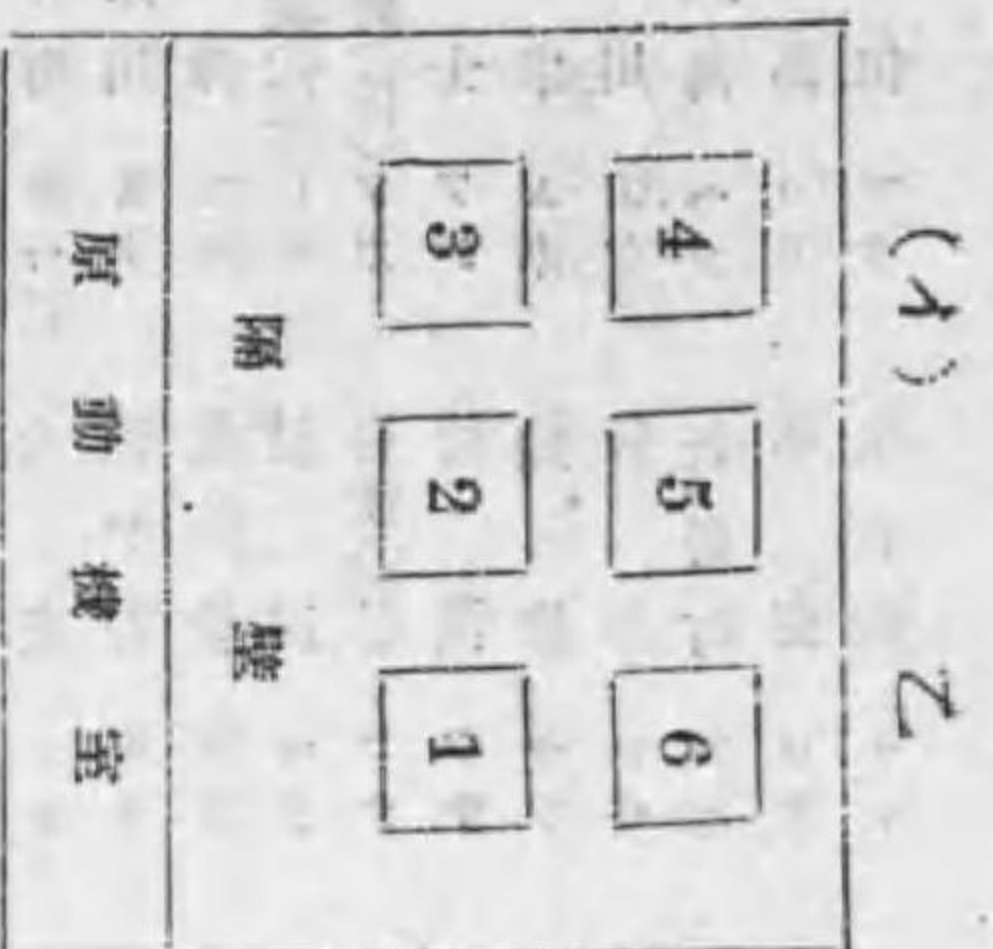
甲 横一列ニ配置シテ引出ス場合ハ、室内ヨリ引出口ニ(引込ノ場合ハ室外ヨリ引込口ニ)向ヒテ左ヨ  
 リ右ヘ順次番號ヲ附スヘシ  
 乙 上下數段ニ配置セラレタル場合ハ、上段ヨリ下段ニ又各段數回線ヨリ成ル時ハ各段ノ甲ノ方法ニ  
 從ヒ順次上段ヨリ下段ニ繼續番號ヲ附スヘシ

五 蓄電池

負極側ヨリ積極側ヘ順次番號ヲ附スヘシ

大正二年十二月東管電第八四二號ハ之ヲ廢止ス

〔中略〕



附圖原動機發電機及變流機等ニ關スル圖

汽罐ニ關スル圖





七尾線  
 普通名 略稱  
 千津路チチ 金丸ナマ 能登部ノト 良川ヨシ 徳田トク 七尾シミ 普通名 略稱  
 津路チチ 宇野丸ナマ 横山ヨコ 高松ヨシ 寶達トク 尾浪シミ 普通名 略稱  
 津路チチ 宇野丸ナマ 横山ヨコ 高松ヨシ 寶達トク 尾浪シミ 普通名 略稱

中央本線

普通名 略稱  
 萬世橋マン 御茶水チヤ 水道橋スキ 飯田町イヒ 牛込ウシ 市ヶ谷チカ 普通名 略稱  
 信濃町シチ 千駄ヶ谷セン 代々木ヨヨ 大久保ホク 東中野ヒカ 多摩川(信)タリ 四方津(信)ツマ 鳥野ヒノ 豊田トク 普通名 略稱  
 吉祥寺キチ 浅川アハ 國分寺コク 立野原ウハ 初鹿野ハノ 勝沼ツマ 龍崎ニラ 穴山アサ 日下部クハ 普通名 略稱  
 八王子ハチ 浅川アハ 國分寺コク 立野原ウハ 初鹿野ハノ 勝沼ツマ 龍崎ニラ 穴山アサ 日下部クハ 普通名 略稱  
 大月ハチ 浅川アハ 國分寺コク 立野原ウハ 初鹿野ハノ 勝沼ツマ 龍崎ニラ 穴山アサ 日下部クハ 普通名 略稱  
 石和イワ 甲斐善光寺カヒ 笹子サコ 龍野ハノ 龍崎ニラ 穴山アサ 日下部クハ 普通名 略稱  
 小淵澤コチ 富士見フミ 青柳アヤ 洗馬チノ 上諏訪スラ 日出(信)ヒテ 立(信)マチ 大曾根チネ 千種チク 普通名 略稱  
 辰野タノ 宮ノ越チノ 鹽尻アヤ 洗馬チノ 上諏訪スラ 日出(信)ヒテ 立(信)マチ 大曾根チネ 千種チク 普通名 略稱  
 三野タノ 宮ノ越チノ 鹽尻アヤ 洗馬チノ 上諏訪スラ 日出(信)ヒテ 立(信)マチ 大曾根チネ 千種チク 普通名 略稱  
 土岐津トキ 坂ノ下サタ 高藏寺コソ 勝川カカ 大曾根チネ 千種チク 普通名 略稱  
 篠ノ井線  
 普通名 略稱  
 村井ムキ 松本モト 田澤タサ 明科アカ 西條ニシ 麻績チミ 普通名 略稱  
 河原田ラタ 加佐登カサ 長島ナシ 桑名クワ 富田トミ 富田濱ミタ 普通名 略稱  
 關西本線  
 普通名 略稱  
 加佐登カサ 長島ナシ 桑名クワ 富田トミ 富田濱ミタ 普通名 略稱

〔中管〕

東北線

山手線  
 普通名 略稱  
 十條シウ 板橋イハ 池袋イケ 目黒メシ 高田馬場ハハ 新大久保シチ 新宿シク 普通名 略稱  
 原宿ラシ 澁谷シフ 惠比壽エヒ 目黒メシ 高田馬場ハハ 新大久保シチ 新宿シク 普通名 略稱  
 集鴨スモ 駒込コメ 惠比壽エヒ 目黒メシ 高田馬場ハハ 新大久保シチ 新宿シク 普通名 略稱

〔中管〕

普通名 略稱  
 東京(市管) トイ 東京市京橋(小荷) ケフ 東京市飯倉(小荷) イイ 東京市左門町(小荷) サモ 普通名 略稱  
 横濱市長者町(小荷) チヨ 横濱市港(小荷) ヨミ 静岡市本通(小荷) ホリ 名古屋(市管) コシ 横濱(市管) ヨマ 普通名 略稱  
 名古屋市江川(小荷) エカ 名古屋市門前(小荷) モン 岐阜市笹土居(小荷) サト 金澤市尾張町(小荷) ナハ 金澤市石浦町(小荷) イラ 普通名 略稱  
 富山市東物町(小荷) アモ 富山市平吹町(小荷) ヒフ 高岡市小馬出町(小荷) コマ 福井市佐久良町(小荷) フラ 甲府市柳町(小荷) ナキ 普通名 略稱  
 四日市中町(小荷) ヨナ 備考「聯」ハ聯絡所「信」ハ信號所「假信」ハ假信號所「市管」ハ市内營業所「荷」ハ荷扱所「小荷」ハ小荷物取扱所「小荷、貨物」ハ小荷物運送貨物取扱所ナリ

(参照)

イロハ別  
 略稱 普通名 略稱 普通名 略稱 普通名 略稱 普通名 略稱  
 イイ 飯倉(小荷) イハ 板橋 イト 糸魚川 イチ 尾張一ノ宮 イワ 石和 イフ 動 橋  
 イナ 稲澤 イラ 石浦町(小荷) イク 生地 イマ 今庄 イケ 池袋 イソ 動 橋  
 イヒ 飯田町 イス 石動





アモ	富士市東四十物町(小荷)	アン	安城	略稱普通名	サト	岐阜市笹土居(小荷)	略稱普通名	サメ	坂下	略稱普通名	サナ	鯖波	略稱普通名	サマ	伊豆子(信)	略稱普通名	サマ	東京市(小荷)	略稱普通名
略稱普通名	サハ	略稱普通名	サト	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名
略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名
略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名

〔中管〕

略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名
略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名
略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名
略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名	略稱普通名

〔中管〕

○正午報傳送方

大正四年八月十四日	大正四年七月九日	大正五年九月十九日	大正五年九月十九日	大正五年九月十九日	大正五年九月十九日	大正五年九月十九日	大正五年九月十九日	大正五年九月十九日	大正五年九月十九日	大正五年九月十九日	大正五年九月十九日	大正五年九月十九日	大正五年九月十九日	大正五年九月十九日	大正五年九月十九日	大正五年九月十九日	大正五年九月十九日	大正五年九月十九日	大正五年九月十九日	大正五年九月十九日
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

明治四十二年二月達第六三號正午報傳送手續ニ依ル正午報傳送順序及方法左ノ通定メ七月十一日ヨリ之ヲ施行ス

大正二年七月東達第五六三號(東京鐵道管理局管内正午報傳送順序及方法)及大正四年四月神管達第一〇一八號(神戸鐵道管理局管内正午報傳送順序)ハ本達施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

正午報傳送順序及方法

- 一 正午報ハ別表順序ニ依リ自働報時機ヲ以テ傳送受持驛ヨリ其ノ受持回線ニ傳送スヘシ但シ該機ニ依ルコトヲ得サル場合ハ手送スヘシ
- 二 傳送受持驛ニ於テ正午報ヲ受信シタルトキハ直ニ其ノ受持驛所ニ對シ電話ヲ以テ時分ヲ通報スヘシ

第六編 電氣 第三章 電信、電話

三 電線路障礙又ハ其ノ他ノ事故ニ因リ前各項ニ依ルコトヲ得サル場合ハ便宜ノ方法ヲ以テ時刻ヲ齊正スヘシ

(別表)

正午報傳送順序表

傳送 受持所	受持回線及驛所	傳送 受持所	受持回線及驛所	傳送 受持所	受持回線及驛所
沙留 濱田 電話一香線	濱田 濱田 電話一香線	沙留 濱田 電話一香線	濱田 濱田 電話一香線	沙留 濱田 電話一香線	濱田 濱田 電話一香線
沙留 濱田 電話二香線	濱田 濱田 電話二香線	沙留 濱田 電話二香線	濱田 濱田 電話二香線	沙留 濱田 電話二香線	濱田 濱田 電話二香線
沙留 濱田 電話三香線	濱田 濱田 電話三香線	沙留 濱田 電話三香線	濱田 濱田 電話三香線	沙留 濱田 電話三香線	濱田 濱田 電話三香線
沙留 濱田 電話四香線	濱田 濱田 電話四香線	沙留 濱田 電話四香線	濱田 濱田 電話四香線	沙留 濱田 電話四香線	濱田 濱田 電話四香線
沙留 濱田 電話五香線	濱田 濱田 電話五香線	沙留 濱田 電話五香線	濱田 濱田 電話五香線	沙留 濱田 電話五香線	濱田 濱田 電話五香線
沙留 濱田 電話六香線	濱田 濱田 電話六香線	沙留 濱田 電話六香線	濱田 濱田 電話六香線	沙留 濱田 電話六香線	濱田 濱田 電話六香線
沙留 濱田 電話七香線	濱田 濱田 電話七香線	沙留 濱田 電話七香線	濱田 濱田 電話七香線	沙留 濱田 電話七香線	濱田 濱田 電話七香線
沙留 濱田 電話八香線	濱田 濱田 電話八香線	沙留 濱田 電話八香線	濱田 濱田 電話八香線	沙留 濱田 電話八香線	濱田 濱田 電話八香線
沙留 濱田 電話九香線	濱田 濱田 電話九香線	沙留 濱田 電話九香線	濱田 濱田 電話九香線	沙留 濱田 電話九香線	濱田 濱田 電話九香線
沙留 濱田 電話十香線	濱田 濱田 電話十香線	沙留 濱田 電話十香線	濱田 濱田 電話十香線	沙留 濱田 電話十香線	濱田 濱田 電話十香線

(中管)

沙留

濱田 濱田 電話一香線	濱田 濱田 電話二香線	濱田 濱田 電話三香線	濱田 濱田 電話四香線	濱田 濱田 電話五香線	濱田 濱田 電話六香線	濱田 濱田 電話七香線	濱田 濱田 電話八香線	濱田 濱田 電話九香線	濱田 濱田 電話十香線
濱田 濱田 電話十一香線	濱田 濱田 電話十二香線	濱田 濱田 電話十三香線	濱田 濱田 電話十四香線	濱田 濱田 電話十五香線	濱田 濱田 電話十六香線	濱田 濱田 電話十七香線	濱田 濱田 電話十八香線	濱田 濱田 電話十九香線	濱田 濱田 電話二十香線
濱田 濱田 電話二十一香線	濱田 濱田 電話二十二香線	濱田 濱田 電話二十三香線	濱田 濱田 電話二十四香線	濱田 濱田 電話二十五香線	濱田 濱田 電話二十六香線	濱田 濱田 電話二十七香線	濱田 濱田 電話二十八香線	濱田 濱田 電話二十九香線	濱田 濱田 電話三十香線
濱田 濱田 電話三十一香線	濱田 濱田 電話三十二香線	濱田 濱田 電話三十三香線	濱田 濱田 電話三十四香線	濱田 濱田 電話三十五香線	濱田 濱田 電話三十六香線	濱田 濱田 電話三十七香線	濱田 濱田 電話三十八香線	濱田 濱田 電話三十九香線	濱田 濱田 電話四十香線
濱田 濱田 電話四十一香線	濱田 濱田 電話四十二香線	濱田 濱田 電話四十三香線	濱田 濱田 電話四十四香線	濱田 濱田 電話四十五香線	濱田 濱田 電話四十六香線	濱田 濱田 電話四十七香線	濱田 濱田 電話四十八香線	濱田 濱田 電話四十九香線	濱田 濱田 電話五十香線

(中管)



- 米 原 大垣、垂井、關ヶ原、柏原、近江長岡、配ヶ井
- 米 原 彦根、河瀬、能登川、安土、八幡、野洲、守山、草津、石山、二條、大阪荷扱所、長濱、虎姫、高月、木ノ本、中ノ郷、津
- 米 原 長濱、虎姫、高月、木ノ本、中ノ郷、柳ヶ瀬、定田
- 米 原 彦根、河瀬、能登川、安土、八幡、野洲、守山、草津、石山、大津、二條、大阪荷扱所、神戸
- 京都 沙留、名古屋、米原、敦賀、福井、金澤
- 京都 海舞鶴
- 京都 沙留、米原、敦賀、福井、金澤
- 京都 伏見、桃山、木幡、宇治、長池、木津、四條畷、片町
- 大 阪 沙留、米原、敦賀、福井、金澤
- 大 阪 天滿、櫻宮、京橋、玉造、桃谷、天王寺
- 兵 庫 院内電信所
- 兵 庫 龜山、奈良、淡町、四條畷、片町、天王寺
- 大聖寺 動橋、栗津、小松、寺井、美川、松任、野々市
- 金 澤 蘆原、三國
- 金 澤 直江津
- 魚 津 高岡、東岩瀬、水橋、滑川
- 魚 津 生地
- 寶 達 本津橋、宇野氣、横山、高松
- 寶 達 敷浪、干路、金丸
- 能登部 敷浪、干路、金丸
- 八王子 東神奈川、原町田、飯田町、大久保、中野、國分寺、立川、日野、豊田
- 八王子 淺川、與瀬、上野原、四方津、鳥澤、猿橋、大月
- 八王子 小机、中山、長津田、淵野邊、橋本、相原
- 八王子 飯田町、新宿、大久保、中野、國分寺、立川、日野、豊田、淺川、與瀬、上野原、四方津、鳥澤、猿橋、大月、甲府
- 甲 府 篠ノ井
- 木曾福島 洗馬、奈良井、藪原、宮ノ越
- 木曾福島 上松、須原、野尻、三留野、坂下
- 龜 山 蘆江、彌富、長島、桑名、富田、富田濱、四日市、河原田、加佐登
- 龜 山 關、佐那具、伊賀上野、笠置、津、阿漕、松阪、熊向、山田、鳥羽、草津、貴生川

〔中管〕

〔中管〕

- 上 野 院内電信所、東京、品川、大崎、新宿、板橋、金澤
- 上 野 黒磯
- 上 野 院内電信所、東京、品川、大崎、新宿、板橋
- 上 野 横川、輕井澤
- 長 野 上諏訪、鹽尻、木曾福島、松本、田澤、明科、西條、麻績、姨捨、稻荷山
- 長 野 上野、高崎
- 長 野 名古屋、甲府
- 長 野 高崎
- 直江津 沙留、上野、長野
- 直江津 筒石、名立、郷津
- 直江津 富山、糸魚川、梶屋敷、能生、筒石、名立、谷濱、郷津
- 直江津 田口、關山、二本木、新井、高田、黒井、湯町、柿崎、鉢崎、柏崎、長岡、新津

●第四表 院外往復電報特定經由順路(規程第十條但書ニ依ル)

- 特定經由 往 復 驛 所
- 貴生川 淡町所屬區域及草津大原間各驛
- 近江鐵道會社線
- 近江鐵道會社線
- 近江鐵道會社線
- 尾西鐵道會社線
- 尾西鐵道會社線
- 尾西鐵道會社線
- 尾西鐵道會社線
- 尾西鐵道會社線

●第五表 指定驛所及其ノ發著驛

- 左記各驛所ニ往復スル鐵道電報ハ下記驛ヲ發著驛トス
- 東京市內營業所 (其ノ他)
- 北海道兩管理局所管ニ往復スルモノ
- 名古屋市內營業所
- 橫濱市內營業所
- 小荷物取扱所
- 荷扱所

東上 名古屋 東京野  
廣 理 驛

貨物驛(東横濱及獨立ノモノヲ除ク)  
 聯絡所(獨立ノモノヲ除ク)  
 信務所(同)  
 足柄信號所  
 富士岡信號所  
 岩波信號所  
 矢口發電所  
 柏木發電所  
 永樂町變電所  
 大井工場  
 橫濱支倉庫  
 橫濱保線區

同 同 同 同 御殿場  
 同 裾野 同 蒲野 東野 東野 大崎  
 東横濱 橫濱

○本局關係他管内鐵道電報中繼驛ニ就テ

(大正五年二月二十四日) 局報注意  
 大正五年五月二十七日局報注意  
 大正六年三月二十九日局報注意  
 正同 年十二月十八日同  
 同 年十二月二十八日同

東部及西部管理局管内鐵道電報中繼驛ニシテ本局管内ニ關係ノ分左ノ如シ

繼送驛 中繼驛 所屬區 城  
 長野 直江津 犀海、青海川、飯波  
 青森 盛岡 瀧澤、小栗  
 大板 草津 石部、深川、大原、三雲、貴生川、濱大津、園部(第二次) 龜岡、八木  
 淡路 京都、津、津島、丹波口、花園、嵯峨、六軒、加太、下庄、一身田、高茶屋、木橋、新田、玉水、棚倉、上粕、祝園、田邊、長尾、津田、星田、帶解、標本、三輪、下田

○鐵道電報受證簿様式

鐵道電報受證簿様式左ノ通定ム  
 大正四年三月神管達第五七六號ハ之ヲ廢止ス

月日	電報番號	受信人名	發信人名	受信時間	受信印	記

鐵道十田事

(大正四年八月二十五日) 中達甲第一一二號

運輸事務所、課

[中管]

追テ改正様式ノモノノ配給ヲ受クル迄ハ從來ノモノヲ訂正使用スヘシ  
 ○院內電信所通信取扱時間外ニ於ケル電報傳送方ニ就テ

○鐵道電報原書處理方

本院內ニ宛テタル鐵道電報ニシテ院內電信所通信取扱時間外ノ爲同所ニ傳送シ能ハサルモノハ沙留驛ヲ著驛トシテ傳送スヘシ

(大正四年八月二十五日) 局報注意  
 (大正五年六月一日) 中達甲第三八八號  
 (大正五年九月十二日) 同 第五五一號

局一般

鐵道電報原書處理手續左ノ通定ム

- 鐵道電報原書處理手續
- 一 電報原書ハ本手續ニ依リ整理スヘシ
- 二 發信番號ハ和文ト歐文トニ區別シ毎日之ヲ更新スヘシ
- 三 電報原書ハ發信、中繼信ニ別テ發信ハ番號順ニ中繼信ハ送信同線別ニ整理シ三百通ヲ超過セサル限り一日分若ハ一旬分ヲ合綴又ハ分綴シ第八號様式ノ表紙ヲ附スヘシ



- 四 各驛宛電報ノ謄寫送信濟原書ハ原信ニ又他驛所ニ追送シタル原書及各驛宛電報(發信ヲ除ク)ニシテ二驛所以上ニ分送シタル原書ハ當日發信原書ノ末尾ニ附綴シ其ノ表紙ニ「外分送又ハ追送何通」ト記載スヘシ
- 五 親展ノ指定アル送信濟原書ハ檢査終了ノ後本文ヲ省略シタル正寫ヲ相當ノ箇所ニ綴込ミ原書ハ嚴封ノ上主務者ニ於テ保管シ期限滿了後燒棄スヘシ
- 六 驛長又ハ電信掛主任ハ毎日原書ヲ査閲シ原書表紙其ノ他相當欄ニ檢印スヘシ
- 七 原書ハ毎月分ヲ五ヶ月間取扱驛ニ保管スヘシ
- 八 原書表紙様式左ノ如シ

(様式)

○	大正	年	月	日	分
○	鐵道	信原書	通		
○	電報	信原書	通		
					驛

中部鐵道管理局

大正二年五月東達第二二六號同三年十二月神管達第三六四九號及本達ニ抵觸スル從來ノ達ハ之ヲ廢止ス

### ○電報同時送信手續

各驛宛電報同時送信手續左ノ通定ム

- 一 各驛宛電報ヲ同一回線(電話回線ヲ除ク)ノ各驛又ハ數驛ニ對シ同時送信ヲ爲サントスルトキハ一般ノ規定ニ依ルノ外本手續ニ依リ取扱フヘシ
- 二 同時送信ヲ爲サントスルトキハ同時喚呼ノ符號「—————」ヲ以テ各驛ヲ喚呼シ受信驛全部ノ應答ヲ得タル上二、三回「可受」(同時送信ヲ爲サントスル電報二通以上アルトキハ其ノ通數ヲ冠スヘシ)ノ符號ヲ前置シ引續キ送信ヲ開始スヘシ

[中管]

[中管]

- 三 前項ノ喚呼三分間ニ互ルモ應答ヲ爲ササル驛アルトキハ應答ヲ爲シタル驛ノミニ對シ同時送信ヲ爲シ應答ヲ爲ササル驛ニ對シテハ更ニ送信スヘシ
- 四 同時送信驛ニ於テ各驛ノ應答ヲ得タルトキハ之ニ對シ「承諾」ノ符號(受信不要ノ驛ニ「ラ送ル」ヘシ)
- 五 各驛ニ於テ同時喚呼ノ符號ヲ覺知シタルトキハ直チニ應答ヲ爲シ受信不要ノ通知ヲ受ケタル場合ノ外其ノ儘同時送信ノ開始ヲ待ツヘシ但シ止ムコトヲ得サル事故アリテ直ニ受信スルコト能ハサルトキハ「可待」ノ符號ト其ノ待ツヘキ時分ヲ併送シ受信シ得ルニ至リタルトキハ同時送信驛ヲ喚呼シ送信ヲ促スヘシ
- 六 各驛ニ於テ受信ヲ了シタルトキハ其ノ電報ノ宛所中同時送信驛ニ近キ受信驛ヨリ順次自驛ノ符號ヲ前置シテ受信證ヲ送出スヘシ
- 七 受信未了等ノ爲自驛ノ受信證送出順位ニ到リ受信證ヲ送出スルコト能ハサルトキハ自驛ノ符號ヲ前置シテ受信未了ノ符號「ミレ」ヲ送ルヘシ
- 八 各驛ニ於テ受信中尋問ヲ要スル事項アルトキハ同時送信ノ終了ヲ待テ他驛ノ受信證送了後自驛ノ符號ヲ前置シテ之ヲ爲スヘシ
- 九 全文照校ノ指定アル電報又ハ照校ヲ要スル數字ハ同時送信驛ニ於テ引續キ再度送信ヲ爲シテ反覆ニ代フヘシ
- 十 本手續ニ依リ送信シタル電報原書ニハ對手驛名ノ肩ニ「同」ノ字ヲ附記シ置クヘシ

大正二年七月神管達第一九〇三號ハ之ヲ廢止ス

### ○通信月報調製並差立方ノ件

通信月報調製並差立方左ノ通定ム

- 一 通信月報ハ左記様式ニ依リ調製シ翌月三日迄ニ所管運輸事務所ニ提出スヘシ
- 運輸事務所ニ於テハ所管各驛ノ分ヲ調査取纏メ同月八日迄ニ運輸課ニ送付スヘシ

(大正六年四月十一日)

(中達甲第一一一號)

運輸事務所、驛

- 二 各驛宛電報ノ通數計算方ハ大正三年三月達第二九五號鐵道電報取扱細則第七十一條第一項ニ依ルヘシ
- 三 中繼信ハ受信送信各一通トシ送受其ノ月ヲ異ニセルモノアリタルトキハ「前月ヨリ何通、翌月へ何通」ト記事欄ニ記載スヘシ
- 四 追送シタル鐵道電報ハ發著信ニ計上スヘシ
- 五 歐文電報ハ相當欄ニ内譯朱書スヘシ
- 六 車送電報ハ記事欄ニ再掲スヘシ
- 七 大正三年三月達第二九五號鐵道電報取扱細則第七十一條第二項ニ依ル内譯通數ハ相當欄ニ記載括弧スヘシ
- 八 鐵道、公衆電報及總計ノ一日平均通數ハ各合計及總計ヲ其ノ月ノ日數ヲ以テ除シタルモノヲ記載スヘシ  
若整除シ得サルトキハ小數第一位迄算出シ之ヲ四捨五入スヘシ
- 九 謄寫電報欄ニハ謄寫又ハ轉寫シタル鐵道電報ノ通數ヲ記載スヘシ
- 十 公衆電報取扱手数料ハ左記ニ依リ算出シ其ノ總額ノ厘位ヲ四捨五入シタルモノヲ記載スヘシ
  - 官報、私報發信……………一通ニ付……………金五錢
  - 新聞電報著信……………一通ニ付……………金四錢
  - 但シ同文電報ハ(原信ヲ除ク)此ノ半額トス
  - 官報、私報受取證書……………一通ニ付……………金三錢
  - 新聞電報正寫(和文……………一通ニ付二百字迄每……………金五錢
  - 歐文……………一通ニ付五十語迄每……………金十錢
  - 直配達又ハ汽車中ニ在ル受信人ヘノ交付……………一通ニ付……………金四錢
  - 別使配達(遞信局又ハ分掌局ニ於テ別ニ査定セル里當賃ニ依リ一通毎ニ厘位迄算出スヘシ若里位ニ達セサル端數アルトキハ九丁迄每ニ里當賃ノ割合ヲ以テ算出スヘシ)
- 十一 通信従事員數ハ月末現在ニ依ルヘシ
- 十二 前年ノ當月ニ比シ電報取扱數ニ著シキ増減ヲ來シタルトキハ其ノ事由ヲ記事欄ニ記載スヘシ

〔中管〕

本達ハ本年四月分ヨリ之ヲ施行ス  
大正四年八月中達甲第一〇五號電報取扱通數報告調製並差立方ハ之ヲ廢止ス  
様式

通信月報

大正 年 月 分

課長

鐵道電報	中繼信		合計	公衆電報		合計	總計
	發信	著信		發信	著信		
一日平均	總計	內配達	公衆電報	通信従事員數	記	事	
鐵道電報	總計	內配達	取扱手数料	業務	合計		

○對手驛別電報通信數報告調製並差立方

(大正四年八月二十七日) 運輸事務所、課  
中達甲第一一六號

- 對手驛別電報通信數報告調製並差立方ノ通定ム
- 一 對手驛別電報通信數報告ハ毎月十五日院所屬回線ニ依リ取扱ヒタル電報通信數ヲ左記様式ニ依リ回線別ニ調製シ其ノ月二十日迄ニ所管運輸事務所ニ提出スヘシ運輸事務所ニ於テハ所管各驛ノ分ヲ調査取纏ノ上同月二十五日迄ニ運輸課ニ送附スヘシ
- 二 對手驛名欄ニハ當該回線ニ接続セル總テノ電報取扱驛所名ヲ接続順ニ記載シ當日取扱ナキ回線ニ對シテハ斜線ヲ引クヘシ

- 三 鐵道電報ハ對手驛所毎ニ發著驛所ニ區別記載スヘシ但シ船便繼送ニ依リ往復シタルモノハ其ノ船便繼送ニ依リ往復シタルモノハ其ノ船便繼送
- 驛ヲ又院線以外ノ各驛所ニ往復シタルモノハ其ノ連絡驛ヲ發著驛トスヘシ
- 四 公衆電報ハ對手驛毎ニ區別シ其ノ發著驛名欄ニハ「公衆電報」ト記載スヘシ
- 五 同一名稱アル驛名ニハ其ノ鐵道線路名ヲ冠スヘシ
- 六 各驛宛電報ハ直接通信シタル驛ヲ發著驛トシテ記載スヘシ
- 七 追送シタル鐵道電報ハ發通信數ニ計上スヘシ
- 八 通信數ハ對手驛毎ニ小計ヲ爲スヘシ
- 九 平常ニ比シ通信數ニ著シク増減ヲ來シタルトキハ其ノ事由ヲ記載スヘシ

對手驛別電報通信數報告書  
大正 年 月 十五日調

部	回線名	對手驛名	種別		發信	著信	中繼信		計	記事
			發著驛名	發信			受信	發信		
中										
中										

〔中管〕

〔中管〕

大正二年九月東達第一二九三號及同四年五月神管達第一六二九號ハ之ヲ廢止ス  
追テ用紙ハ今回限リ見積ヲ以テ配給方經理課ニ於テ手配中ナルモ現品ノ配給ヲ受クル迄ハ便宜用紙ヲ以テ報告スヘシ

○御召列車警護ニ伴フ通常電報停止ニ關スル件

(大正五年八月十七日) 運輸事務所、驛  
中達甲第五二一號  
改正 大正六年三月二十九日中達甲第八四號

「明治四十五年一月達第一三號第二十七條ニ依ル御召列車運轉ノ際當該區間ニ於ケル通常電報通信停止」ニ關シテハ左ノ通取扱フヘシ  
左記各驛ニ於テハ御召列車發著又ハ通過ト同時ニ通常電報ノ通信停止又ハ解除ノ通知トシテ下記電信回線ニ對シ自驛電信符號ト發車ノ略號(ヲレハ)通過ノ略號(ヲレツ)到着ノ略號(ヲレチ)ヲ各一分間連送スヘシ

- |            |           |
|------------|-----------|
| 受 持 驛      | 電信回線名     |
| 東京、新橋      | 汐留橫濱電信二番線 |
| 品川、橫濱      | 汐留橫濱電信一番線 |
| 神奈川、大船     | 汐留大船電信線   |
| 大船、橫須賀     | 汐留橫須賀電信線  |
| 逗子(通過ノ場合ヲ) | 汐留國府津電信線  |
| 藤澤、國府津     | 汐留國府津電信線  |
| 國府津、山北     | 汐留山北電信線   |
| 山北、御殿場     | 汐留御殿場電信線  |

御殿場、沼津  
 沼津、岩淵  
 蒲原、静岡  
 静岡、金谷  
 堀ノ内、濱松  
 濱松、豊橋  
 豊橋、岡崎  
 岡崎、大府  
 大府、名古屋  
 名古屋、尾張一ノ宮  
 尾張一ノ宮、大垣  
 大垣、米原  
 名古屋、桑名  
 富田、龜山

御殿場静岡電信線  
 山北静岡電信線  
 沼津静岡電信線  
 静岡濱松電信二番線  
 静岡濱松電信一番線  
 静岡豊橋電信線  
 豊橋名古屋電信線  
 岡崎名古屋電信線  
 武豊名古屋電信線  
 名古屋大垣電信一番線  
 名古屋大垣電信二番線  
 名古屋米原電信(併用)一番線  
 名古屋龜山電信一番線  
 名古屋龜山電信二番線

本達以外ノ分ハ其ノ都度之ヲ定ム

○本局管内公衆電報取扱驛ニ就テ

改正  
 同大正四年十二月十三日局報注意  
 同大正五年十二月十八日局報注意  
 同大正五年四月二十日局報注意  
 同大正五年五月十七日局報注意  
 同大正五年五月十七日局報注意

(大正四年七月二十六日)局報注意  
 大正五年十二月二十五日局報注意  
 大正六年二月二十六日局報注意

〔中管〕

〔中管〕

本局管内公衆電報取扱驛左ノ如シ

新橋運輸事務所管内

府縣名	驛名	取扱種別	取扱時間	取時間外	直配達區域	別使配	電報指示
東京	蒲田	内支和	第一種	扱?	九丁以内		
神奈川	鶴見	同	同	同	同		
同	東神奈川	同	同	同	同		
同	神奈川	同	同	同	同		
同	戸塚	同	同	同	同		
同	大船	同	同	同	同		
同	藤澤	内支和	同	同	三丁以内		
同	茅ヶ崎	内支和	同	同	同		
同	平塚	同	同	同	同		
同	大磯	同	同	同	同		
同	二宮	同	同	同	同		
同	國府津	内支和	同	同	九丁以内		
同	松田	内支和	同	同	同		
同	山北	同	同	同	同		
同	御殿場	同	同	同	同		
同	三島	同	同	同	同		
同	沼津	内支和	同	同	同		
同	原	内支和	同	同	同		
同	富士	同	同	同	同		
同	岩淵	同	同	同	同		





府縣名	驛名	取扱種別	取扱時間	時間外	直配區域	別便配	停車場揭示
東京	八王子	内支和	第一種	扱フ	九丁以内		
神奈川	川崎	同	同	同	九丁以内		
山梨	上野原	同	同	同	九丁以内		
大野	大野	同	同	同	九丁以内		
初鹿	初鹿	同	同	同	九丁以内		
甲府	甲府	同	同	同	九丁以内		
日野	日野	同	同	同	九丁以内		
富士	富士	同	同	扱フ	九丁以内		
長野	長野	同	同	扱フ	九丁以内		
石川	石川	同	同	扱フ	九丁以内		
新潟	新潟	同	同	扱フ	九丁以内		
魚沼	魚沼	同	同	扱フ	九丁以内		
糸魚川	糸魚川	同	同	扱フ	九丁以内		
市振	市振	同	同	扱フ	九丁以内		
親不知	親不知	同	同	扱フ	九丁以内		
寶達	寶達	同	同	扱フ	九丁以内		
七尾	七尾	同	同	扱フ	九丁以内		
津高	津高	同	同	扱フ	九丁以内		
高岡	高岡	同	同	扱フ	九丁以内		
富山	富山	同	同	扱フ	九丁以内		
同	同	同	同	扱フ	九丁以内		
同	同	同	同	扱フ	九丁以内		
同	同	同	同	扱フ	九丁以内		

甲府運輸事務所管内

市振村大字市振（字荒澤、玉ノ木、赤崎、風波ヲ除ク）

別便配  
逓取扱  
停車場揭示

〔中管〕

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
茅野	下野	辰野	鹽尻	贄川	木曾	松本	田澤	明科	西條	西條	西條	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
扱フ	扱フ											
扱フ	扱フ											

〔中管〕

備考

- 一 取扱種別「内支和」ハ内國及日支和文「内支和歐」ハ内國及日支和歐文ナリ
- 一 取扱時間「第一種」ハ午前六時ヨリ午後十時マテ
- 一 時間外取扱、直配區域、別便配逓取扱及停車場揭示電報揭示欄ニ記載ナキモノハ其ノ取扱ヲササルモノトス

○公衆電報原書類處理並差立手續

（大正四年八月二十五日） 運輸事務所、關係

公衆電報原書類處理並差立手續左ノ通定ム

- 一 公衆電報原書類ハ逓信省令達ニ依ルノ外本手續ニ依リ整理發送スヘシ
- 二 縣長又ハ電信掛主任ハ毎日電報原書類ヲ査閲シ原書表紙其ノ他相當欄ニ檢印スヘシ
- 三 電報原書類ハ五日間取扱驛ニ保管シタル後書留扱トシテ運輸事務所宛指定列車ニ搭載スヘシ

- 四 運輸事務所ニ於テハ各驛ニ對スル電報原書類搭載列車ヲ指定シ該列車ニ各驛電報原書類送付用通箱（公衆電報原書類發送區間取卸驛名及届先ヲ記載シタル木札ヲ附ス）ヲ備付クヘシ
- 五 運輸事務所ニ於テハ各驛ノ分ヲ取纏ノ上上旬分ハ其ノ月二十三日中旬分ハ翌月三日下旬分ハ翌月十三日迄ニ書留扱トシテ運輸課ニ送付スヘシ
- 六 送付スヘキ電報原書類ナキ場合ハ付期日迄ニ運輸事務所經由運輸課ニ其ノ旨報告スヘシ

### ○公衆電報原書類保管函備付ノ件

（大正五年十月二十三日）  
（中達甲第五九六號）  
運輸事務所、關係驛

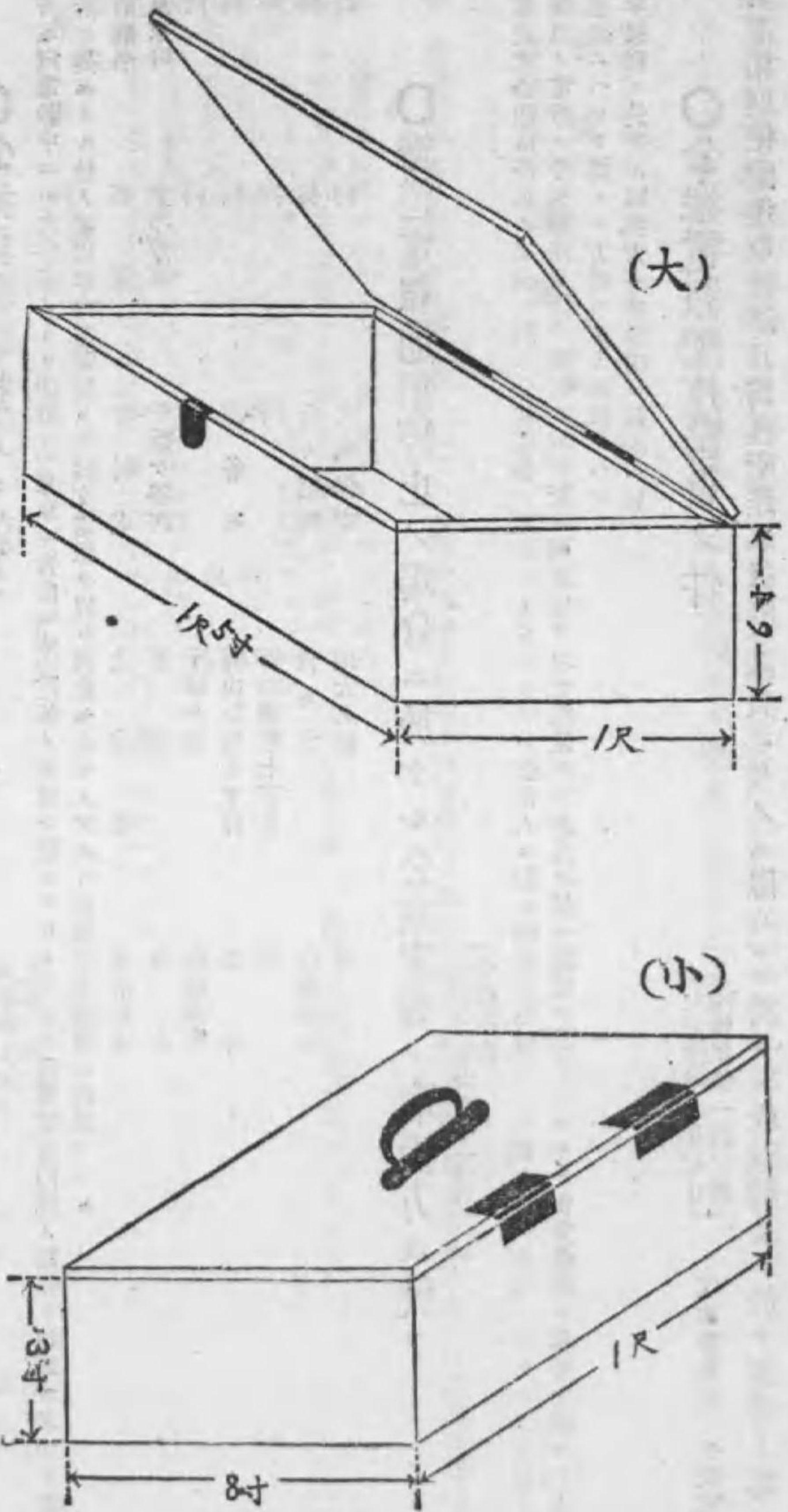
公衆通信ニ關スル電報原書類ハ公衆電報原書類保管函ニ嚴重ニ保管スヘシ但シ書棚又ハ抽斗等ニ收納シ得ルトキハ鎖錠ノ上保管スルコトヲ得  
保管函ノ形狀寸法左ノ通定ム  
現在備付ノモノハ毀損スル迄其ノ儘使用スヘシ

（圖面）

- 一、寸法ハ內法トシ錠前ヲ附ス
- 一、ラックル塗
- 一、蓋ノ表面ニ「公衆電報原書類保管函」ト黒書ス

〔中管〕

〔中管〕



### ○取消トナリタル公衆電報原書類處理方ニ就テ

（大正五年十一月二十二日）  
局報注意

大正三年九月鐵道公報注意ニ依ル原書類ニ記載スヘキ取消電報ノ通數ハ「外取消何通」ト又配達ニ付シタルモノ（局報ヲ含ム）アリタルトキ其ノ通數ヲ内譯附記シ該原書類白ニ配達方法ヲ朱書スヘシ



### ○著信事務局報ノ分送通數記載方ニ就テ

(大正五年六月八日) 局報注意

著信事務局報ノ分送通數記載方ニ關シテハ五月六日通信局通調第三八九六號ノ次第アルモ分送通數ヲ記載スヘキ發信事務局報原書綴ナカリシトキハ著信事務局報原書綴表紙ニ「外分送何通」ト記載スヘシ

### ○公衆電報取扱方ニ就テ

(大正五年六月八日) 局報注意

左記各地宛電報中ニハ大字名ノミナ記載シ「東京」「青山」「赤坂」等ノ肩書ヲ附シタルモノアルモ東京市内宛ノ電報ト連斷シ著信事務局ヲ誤指定シ又ハ著信局所ヲ誤ニスル他ノ東京市内宛電報ト同文電報ト爲シ誤扱セルモノアルニ付受付ノ際特ニ注意スヘシ

府縣名		
東京府	郡名	町村名
東京府	豊多摩郡	千駄ヶ谷町
	同	大 字
同	同	原 宿
		千駄ヶ谷
同	同	内藤新宿
		同
同	同	青山
		同
同	同	青山北町七丁目
		同
同	同	青山南町七丁目
		同
同	同	代々木
		同
同	同	内藤新宿
		同
同	同	西大久保
		同

### ○鐵道電報通信停止ノ場合ニ於ケル公衆電報ノ取扱方ニ就テ

(大正五年九月十五日) 局報注意

- 一 鐵道電報通信停止ノ場合ニ於テ公衆電報ノ通信アリタルトキハ發信人ニ對シ傳送方遅延スヘキ旨ヲ告ケ承諾ヲ得タル上受付ヲ爲スヘシ
- 二 前項ノ電報ハ停止解除ヲ待テ傳送スルカ若ハ列車便ヲ以テ送達スルカ又ハ他ニ通信ノ途アルトキハ便宜他驛ニ臨時中繼セシムルカ其ノ執レ
- 三 中繼驛ニ於ケル取扱方モ亦前項ニ依ルヘシ

### ○公衆電報配達請負ノ件

(大正四年九月七日) 中達甲第一四三號

運轉事務所、公衆電報取扱驛ニ於テ適當ト認めムル者ニ配

〔中管〕

〔中管〕

達請負ヲ命シ左記書式ニ依リ請書ヲ差出サシメ所管運輸事務所經由本局運輸課ニ提出スヘシ  
大正二年十二月東達第二二二九號及本達ニ概觸スル從來ノ達ハ之ヲ廢止ス

(書式)

参 錢  
收入印紙

### 請書

私儀今般 電信取扱所電報配達方請負候ニ就テハ左記各項恪守可致ハ勿論御局ノ都合ニ依リ何時御解約相成共不善仍テ保證人連署御請仕候也

- 一 住所チ 驛長ニ届出ツヘキコト、之ヲ變更シタルトキ亦同シ
- 一 明治二十年五月通信省公達第百號集配人服務規則ヲ遵守スヘキハ勿論諸事 驛長ノ御指揮ニ從フヘキコト
- 一 配達賃ハ晴雨晝夜ノ別ナク左記賃金ノ外一切請求セサルコト  
別使配達ノ電報ハ壹通ニ付片道九丁毎ニ 金 錢
- 一 直配達ノ電報ハ壹通ニ付 金 錢
- 一 請負人ニ於テ解約セントスルトキハ相當交替者ヲ推薦スヘキコト
- 一 請負人ニ於テ以上ノ義務ヲ履行セサルトキハ保證人ニ於テ其ノ責ニ任スヘキコト

住所 族籍、職業  
請負人 何 之 誰  
住所 何 之 誰  
族籍、職業 何 之 誰

### ○列車中ノ乗客ヨリ發シ又ハ之ニ宛テタル公衆電報取扱方ニ就テ

(大正四年十月二十一日)  
局報注意

- 一 公衆電報取扱員ニ停車中ノ列車乗客ヨリ當該驛員ニ對シ電報ノ發信ヲ依頼シタルトキハ該驛員ハ料金ノ過不足其ノ他必要事項ヲ調査シタル上之ヲ受領シ直ニ電信係員ニ引渡スヘシ
- 二 貫通式列車内ノ乗客ヨリ該列車乗務員ニ對シ電報ノ發信ヲ依頼シタルトキハ該乗務員ハ前號ノ調査ヲ爲シタル上之ヲ受領シ速達上便宜ノ公衆電報取扱員電信係員ニ引渡スヘシ
- 三 前二號ニ依リ頼信スル電報ニ對シ公衆電報規則第七十三條ノ受取證ヲ請求セラレタルトキハ當該驛員又ハ乗務員ハ自己ノ仲介者タルニ過キサル旨ヲ懇示シ之ヲ謝絶スヘシ

- 公衆電報規則
- 第七十三條 發信人ハ電報差出ノ日ヨリ三日以内ニ限り其ノ納付料金額ヲ記入シタル電報ノ受取證書ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ受取證書トシテ受取證書一通毎ニ金三錢ヲ納付スヘシ
  - 電報ノ受取證書ニハ其ノ受取證書料ニ當ル郵便切手ヲ貼付シテ交付スヘシ
  - 四 第一號及第二號ニ依リ驛員又ハ乗務員ニ於テ受領シタル電報ニシテ其ノ料金ニ不足アルモ發信人ヨリ追徴ノ手續ヲ爲スヘカラス
  - 五 前號ノ電報ニ對シテハ取扱員ノ電信係員ハ事情ヲ取調ヘ若過誤ノ爲發信人ヨリ正當料金ヲ受領シタルモノニ在ラサルトキハ即時書面ヲ以テ其ノ旨運輪課ニ報告スヘシ

- 列車中ノ乗客ニ宛テタル電報
- 六 列車中ノ乗客ニ宛テタル電報ニ依リ停車中受信人ヲ搜索シ得サルトキハ當該列車力貫通式ナル場合ニ限り該電報ヲ車掌ニ引渡シ車掌ハ發車後モ之カ受信人ヲ搜索スヘシ
  - 七 前號ニ依リ停車中受信人ヲ搜索シ得サルトキハ當該列車力貫通式ナル場合ニ限り該電報ヲ車掌ニ引渡シ車掌ハ發車後モ之カ受信人ヲ搜索スヘシ
  - 八 前號ノ電報ニシテ受信人ニ交付シ能ハサルトキハ車掌ハ次ノ停車驛長ニ之ヲ引渡シ便宜ノ公衆電報取扱員ヨリ左記文例ニ依リ局報ヲ以テ著信驛ニ其ノ旨通報スヘシ
  - 九 前號ニ依リ受信人ニ交付シ能ハサル電報ヲ車掌ヨリ引渡サレタルトキハ當該驛長ハ書留扱トシテ該電報ヲ著信驛ニ返戻スヘシ
  - 一〇 第七號ニ依リ引渡サレタル電報ニシテ料金ノ追徴ヲ要スルモノアルトキハ車掌ニ於テ電報料金受領證書(著信驛ニ於テ發行スルモノ)ト引換ニ受信人ヨリ料金ヲ徵收シ該證書發行驛名、受信人名及追徴料金額ヲ記載シタル書面ヲ添ヘ次ノ停車驛長ニ之ヲ引渡シ當該驛長ハ貴重物品扱トシテ之ヲ證書發行驛ニ送付スヘシ
  - 一一 第一號、第二號、第八號及第十號ニ依リ電報又ハ電報料金ヲ受授スル場合ハ必要事項ヲ受取證ニ登記シ其ノ受授ヲ明カニスヘシ

(文例)

〔中管〕

〔中管〕

郵便手切貼付及日附印捺所				電報料		特取扱料		受信人居所氏名	
報	局	第	局	電	報	指	定	名	氏
分	字	分	字	料	料	三	五	タ	カ
時	分	時	分	定	定	ハ	シ	ハ	シ
時	分	時	分	指	指	ノ	ト	ノ	ト
分	分	分	分	定	定	ノ	ト	ノ	ト
分	分	分	分	指	指	ノ	ト	ノ	ト
分	分	分	分	指	指	ノ	ト	ノ	ト
分	分	分	分	指	指	ノ	ト	ノ	ト
分	分	分	分	指	指	ノ	ト	ノ	ト
分	分	分	分	指	指	ノ	ト	ノ	ト
分	分	分	分	指	指	ノ	ト	ノ	ト

發信人居所氏名を受信人に知らずる必要ある時は此處又は本文の終りに片假名にて記すこと

發信人は自己の居所氏名を成るべく本字にて此所に記すこと

何列車乗務車掌 何 某

○非常ノ場合公衆電報臨時取扱方

(大正四年八月二十五日 中達甲第一〇四號)

局一 般

非常ノ場合公衆電報臨時取扱方左ノ通定ム

- 一 天災其ノ他事故ノ爲交通上支障ヲ來シタル場合公衆電報ノ取扱ヲ爲ササル驛ニ於テ列車乗客又ハ一般公衆ヨリ電報發送ノ要求ヲ受ケタルトキハ左記各項ニ依リ之カ取扱ヲ爲スヘシ
- 二 公衆電報ノ取扱ヲ爲ササル驛(以下單ニ仲介驛ト稱ス)ニ於テハ公衆電報取扱驛(以下單ニ取扱驛ト稱ス)ニ通信ノ途アルトキハ電報ノ受付ヲ爲シ送達上便宜ト認ムル最寄取扱驛ニ電信又ハ電話ニ依リ發送スヘキ電報ノ必要事項ヲ通知スヘシ
- 但シ取扱フヘキ電報及取扱時間ハ取扱驛ノ制限ニ依ルヘシ
- 三 前項ノ通知カ取扱驛ノ時間外ニ著シ若ハ著スルヤモ計リ難キ場合ハ至急電報又ハ時間外電報トシテ取扱フヘシ
- 四 電報受付ノ際ハ電報取扱規程(明治三十三年九月遞信省公達第四三〇號)第八十五條規定ノ各事項ヲ調査スヘシ

(參照) 電報取扱規程

第八十五條 電報ハ受付ノ際左ノ事項ヲ調査スヘシ

- (一) 電報ノ記載方定規ニ違フコトナキヤ否
- (二) 和文電報ニ在リテハ有料字數ヲ無料宛名中ニ混記シタルモノナキヤ否
- (三) 電報ノ書體不明瞭ニシテ誤讀ノ虞ナキヤ否
- (四) 電報ノ種類
- (五) 指定事項アリヤ否及指定ヲ要スルモノニシテ之ヲ缺クコトナキヤ否
- (六) 電報料金ニ充ツル郵便切手貼付ノ有無其ノ金額ノ過不足
- (七) 無効ノ切手類貼付ナキヤ否
- (八) 受信人名ヲ連記シタル電報ハ同一ノ家ニ宛テタルモノナルヤ否

[中管]

[中管]

(九) 賴信紙ノ餘白ニ發信人居所氏名ヲ記載アルヤ否又ハ其ノ居所氏名記載ナキモ差支ヘナキヤ否

五 電信ニ依リ取扱驛ニ通知セントスルトキハ左記文例ニ依リ鐵道電報ヲ以テスヘシ但シ通常電報ノ通信停止中ニシテ該停止回線ノ外他ニ通信ノ途ナキトキハ至急電報ヲ以テ通知スヘシ

(文例)

左記公衆電報依テアリ發信方可然取計アレ(種類)官報又ハ私報(字數)何字(受信人居所氏名)何所何某(傳送ヲ要スル發信人居所氏名)何所何某(指定)何々(本文)何々(右電報文)

(コデ)カン又ハシ何ジ(ウヘ)何所何某(シタ)何所何某(シテイ)何々(ブン)何々

取扱驛ニ於テハ之ヲ賴信紙ニ書取リ其ノ賴信紙上部欄外ニ通知ヲ受ケタル日ノ日附印ヲ押捺シ尙餘白ニ

「鐵道係員(何驛)受付ヨリ電信(又ハ) 仲介」ト記載シ自驛ノ發信トシテ送信ノ手續ヲ爲スヘシ

六 發信人ノ差出シタル電報ニハ發信人ヲシテ其ノ餘白ニ差出時刻及料金額ヲ記入セシメ料金ト共ニ最近列

車便ヲ以テ取扱驛ニ送付スヘシ

取扱驛ニ於テハ前記電報ヲ發信原書ニ對照シ之ヲ原書ノ裏面ニ貼付シ置クヘシ若シ誤謬アリタルトキハ局

報ヲ以テ校正ノ手續ヲ爲スヘシ

七 電報料金ハ取扱驛ノ發信トシテ徵收スヘシ

八 料金ニ充ツル郵便切手ハ自驛到着當日ノ日附印ヲ以テ消印スヘシ

九 時間外ノ取扱ヲ爲ササル取扱驛ニ於テモ必要ト認メタル場合ハ臨機時間外ノ取扱ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ

於テハ至急電報又ハ時間外電報トシテ取扱フヘシ

十 仲介驛ニ於テ電報ノ取扱ヲ爲シタルトキハ其ノ旨本局運輸課長ニ電報シ又取扱驛ニ於テ臨機時間外ノ取

扱ヲ爲シタルトキハ本局運輸課長及所轄遞信局(又ハ管理事務分掌一等郵便局)ニ其ノ旨電報スヘシ

十一 前各項ノ外一般ノ規定ニ依ルヘシ

大正二年十一月東達第一七七二號ハ之ヲ廢止ス

### ○濱松驛電信分室電報取扱方

(大正四年八月二十五日)  
中達甲第一〇九號 新橋運輸事務所、關係課  
改正 大正六年四月二十四日中達甲第一三八號

濱松驛電信分室電報取扱方左ノ通定ム

- 一 取扱フヘキ電報
- 二 濱松工場發著鐵道電報
- 三 電報取扱時間

三月一日ヨリ十月末日マテ午前七時ヨリ午後五時マテ十一月一日ヨリ二月末日マテ午前八時ヨリ午後五時マテ

一般休暇日ニハ電報ヲ取扱ハサルモノトス但シ必要ノ場合ニ限り濱松驛長ハ工場長ト協議ノ上之カ取扱ヲ爲スコトヲ得

三 受付済及通信中ノ電報ハ取扱時間外ニ互ル場合ト雖其ノ送受ヲ完了スヘシ

四 受信シタル電報ハ取扱時間外ニ互ル場合ト雖其ノ配達ヲ爲スヘシ

五 濱松驛ニ於テ前記取扱時間外ニ受信シタル工場宛特別及至急報ハ直ニ配達スヘシ但シ通常報ハ次ノ取扱時間ヲ待テ之ヲ傳送スヘシ

六 濱松驛ニ於テ取扱ヒタル電報ト分室ニ於テ取扱ヒタル電報トハ各別ニ整理スヘシ

七 本達ニ定ムルモノノ外ハ總テ一般ノ規定ニ依ルヘシ

大正二年十月東達第一三〇五號ハ之ヲ廢止ス

### ○汐留驛電信分室電報取扱方

(大正四年八月二十五日)  
中達甲第一一〇號 局一號  
改正 大正四年十月八日中達甲第二二三號  
大正五年一月八日同 第六號  
同 年二月二十六日同 第九一號

汐留驛電信分室電報取扱方左ノ通定ム

- 一 取扱フヘキ著信及中繼信ハ左記ニ限ル

〔中管〕

著信 一 本局各課、教習所、新橋保線區、汐留檢車手詰所、大井工場汐留派出所及運輸局貨物(院內電)

中繼信 一 信所ノ電報取扱時間外ニ限ルニ著スル電報

二 電報中繼順路ハ特ニ指定シタル場合ノ外汐留驛ニ準ス

三 電報原書類ハ汐留驛ニ於テ取扱ヒタルモノト區別整理スヘシ

四 本達ニ定ムルモノノ外ハ總テ一般ノ規定ニ依ルヘシ

大正二年十一月東達第一八三八號及大正三年十二月東達甲第二一六號ハ之ヲ廢止ス

(大正六年三月十六日)  
局報注意

○事故報告電報發信方ニ就テ  
大正四年十月十中達甲第二七七號鐵道事故報告手續第一條ニ依ル電報ハ事故ノ輕重ニ依リ重大ナルモノハ別報ノ指定「イナ」其ノ他ハ至急報ノ指  
定「ウチ」ヲ附シ發信スヘシ  
前項局長宛ノ電報ニシテ往々關係課長掛長等へ連名又ハ別途報告スル向アルモノハ却ツテ電報處理上支障アルニ付單ニ局長宛ニノミ止ムヘシ  
大正四年十月局報注意事項緊急電報發信方ノ件ハ之ヲ廢止ス

### ○特殊電報用紙ニ依ル貨車關係諸報告電報取扱規程

(大正五年五月十日)  
中達甲第三四六號 運輸事務所、課  
改正 大正六年四月二十八日中達甲第一五〇號

特殊電報用紙ニ依ル貨車關係諸報告電報取扱規程左ノ通定ム

特殊電報用紙ニ依ル貨車關係諸報告電報取扱規程

一 本報告ノ種類並電報略號左ノ通トス

普通 名稱

一 使用車扱別及發送噸數收入其ノ他

二 現在車修繕車翌日所要車

三 使用車行先別其ノ他

四 貨車輸送成績

電報略號  
カ ホ  
ゲ シ  
ケ ス

- 一 所管分界驛貨車出入報告
- 二 同一種類ノ報告ニシテ本文ノ同一ナルモノハ著信驛ヲ異ニスルモ宛所ヲ一葉ノ用紙ニ連記スヘシ
- 三 本電報ノ字數トシテ計算スヘキモノハ指定事項及傳送ヲ要スル本文中ノ文字並字數トス
- 四 本電報ヲ傳送セムトスルトキハ其ノ電報略號ト發信驛名トヲ豫告スヘシ但シ略號ノミニテ明カナルトキハ發信驛名ヲ省略スルコトヲ得
- 五 本電報ノ本文ハ「イロハ」ノ順序ニ依リ傳送スヘシ
- 六 本電報ノ本文中一行ヲ數欄ニ分割シタルモノノ空欄ハ「ム」ノ符號ヲ傳送スヘシ但シ一行ヲ通シテ空欄ナルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 七 前項ノ各欄ハ傳送ノ際句讀點ヲ以テ區別スヘシ
- 八 貨車輸送成績(ケス)ノ本文各行及「セ」ト「ゲ」ハ傳送ノ際新章記號ヲ以テ區別スヘシ
- 九 本文中備考欄ノ記載アルモノハ其ノ前ニ新章記號ヲ傳送スヘシ
- 十 第六號乃至第八號ノ符號及記號ハ字數ニ計算セス又受信驛ニ於テハ之ヲ記載スヘカラス
- 十一 中繼驛ニ於テ第二號ノ電報ヲ受信シ自驛ノ著信トナルヘキモノハ之ヲ謄寫シテ配達スヘシ
- 十二 傳送ヲ要スル記事ニシテ之ヲ記載スヘキ相當欄ナキモノハ原書上部欄外ニ「M(何)」ト記載スヘシ

○至急電報用紙使用方ニ關スル件

大正三年三月達第二九四號鐵道電報規程ノ特別報及至急報ニシテ左記各驛ニ於テ取扱フモノニ限リ別記様式ノ至急電報用紙ヲ使用スヘシ但シ已ヲ得サル事由ニ依リ普通用紙ニ記載ノモノヲ受付タル場合ハ其ノ儘至急電報用紙ニ貼付處理スヘシ

追テ用紙ハ經理課ニ請求スヘシ

沙留、同電信分室、靜岡、名古屋、甲府、金澤、米原

(大正六年二月七日) 局一般  
 (中達甲第三三號)

改正 大正六年三月十四日 中達甲第七〇號  
 正同 大正六年四月十四日 第一一八號

様式(赤刷)

曲尺六寸七分

〔中管〕

分五寸三尺曲

(用急至) 紙用報電院道鐵

受線名	送線名	記	事	指定番號	受	付	字數	受	分	時	分	當務者	
							午	時	分	當務者			
					月	日	午	時	分	分	時	分	當務者
													名氏所居者信受
													二
													三
													四
													五
													六
													七
													八
													九
													十
													十七
													十六
													十五
													十四
													十三
													十二
													十

發信時分ヲ記入シ置カントスルモノハ此所ニ記入スヘシ 午 時 分

五二曲 厘分尺

○使用濟鐵道電報用簿表類等ノ保存期限ニ關スル件

(大正四年八月二十五日)

局一般

使用濟鐵道電報用簿表類及受信者ニ配達シ能ハサル鐵道電報ノ保存期限左ノ通定ム

保存期限ハ使用ノ翌月ヨリ起算ス

現字紙

六箇月

電報受證簿

五箇月

受信證登錄用紙

同

受信者ニ配達シ能ハサル電報

同

大正二年三月西管達第五二〇號及同年十二月東達第二一三四號ハ之ヲ廢止ス

○電信競技施行規程

(大正五年六月十四日)

運輸事務所、驛

電信競技施行規程左ノ通定ム

電信競技施行規程

第一條 電信競技(以下單ニ競技ト稱ス)ハ電信係員ノ通信技術ヲ熟達セシメ電報取扱上ノ正確ト快速トヲ期スルヲ以テ目的トス

第二條 競技ハ音響機受信及印字機送、受信トシ委員立會ノ上之ヲ執行スルモノトス

第三條 競技施行日時、場所、委員及參加人員等ハ其ノ都度之ヲ定ム

第四條 競技參加者ハ運輸事務所長ニ於テ所管內電信係員ヨリ之ヲ選出スルモノトス

第五條 競技審査方法及競技者心得等ハ別ニ之ヲ定ム

○本局鐵道電話規程

(大正五年五月九日)

局一般

中部鐵道管理局鐵道電話規程

〔中管〕

〔中管〕

第一條 鐵道電話(以下電話ト稱ス)ノ使用ハ本規程ニ依ルヘシ

第二條 電話交換(以下交換ト稱ス)接続ハ三交換ヲ限度トス

但シ通話者ノ一方カ本局各課ナル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條 天災其ノ他事故發生ノ場合特ニ緊急ヲ要スルトキハ他ノ通話者ニ對シ(交換接続ヲ要スルトキハ交換手ヲ介シ)電話ノ中止ヲ要求スルコトヲ得

前項ノ要求ヲ受ケタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス但シ同一程度ノ通話中ナルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四條 構內交換機ニ接続セル電話回線ト構外交換機ニ接続セル電話回線トハ接続スルコトヲ得ス

第五條 連接電話回線ヲ使用セムトスルトキハ他ノ通話中ニ在ラサルコトヲ確ムヘシ

第六條 交換接続ヲ要求スルトキハ通話先ノ所屬交換機設置驛名ト電話番号(電話番号不明ナルトキハ其ノ場所名)ヲ告クヘシ但シ一交換ノ場合ハ電話番号ノミヲ告クヘシ

第七條 轉換器ヲ裝置セル電話回線ニシテ他ノ電話回線ト接続シタルトキハ通話終了後之ヲ定位ニ復スヘシ

第八條 電話呼出符號ヲ定メサル場所ヲ呼出ストキハ「」ノ符號ニテ信號ヲ爲スヘシ

第九條 電話應答又ハ終結ノ信號ハ「」ノ符號ニテ之ヲ爲スヘシ但シ交換單獨加入ト交換手相互ニ在リテハ應答信號ヲ、交換機ヲ介セサル通話ニ在リテハ終結信號ヲ要セス

第十條 交換手ハ交換接続後時々通話中ナルヤ否ヲ確ムヘシ

第十一條 對手場所ニ於テ應答ヲ遅延シ若ハ不都合ノ行爲アリタルトキハ其ノ狀況ヲ運輸課ニ報告スヘシ

附 則

○電話交換機設置驛所ノ件

大正二年二月西管達第三八八號同年四月西管達第八九九號及同三年三月東達第三七八號ハ之ヲ廢止ス

大正四年八月十四日	中達甲第八五號	局一般
同大正五年十二月二十三日	同第三九三號	同
同大正五年四月二十四日	同第一八三號	同
同大正五年五月二十三日	同第三七五號	同
同大正五年四月二十四日	同第五〇一號	同
同大正六年一月三十日	同第六三三號	同
同大正六年三月十三日	同第六七三號	同
同大正六年四月二十四日	同第一三六號	同

本局電話交換機設置驛所左ノ通定ム  
大正三年三月東達第三七九號ハ之ヲ廢止ス

設置 驛所	座			
	十二 用回	三十 用回	五十 用回	百 用回
東京	構内用一	構内用一	中繼用二	構外用一 構内用二
沙留	構内用一	構内用一	構内用一	構外用一 構内用一
横濱	構内用一	構内用一	構内用一	構外用一 構内用一
國府津	構内用一	構内用一	構内用一	構外用一 構内用一
沼津	構内用一	構内用一	構内用一	構外用一 構内用一
静岡	構内用一	構内用一	構内用一	構外用一 構内用一
濱松	構内用一	構内用一	構内用一	構外用一 構内用一
濱松工場	構内用一	構内用一	構内用一	構外用一 構内用一
名古屋	構内用一	構内用一	構内用一	構外用一 構内用一
米原	構内用一	構内用一	構内用一	構外用一 構内用一
中津川	構内用一	構内用一	構内用一	構外用一 構内用一
八王子	構内用一	構内用一	構内用一	構外用一 構内用一
甲府	構内用一	構内用一	構内用一	構外用一 構内用一
松本	構内用一	構内用一	構内用一	構外用一 構内用一
金澤	構内用一	構内用一	構内用一	構外用一 構内用一
福井	構内用一	構内用一	構内用一	構外用一 構内用一
敦賀	構内用一	構内用一	構内用一	構外用一 構内用一
糸川	構内用一	構内用一	構内用一	構外用一 構内用一
新宿	構内用一	構内用一	構内用一	構外用一 構内用一

〔中管〕

〔中管〕

○回線番號ト表示器番號ト一定ノ件

自今交換機加入回線(構外ニ互ルモノヲ除ク)ノ回線番號ハ當該所屬交換機ノ表示器番號ト同一ニスヘシ

(大正五年九月四日  
中達甲第五四〇號)

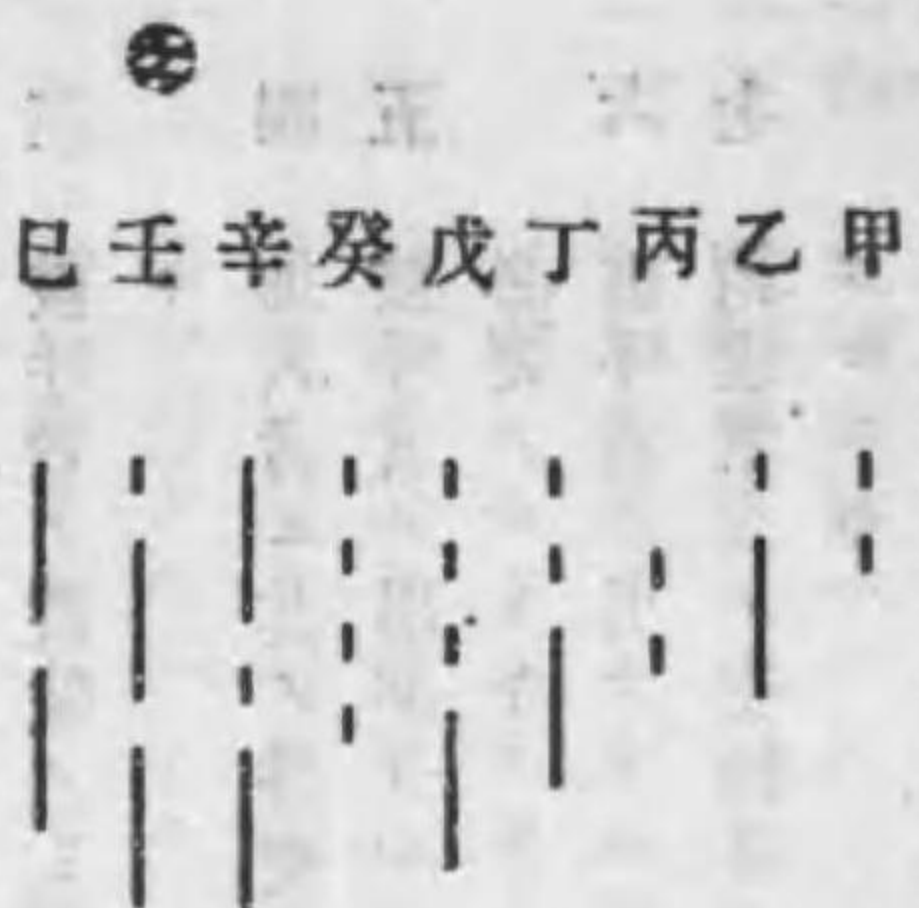
保線事務所

○電話呼出符號制定ノ件

電話交換機ニ連接加入ノ各驛所電話呼出符號左ノ通定メ十月一日ヨリ之ヲ施行ス

(大正五年九月十三日  
中達甲第五五二號)

局一殿



○鐵道電話使用方ニ就テ

- 一 通話ハ勢メテ簡明ニ之ヲ爲スヘシ
- 二 受話器ハ耳ニ接スル部分ヲ下方ニ向ケ懸金物ニ懸ケ置クヘシ
- 三 單獨加入者ハ呼出ニ對スル應答信號ヲ待タズ交換機ニ要求スヘシ
- 四 呼出ハ成ルヘク本人自ラ之ヲ爲スヘシ
- 五 交換手ニ對シテハ交換取扱上必要ナル事項ノ外通話スヘカラス
- 六 呼出、應答及終話ノ信號ハ受話器ヲ懸金物ニ懸ケ把手ヲ回轉スヘシ
- 七 受話器懸金物ハ上下ニ激動スヘカラス

(大正五年五月九日  
局報注意)

○電話交換用手語制定ノ件

電話交換取扱ニ關スル電話交換手ノ用語別表ノ通定ム別表ハ運輸課ヨリ關係ノ向ニ配付ス

(別表)

合

- 一 呼出信號アリタルトキ又ハ單ニ返答スルトキ
- 二 被呼者ノ所屬交換驛ノミ判リ番號不明ナルトキ
- 三 被呼者ノ番號ノミ判リ交換取扱驛不明ナルトキ
- 四 加入者ニ其ノ番號又ハ驛所名ヲ確ムルトキ
- 五 被呼者ノ出デタルコトヲ請求者ニ知ラシムル必要アルトキ
- 六 被呼者ノ出テタルヤ否ヲ請求者ニ確ムルトキ
- 七 請求者又ハ交換手ノ錯誤ニテ加入者ヲ呼出シタルトキ
- 八 通話ノ模様ヲ確ムルトキ
- 九 被呼者ヲ呼出サントスルニ偶然被呼者出テ他ニ接続ヲ請求スルトキ
- 一〇 被呼者ヲ呼出シツツアルニ請求者ヨリ呼ブトキ

用

語

ハイ  
 ……(交換驛名)ノ何番デスカ  
 ……番デスカ  
 何處ノ…番デスカ  
 貴方ハ何番デスカ、又ハ何方デスカ  
 御出ニナツテ居マス、又ハ御出ニナリマシタ  
 未ダ御出ニナリマセンカ  
 間違デシタ濟ミマセン  
 御話ガ判リマスカ  
 貴方ノ方ヲ…カラ、又ハ…番デ御呼デス  
 其ノ方ヲ先ニ御話シ下サイマセンカ  
 呼ンデ居マスカラ御待チ下サイ

〔中管〕

〔中管〕

- 一 呼出信號ニ應答シタルニ交換手ヨリ呼バレタリト云ハレタルトキ
- 二 被呼者出デザルトキ請求者へ
- 三 話済ナルヤ否ヲ確ムルトキ
- 四 被呼者話中ナルトキ
- 五 中繼線話中ナルトキ
- 六 話中ト斷リタルニ空イタラ知ラセテ貫ヒタイト云ハレタルトキ
- 七 話中ト斷リ間モナク同一請求者ガ同一被呼者ヲ呼ビ來リ尙ホ話中ナルトキ
- 八 少シ待タセルトキ
- 九 少シ待タセタル後應答スルトキ
- 一〇 接続ノ有無ヲ問ハレ接続シアルトキ
- 一一 同上接続シナキトキ
- 一二 話中ニ切斷セリト云ハレ番號不明ナルトキ
- 一三 同上番號明カナルトキ
- 一四 緊急通話ノ爲メ通話ノ中止ヲ要求スルトキ
- 一五 對手者引込ミタルトキ

當方デハ御呼ビシマセンガ御面倒デシタ  
 何程呼ンデモ御出ニナリマセンカラ後デ又御呼ビ下サイ  
 モシ、又ハ御話中デスカ  
 御話中デス  
 中繼線御話中デス  
 御氣ノ毒デスガ又御呼ビ下サイ  
 未ダ御話中デス  
 少シ御待チ下サイ  
 御待タセシマシタ、又ハ御待遠様  
 繼デアリマス  
 切レテ居マス  
 濟ミマセン何番デシタカ  
 濟ミマセン只今繼ギマス  
 濟ミマセンガ緊急通話ノ方ガ御待チデスカラ暫時御貸シ下サイ  
 モー一度呼ビマスカラ御待チ下サイ



- 二六 應答遅シト云ハレタルトキ
- 二七 再度尋ヌルトキ
- 二八 呼ビカクルトキ
- 二九 承知ノ意ヲ表ハストキ
- 三〇 反對ノ意ヲ表ハストキ
- 三一 感謝ノ意ヲ表ハストキ
- 三二 通話不明ニシテ送話器ヨリ離レ過ギタリト想像スルトキ
- 三三 通話不明ニシテ低聲ナリト想像スルトキ
- 三四 通話不明ニシテ大聲ナリト想像スルトキ
- 三五 被呼者ノ線路又ハ機械ニ障礙アルトキ
- 三六 同上ノ場合開通期ヲ尋ネラレテ不明ナルトキ
- 三七 通話シ得ル状態ニナリタリト認メタルトキ
- 三八 信號試験ヲ依頼スルトキ
- 三九 通話試験ヲ加入者ニ依頼スルトキ
- 四〇 加入者ヨリ複雑ナル交渉ヲ受ケタルトキ

○電話制限ノ件

濟ミマセン何番、又ハ何方デスカ  
 モー一度願ヒマス  
 モシ  
 承知シマシタ  
 イーエ、又ハ違ヒマス  
 有難ウ御座イマス  
 モー少シ口ヲ寄セテ御話シ下サイ  
 モー少シ大キイ聲デ願ヒマス  
 モー少シ少サイ聲デ願ヒマス  
 ……ハ故障ガアツテ通ジマセンカラ後デ願ヒマス  
 時間ハ判リカネマス  
 判リソウデスカラ御話シ下サイ  
 試験シマスカラドウゾ受話器ヲ懸ケテ「ベル」ヲ鳴ラシテ下サイ  
 一寸試験シマスガ御話ハ能ク判リマスカ  
 主任ヲ呼ビマスカラ其ノ方ニ御話シ下サイ

(大正五年八月二十五日) 局一殿  
(中達甲第五二九號)

〔中管〕

改正  
大正五年九月十九日中達甲第五五六號  
同 年九月二十八日同 第五六八號  
同 年十月十二日同 第五七三號  
大正六年一月三十日同 第二六六號

大正六年三月二十九日中達甲第八五號  
同 年四月十二日同 第一一五號

〔中管〕

本局執務時間中沙留名古屋交換中繼線ニ據リ通話シ得ヘキ電話機ヲ左記ノ通特定ス

- 一 特定電話機ニハ「特定」ノ二字ヲ表示スヘシ
- 一 前號以外ノ電話機ハ休暇日ヲ除クノ外自午前八時(自十一月一日午前九時)至午後四時半(自七月十一日午後二時半)間本文中繼線ニ接続スルコトヲ得ス但シ本局鐵道電話規程第三條ニ據ル緊急通話ハ此ノ限ニ在ラス
- 一 交換取扱驛ニ於テハ右時間中通話申込簿ヲ備置キ必ス申込順ニ接続スヘシ
- 一 金澤運輸又ハ保線事務所長ヨリ豫メ名古屋交換ニ申込ラシタル場合ハ當日午前十一時ヨリ三十分間ヲ限リ同所長又ハ其ノ所屬員ノ通話ノ爲關係交換中繼線ヲ開通セシムヘシ
- 一 前項ノ準備ハ名古屋交換ノ受持トシ沙留及米原交換ハ名古屋交換ノ要求ニ依リ之ニ應スルコトヲ要ス
- 一 前各號ノ外本局鐵道電話規程ニ依ルヘシ但シ局長各課長及關係事務所長ハ緊急ト認ムル用務ニ關シテモ同規程第三條ニ準シ他ノ申込者ニ先チ交換ノ申込又ハ他ノ通話中止ノ要求ヲ爲スコトヲ得
- 前項ノ場合本制限外ノ加入番號ニ接続又ハ制限外ノ加入番號ヨリ呼出ヲ爲スコトヲ妨ケス

交換取扱驛	特定電話番號	加入者名
沙留	一 番	局長
同	二 番	庶務課文書掛
同	三 番	運輸課長
同	四 番	運輸課庶務掛文書、人事
同	五 番	同 庶務掛事故
同	六 番	同 庶務掛通信
同	七 番	同 旅客掛
同	八 番	運輸課機關車掛、客貨車掛
同	九 番	同 貨物掛
同	十 番	同 配車掛、同宿直
同	十一 番	同 配車掛
同	十二 番	同 配車掛
同	十三 番	同 配車掛
同	十四 番	同 配車掛
同	十五 番	同 配車掛



同	四	番	同	旅客
同	五	番	同	貨物
同	六	番	同	列車
同	七	番	同	車輛
同	八	番	金澤保線事務所	
同	十	番	金澤保線事務所、技術	
同	十一	番	同	庶務、計算
同	十二	番	同	物品
同	十三	番	金澤驛長	
同	二十二	番	金澤通信區	
同	二十六	番	金澤工場	
同	二十七	番	金澤支倉庫	

本達ハ九月一日ヨリ之ヲ施行ス

○電話機特定ニ就テ

(大正五年八月二十五日) 局報注意

右中達甲第五二九號ヲ以テ制限セラレタルモ他所管ニ適用セラレサルモノニ付誤解ナキ様注意スヘシ

○非常用携帶電話機使用方

(大正五年五月十日) 局報注意

通信線路ノ電柱十本毎ニ白色「ベイント」ヲ塗リ其ノ上部ニ赤色大型碍子ヲ取付ケ非常電話ノ用ニ供シ其ノ設備並使用方法左ノ通定ム

本達ハ當分ノ間名古屋、金澤兩保線事務所管内ニノミ之ヲ施行ス大正四年一月神管達第一六一號ハ之ヲ廢止ス

一 携帶電話機ヲ白色「ベイント」塗リノ電柱ノ下ニ置キ其ノ上部赤色碍子二個ニ取付ケタル線條ニ護謨線各

〔中管〕

〔中管〕

- 一條ヲ緊結スヘシ但シ赤色碍子一個ノ場合ハ護謨線ノ一條ヲ之ニ緊結シ他ノ一條ハ「レトル」ニ結ヒ付クヘシ
- 前項ノ取付ヲ了ラハ迅速電話機ノ把手ヲ回轉シ一般ノ呼出信號ト混同セサル様數倍長キ信號ヲ爲スヘシ
- 各驛、所ニ於テハ常ニ呼出數ニ拘ラス非常電鈴ヲ鳴スモノアラハ速ニ應答ヲ爲スコトニ注意スヘシ
- 非常用携帶電話機ハ之ヲ一定シ其ノ保管場所ヲ通信區ニ通知スヘシ當該通信區ニ於テハ毎月一回檢査ヲ爲シ不良箇所及不良電池ハ直チニ修理スヘシ

○時間別電話交換度數報告調製方ノ件

(大正五年七月八日) 中達甲第四五〇號

運輸事務所、關係課

時間別電話交換度數報告調製方左ノ通改ム

- 一 調査期日ハ必要ニ應シ其ノ都度之ヲ定ム
- 二 時間別電話交換度數報告ハ左記様式ニ依リ構内、構外、構内外用交換機毎ニ調製スヘシ
- 三 交換度數及不能度數ハ時間別ニ記載スヘシ
- 三 時間別午前零時ノ欄ニハ午前零時ヨリ同零時五十九分迄ノ度數ヲ記載スヘシ以下各欄トモ此ノ例ニ依ル

(様式)

大正 年 月 日

時間別電話交換度數報告

課長

時間別 度數	前											後					合計	一時間 平均													
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	0	1	2	3			4	5	6	7	8	9	10	11					
月 日	不能交換																														
月 日	不能交換																														
月 日	不能交換																														
月 日	不能交換																														
月 日	不能交換																														
月 日	不能交換																														
合計	不能交換																														
加入者數	單獨	共同	構	用交換機	機	回	事																								

(運輸事務所編出)

[中管]

○對手驛別通話度數報告ノ件

(大正六年四月二十八日)

局一覽

[中管]

- 一 對手驛別通話度數報告調製方左ノ通改ム
- 二 對手驛別通話度數報告ハ電話回線ノ通話度數ヲ別記様式ニ依リ回線別及對手驛所別ニ調製スヘシ
- 三 對手驛名欄ニハ當該回線ニ接続セル驛所名ヲ接続順ニ記載スヘシ
- 四 通話度數ハ送話度數ノミヲ記載スヘシ
- 五 交換機又ハ轉換器ヲ經由シタルモノハ當該交換機又ハ轉換器設置驛所ヲ對手驛所トス
- 六 平常ニ比シ通話度數ニ著シキ増減ヲ來シタルトキハ記事欄ニ其ノ事由ヲ記載スヘシ
- 六 調査期日及回線名ハ必要ニ應ジ其ノ都度之ヲ定ム

(様式)

對手驛別通話度數報告

調査月日 回線名	調査月日			合計
	月 日	月 日	月 日	
對手驛名				
合計				
一日平均				
記事				

### ○交換中繼線送話度數報告様式制定ノ件

(大正五年九月二十七日  
中達甲第五六六號)

運輸事務所、關係

交換中繼線送話度數報告様式左ノ通定ム  
調査期日ハ必要ニ應シ其ノ都度之ヲ定ム  
(様式)

大正 年 月 日  
交換中繼線送話度數報告  
(自午前 時至午後 時)

課長

種別	送話度數	送話不能度數	送話延長時間	一時間送話度數		平均送話度數		一時間平均送話時間	
				送話度數	延長時間	送話度數	延長時間	送話時間	延長時間
月 日									
月 日									
月 日									
計									
一日平均									

(運輸事務所經手)

【印】

第七編 經理

○交換中繼線送話度數報告様式制定ノ件

(大正五年九月二十七日 中達甲第五六六號)

運輸事務所、關係

交換中繼線送話度數報告様式左ノ通定ム  
調査期日ハ必要ニ應シ其ノ都度之ヲ定ム  
(様式)

大正 年 月 日  
交換中繼線送話度數報告  
(自午前 時至午後 時)

種別	送話度數	送話不度數	送話延時間	一時間平均		一送話平均時間	
				送話度數	送話延時間	送話度數	送話延時間
本月							
日							
月							
日							
計							
日平均							

備考

(中繼)

露光量違いの為重複撮影

第七編 經理

## 第七編 經理

### 第一章 金錢會計

#### ○豫算決算事務取扱細則

當局豫算決算事務取扱細則左ノ通相定メ大正五年度分ヨリ之ヲ施行ス

(大正五年五月十日  
中達甲第三三四號)

仕拂要求官 繰替拂命令官  
主任現金出納官

中部鐵道管理局豫算決算事務取扱細則

- 一 仕拂要求官ニシテ繰替拂命令官ヲ兼ヌル者ハ自己要求ノ分ニ限り歳出要求豫算差引簿ヲ以テ定額豫算差引簿ニ兼用スヘシ
- 二 定額豫算差引簿ハ仕拂要求官別目別及關係別ニ口座ヲ設ケ一繰替拂傳票毎ニ記帳整理スヘシ
- 三 歳出要求豫算差引簿ハ目別及關係別ニ口座ヲ設ケ一仕拂要求書毎ニ記帳整理スヘシ
- 四 仕拂要求官ハ毎月末日ニ於テハ仕拂要求書ヲ必ス發行當日中ニ繰替拂命令官ニ送付スヘシ
- 五 繰替拂命令官ハ特別ノ事情アルモノヲ除クノ外總テ仕拂要求書受理當日ニ於テ傳票ヲ發行シ所屬出納官吏ニ交付スヘシ
- 六 出納官吏ハ廳内振替計算ニ屬スル仕拂又ハ戻入更正ノ傳票ヲ受ケタルトキハ特別ノ事情アルモノヲ除クノ外當該月中ニ振替收支ノ手續ヲ完了スヘシ
- 七 繰替拂命令官ハ左ノ各號ニ依リ毎月末ノ仕拂未濟調書ヲ作成シ翌月三日迄ニ經理課長ニ送付スヘシ
  - (イ) 定額豫算差引簿ト繰替拂日計表附屬傳票トヲ對照シ仕拂濟ノモノニ對シテハ該差引簿相當欄ニ印ヲ捺捺スヘシ
  - (ロ) 前號ノ仕拂未濟ハ一仕拂傳票毎ニ仕拂未濟表(第二號表)ニ轉記シ翌月以後ニ於テ仕拂濟トナリタルトキハ仕拂月次及金額欄ニ其ノ仕拂月及金額ヲ記入スヘシ
  - (ハ) 當月中受理セル仕拂要求書中傳票未發行ノ分及其ノ月迄ノ仕拂未濟表面各葉ノ仕拂未濟額ヲ集計

シテ仕拂未済調書(第一號表)ヲ作製スヘシ  
 八 繰替拂命令官ハ毎月仕拂要求額報告高ヨリ仕拂未済額ヲ控除シタル殘額ト繰替拂目別月計表トヲ對照ス  
 九 豫算決算ニ關スル諸報告類ニシテ本院ニ提出スルモノハ總テ經理課長ヲ經由スヘシ  
 附 則  
 大正四年三月東管經第一六三號ノ一、同年六月東管經第一六三號ノ二、同年同月東管經第一六三號ノ三通牒ハ之ヲ廢止ス

第一號表 仕 拂 未 済 調 書  
 大正 年 月 末 現 在  
 課 所 長

科目及關係別	要求官	何課ノ分	何運務所	何保務所	何工場	何支倉庫	計
(収益勘定ノ例)							
體 費	係 保						
電 氣	係 電						
關 氣	係 關						
備 電	係 電						
貯 電	係 電						
關 氣	係 關						
備 電	係 電						
何 計	何 計						

備 考  
 1. 本表ハ資本勘定収益勘定ニ區分ノ別業ニ調製スルコト  
 2. 本表ハ當月中受理セル仕拂要求書中傳票未發行ノ分及其月迄ノ仕拂未済表各業ノ仕拂未済額ヲ集計シテ調製スルコト  
 3. 物品費豫算決算整理手續第五條ニ依ル物品代中仕拂未済アルトキハ各自相當額ニ其金額ヲ内課スルコト

仕 拂 未 済 表

第二號表

仕 拂 要 求 書 年 月 日 番 號	科 目	關係別	金 額	仕 拂 未 済 月 次 及 金 額				
				年 月	年 月	年 月	年 月	月

備 考  
 1. 本表ハ毎月其ノ月分ヲ仕拂要求官別ニ區分調製スルコト  
 2. 本表ハ當月中ニ於テ定額豫算引落ニ記載シタルモノ、中印ノ押捺キモノ仕拂未済キモノ仕拂未済キモノハ仕拂月次及金額欄ニ其ノ仕拂月及金額ヲ記入シテ整理スルコト

○當局豫算決算整理手續

(大正五年五月十日) 周一般  
 (中達甲第三五二號)

當局豫算決算整理手續左ノ通相定メ大正五年度分ヨリ之ヲ施行ス

中部鐵道管理局豫算決算整理手續

第一 豫算

第一條 各課長ハ毎年度其ノ主管事務ニ屬スル歳入歳出概算下調書ヲ調製シ計算ノ基礎ヲ明記シタル調表其ノ他參照書類ヲ添付シテ前年度六月十五日迄ニ之ヲ局長ニ提出スヘシ  
 前項概算下調書ハ各細小科目迄區分シ前年度豫算及前々年度決算ニ對スル比較表ヲ添付シ且増減ノ額著シキモノニ在リテハ特ニ詳細ナル説明ヲ附スヘシ

第二條 經理課長ハ前條ノ概算下調書ニ付之カ當否ヲ審査シ査定案ヲ作成シテ局長ノ決裁ヲ受クヘシ



第三條 經理課長前條ノ決裁ヲ受ケタルトキハ之ヲ基礎トシテ歲入歲出概算書ヲ調製シ前年度六月三十日迄ニ之ヲ總裁ニ提出スル手續ヲ爲スヘシ

第四條 各課長ハ前年度一月末日ニ於ケル豫算施行ノ結果ヲ參酌シテ歲入歲出實施豫定額調書ヲ作成シ前年度二月二十日迄ニ之ヲ局長ニ提出スヘシ

前項ノ實施豫定額調書ハ前年度末決算見込額及概算提出額トノ比較表ヲ添付シ各増減ノ事由ヲ詳記スヘシ

第五條 經理課長ハ歲入歲出實施豫定額調書ヲ審査シ査定書ヲ作成シテ局長ノ決裁ヲ受クヘシ

第六條 毎年度歲入歲出豫算ノ令達ヲ受ケタルトキハ經理課長ハ實施豫定額調書ニ基キ配當額ヲ調定シ各課長ト協議ノ上局長ノ決裁ヲ受ケテ仕拂要求官ニ分割配付ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條 仕拂要求官ハ毎年度九月末及十二月末現在ニ於ケル豫算施行ノ結果ヲ考慮シテ年度内所要見込額ヲ算定シ各翌月十五日迄ニ之ヲ局長ニ提出スヘシ

第八條 經理課長ハ前條ノ決算見込額ニ對シ各課長ト協議ノ上査定案ヲ作成シテ局長ノ決裁ヲ受ケ之カ増減ノ手續ヲ爲スヘシ

第九條 仕拂要求官ニ於テ豫算施行ノ結果各目ノ流用又ハ特殊ノ事情ニ依リ増減額ヲ必要トスル場合ハ直ニ其ノ金額及事由ヲ詳記シテ之ヲ局長ニ提出スヘシ

經理課長ハ前項ノ具申書ニ對シ之カ適否ニ付關係課長ト協議ノ上局長ノ決裁ヲ經テ之カ流用増減ノ手續ヲ爲スヘシ

第十條 仕拂要求官ハ歲出要求豫算差引簿ノ結果ニ依リ歲出要求豫算差引報告書ヲ調製シ翌月三日迄ニ經理課長ニ送付スヘシ

第十一條 繰替拂命令官ハ仕拂未濟傳票及傳票未發行ノ仕拂要求書ニ付仕拂未濟調書ヲ作成シ翌月三日迄ニ之ヲ經理課長ニ送付スヘシ

第十二條 經理課長ハ仕拂未濟調書及歲出決算明細簿ノ結果ニ依リ歲出要求豫算差引報告書ノ勘査ヲ爲シタル上總括表ヲ作成シ翌月五日迄ニ總裁ニ提出スル手續ヲ爲スヘシ

〔中略〕

第二 決算

第十三條 經理課長ハ毎月左表ヲ調製シ十日迄ニ局長ノ閱覽ニ供スヘシ

〔中略〕

一 收益勘定收支一覽表

第十四條 各勘定歲出決算明細表

仕拂要求官ハ毎年度建設及改良費ノ決算報告書ヲ作製シ翌年度七月十日迄ニ經理課長ニ送付スヘシ

第十五條 經理課長ハ毎年度末ニ於ケル各勘定歲出決算明細表ヲ作製シ翌年度七月末日迄ニ之ヲ總裁ニ提出スル手續ヲ爲スヘシ

附 則

大正三年六月東達第一五三八號東京鐵道管理局豫算決算整理手續ハ之ヲ廢止ス

○豫算決算整理ニ關スル簿表

(大正五年五月十日)

保線事務所

保線事務所ノ豫算決算整理ニ關スル簿表ハ別ニ定メタルモノノ外別紙ノ通定メ大正五年度分ヨリ之ヲ施行ス

大正三年三月東達第三九三號及本達ニ牴觸スル從前ノ達、通牒ハ之ヲ廢止ス

一 資本、收益勘定歲出要求豫算差引簿 第一號樣式

一 同 工事別豫算差引簿 第二號樣式

一 收益勘定所長權限請負工事豫算差引簿 第三號樣式

一 資本勘定未決算額内譯簿 第四號樣式

一 同 歲出決算明細簿 第五號樣式

一 收益勘定歲出決算明細簿 第六號樣式

一 建設費改良費工事別豫算差引報告書 第七號樣式

以上

(第一號様式)

(大正 年度) (資本勘定、収益勘定) (歳出要求豫算差引簿) (目)

横 七 寸  
縦 一 尺 一 寸

年月日	摘要	憑		書	豫算額	仕掛要求額	差引額	豫算残額	見積及契約高	
		年月日	番號						差引額	差引豫算残額
	豫算額				100,000		100,000	000		100,000
	執行費				000		000	5,000	000	95,000
	執行費				500	000	99,500	000	△ 500	95,000
	工事費				14,000	000	85,500	000	△ 14,000	80,000
	工事費				000	000	000	000	△ 1,000	81,000
	完了				100,000	000	000	000		4,500
	何月分計				100,000	000	14,500	000		4,500
	何月分計				100,000	000	14,500	000		4,500

△印ハ未書トス

- 凡例
- 一、本簿ハ各名目別各關係別ニ口座ヲ設ケ記入スルコト
  - 二、豫算額ハ仕掛要求額ニ依リ記入スルコト但要求額記入ト同時ニ見積及契約高ニ該要求額ト同額ヲ記入スルコト
  - 三、執行費ハ豫算額ヨリ引当シテ記入スルコト
  - 四、工事費ハ豫算額ヨリ引当シテ記入スルコト
  - 五、完了ノ時ハ豫算額ヨリ引当シテ記入スルコト

【寸法】

(第二號様式)

(大正 年度)

(資本勘定、収益勘定)

(工事別豫算差引簿)

横 七 寸  
縦 一 尺 一 寸

具申年 月 日

認可年 月 日

(工 事 名)

竣工年 月 日

【寸法】

年月日	摘要	憑		豫算額	種類	金額	工費	運送費	雑費	物品費	請負費	無代價物品費	計	備考
		年月日	番號											
	計			000		000	0			0	0	0	0	
	同			000		000	0			0	0	0	0	
	同			000		000	0			0	0	0	0	
	同			000		000	0			0	0	0	0	
	何月分計			000		000	0			0	0	0	0	

- 凡例
- 一、本簿ハ建設費改良費及作業費別冊トシテ下ノ類別ニ依リ口座ヲ設ケルコト
  - 二、作業費ハ建設費改良費及作業費別冊トシテ下ノ類別ニ依リ口座ヲ設ケルコト
  - 三、改良費ハ建設費改良費別冊トシテ下ノ類別ニ依リ口座ヲ設ケルコト
  - 四、作業費ハ建設費改良費別冊トシテ下ノ類別ニ依リ口座ヲ設ケルコト

(第三號様式)

(大正 年度) (收益勘定) (所長権限請負工事豫算差引簿)

横一尺一寸

決 算 年 月 日	定 香 號	工 事 名	豫 算 額	決 算 額		豫 算 残 額	備 考
				要 年 月 日	求 香 號		
		何 工 事	0			0	
		何 工 事	0			0	
		何 工 事	0			0	

凡例

- 一、本簿へ各目ニ口座ヲ設ケ所長権限請負工事(支給材料ノ附帶スルモノ又ハ直管ト關聯スルモノヲ除ク)ノミニ限リ記入ノコト
- 二、豫算額ハ請負額ヲ揚ケ決算額ハ仕掛要求書ニ依リ該工事相償行ニ記入スルコト
- 三、工事別豫算差引簿ニ依ルル額定トスル場合ハ本簿ヲ設ケサルコトヲ得

【各欄】

(第四號様式)

(大正 年度) (資本勘定) (未決算額内譯簿)

横一尺一寸

年 月 日	摘 要	憑 書		決 算 額		決 算 額		未 決 算 額
		月 日	番 號	前 年 度 分	本 年 度 分	前 年 度 分	本 年 度 分	
	前年度ヨリ繰越高 何々(物品)代 前年度分使用 本年度分使用 何月分計 累			0				0 0 0 0

【各欄】

凡例

- 一、本簿へ建設費及改良費トモ目及關係別ニ口座ヲ設ケルコト
- 二、未決算額ハ物品代仕掛要求書ニ依リ下ノ區分ニ隨ヒ記入スルコト  
イ、仕掛要求書發行ノ際各目ニ對シ節以下ノ科目判明セザルモノ  
ロ、同上節以下ノ科目判明セルモノト雖モ用地費ニ於ケル収入印紙ノ如キ使用上各目又ハ各關係相互ニ於テ轉用又ハ流用シ得ラルヘキモノ但シ建築用具費及辦供用品ヲ除ク
- 三、各目又ハ各關係相互物品ノ轉用又ハ流用ハ下ノ區分ニ依リ整理ノコト  
イ、本年度分ニ屬スルモノハ目關係別ノ更正ヲシタル上相互未決算額ノ増減ヲ爲スコト  
ロ、建設費ニシテ前年度分ニ屬スルモノハ當初請求ノ目ヲ以テ決算ノコト  
ハ、改良費ニシテ前年度分ニ屬スルモノハ目又ハ關係別ノ更正ヲ爲サズ單ニ相互未決算額ノ増減ヲ爲スコト
- 四、決算額ハ物品使用報告書ニ失誤出報告書不用戻入書等ニ依リ記入ノコト

(第五號様式)

(大正 年度)

(資本勘定)

(歳出決算明細簿)

横 七 尺 一 寸

年月日	摘要	憑 書		決 算		累 計
		月 日	番 號	前 年 度 分	本 年 度 分	
	人夫賃(又ハ工夫給)				0	0
	何々(物 品)代				0	0
	前年度分物品使用				0	0
	本年度分物品使用				0	0
	何月分計				0	0
	累 計				0	0

凡 例

- 一、本簿ハ各關係簿ニ目、節、細節、細々節ニ口座ヲ設クルコト
- 二、決算額ハ確定仕拂要求書、仕拂更正又ハ戻入要求書、物品使用報告書等ニ依リ記入スルコト

【左側】

【右側】

(第六號様式)

(大正 年度)

横 七 寸

(大正 年度) (收益勘定) (歳出決算明細簿)

縦 一 尺 一 寸

(關係別)

(節) (細節) (細々節) (種別)

年月日	摘 要	憑 書		線 名	決 算 額		累 計
		月 日	番 號		普 通 費	災 害 費	
	工夫給 (人夫賃)			東海本	0		0
	何々(物品)代			横 濱	0		0
	工夫旅費			北陸本	0		0
	請負代金			"		0	0
	"			篠ノ井	0		0
	(何月分計)				0	0	
	内			東海本	0		
				横 濱	0		
				北陸本	0	0	
				篠ノ井	0		

凡 例

- 一、本簿ハ關係別トシ兼テ年報々告材料中保存費區分表作製ノ資料トナルヘキモノニシテ下ノ區分ニ依リ口座ヲ設クルコト
- イ、保存費中ノ俸給及諸給、執業費並補充費ノ節、細節(又ハ細々節)別
- ロ、保存費中ノ線路修繕費及諸建物修繕費ノ節、細節及細節ニ對スル種類(保存費區分表様式記載種類)別
- 二、線名ハ明治四十二年十二月鐵道院告示第五十四號ノ區間備線路名ニ依ルコト但シ線名ハ保存費ニ限リ記入スルコト
- 三、決算額ハ仕拂要求書仕拂更正又ハ戻入要求書ニ依リ記入スルコト
- 四、災害費ハ仕拂要求書ニ風水害ト朱記スルモノニ限ル
- 五、俸給及諸給並執業費中豫メ線名ノ區分ヲ難キモノハ年度ノ終リニ於テ各線ニ分當算定スルコト
- 六、決算額中工場ニ關スルモノハ適當ノ方法ヲ以テ他ノ經費ト區別スルコト

歳出要求豫算差引報告書資本勘定

第 號	大正 年度大正 年 月分		大正 年度大正 年 月分			
	科 目		豫算 = 對シ仕 拂要求差引額		豫算残額 = 對シ物品注文見 積及工事其他契約高差引額	
	豫算額	要求額	見積及 契約高	差引豫 算残額	其ノ他年度内 仕拂見込額	
鐵道建設及改良費						
建設費						
何々間鐵道						
工務關係						
工作關係						
何々間鐵道						
工務關係						
工作關係						
計						
改良費						
線路及建造物費						
工務關係						
電氣費						
工務關係						
工作關係						
何々費						
工務關係						
工作關係						
計						
合 計						

第七編 經理 第一章 金錢會計

十三

大正 年 月 日  
何々課所場長

中部鐵道管理局長殿

備考 經理課長ノ分ハ各日關係別ノ下ニ各課所場別ヲ明記スヘシ

大正五年度以降歳出要求豫算差引報告書ハ左記記載例ニ依リ調製シ翌月三日迄ニ經理課長ニ送付スヘシ  
(記載例)  
○歳出要求豫算差引報告書記載方ニ就テ (大正五年五月十日) 局報注意

(中管)

(第七號様式)

(用紙フルスカップ半切)

大正 年度 年 月分  
(工務) (工作) 關係  
(建設費) (改良費) 工事別豫算差引報告書 (何)保線事務所

第七編 經理 第一章 金錢會計

目 節	設計 豫算 裁年 及 番 號	施行 豫算 可年 及 番 號	摘 要	豫算額	決 算 額		豫算 残 額	備 考
					本月分	累 計		
線路及建造物費				0	0	0	0	
供給及諸給 諸 費				0	0	0	0	
線路改良費		中管工1	何 工 事 仕拂完了工事何件	0	0	0	0	
停車場改良費		中管工2	何 工 事	0	0	0	0	
計				0	0	0	0	
割掛費			線路改良費 停車場改良費	0	0	0	0	
計				0	0	0	0	
電氣費			設計未定額	0	0	0	0	
計				0	0	0	0	
合計			(記載ノ例ハ線路及 建造物費ニ同シ)	0	0	0	0	
總計				0	0	0	0	

- 凡 例
- 一、本書ハ當該年度配付豫算ニ基キ記載例ニ示ス如ク目、節及設計未定額ニ區別シ更ニ工事費ハ各施行豫算ノ認可番號毎ニ記載シ割掛費ハ工事費ノ各節ニ區分ス但シ工事費ニシテ仕拂完了シタルトキハ其ノ旨備考ニ記載シ翌月以降ハ「仕拂完了工事何件」トシテ一括記載(豫算額ヲ決算相當額ニ引直ス)シ又工作關係並工務關係中ノ建設費ニ在リテハ工事費及割掛費ニ對スル節別ヲ附セサルモノトス
  - 二、豫算額ハ當該年度支出豫算額ヲ掲ケ前年度以前決算額及次年度支出豫定額ハ之ヲ備考ニ記載スルコト但シ前年度以前決算額ハ年度初頭ニ限り記載ノコト
  - 三、設計變更其ノ他ノ事由ニ依リ豫算額ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ事由及金額ヲ備考ニ記載スルコト
  - 四、配付豫算額ト施行豫算額トノ差額ハ設計未定額トシ建設費ハ各關係毎ニ目別ニ記載スルコト
  - 五、設計豫算裁年及番號ハ該設計ヲ事務所ニ通知シタルモノノミニ限り記載ノコト
  - 六、工作關係工事並工務關係中ノ建設工事ニ對シテハ決算累計額以外當年度間ノ支拂見込額ヲ各工事相當備考ニ記載スルコト

(中管)

十二

歲出要求豫算差引報告書收益勘定

第七編 經理 第一章 金錢會計

第 號 大正 年度大正 年 月分

科 目	豫算=對シ仕拂要求差引額			豫算殘額=對シ物品注文見積及 工事其ノ他契約高差引額			
	豫算額	要求額	差引豫算殘額	見積及契約	差引豫算殘額	其ノ他年度內仕拂見込	
鐵道作業費							
事業費							
總係費							
除電氣關係							
電氣關係							
保存費							
除電氣關係							
電氣關係							
汽車費							
除電氣關係							
除教習所							
教習所							
電氣關係							
車輛修繕費							
運輸費							
除電氣關係							
除教習所							
教習所							
電氣關係							
補充費							
除電氣關係							
電氣關係							
工場關係							
私設鐵道借用料							
病院及治療所費							
計							
諸拂戻及立替金							
通行稅拂戻金							
過誤納拂戻及割戻金							
荷物引換代金							

十五

〔中管〕

歲出要求豫算差引報告書資本勘定

第七編 經理 第一章 金錢會計

第 號 大正 年度大正 年 月分

科 目	豫算=對シ仕拂要求差引額			豫算殘額=對シ物品注文見積及 工事其ノ他契約高差引額			
	豫算額	要求額	差引豫算殘額	見積及契約	差引豫算殘額	其ノ他年度內仕拂見込	
鐵道用品及工作費							
用品及工作費							
用品費							
購入費							
(一)本院契約							
(二)當局車契約							
其ノ他							
工作費							
電氣費							
諸拂戻金							
合計							

大正 年 月 日

何々課所場長

中部鐵道管理局長殿

備考前同斷

〔中管〕

十四

歲出要求豫算差引報告書收益勘定

大正 年度大正 年 月分

第 號	科 目	豫算=對シ仕拂要求差引額		豫算殘額=對シ物品注文見積及 工事其ノ他契約高差引額				其ノ他 年內 仕達 見積
		豫算額	要求額	見積	及高	差引	豫額	
立	營 金							
	計							
	合 計							

第七編 經理 第一章 金錢會計

十六

大正 年 月 日

何々課所場長

中部鐵道管理局長殿

備考 前同斷

【中管】

【中管】

○物品費豫算決算整理手續

物品費豫算決算整理手續左ノ通定メ大正四年度ヨリ之ヲ施行ス

物品費豫算決算整理手續

第一條 本手續ニ依ルモノハ左記科目支辨ニ屬スル物品費トス

一 資本勘定所屬

建設費—總係費(諸費)改良費—線路及建造物費(諸費)改良費—電氣費(諸費)

一 收益勘定所屬

總係費、保存費(執業費)、汽車費、車輛修繕費(執業費)、運輸費、病院及治療所費

第二條 前條物品費ニ關スル歲出豫算ハ經理課長之ヲ主管ス

第三條 本手續ニ屬スル豫算及決算ハ本課及決算ハ本課並事務所別ニ整理スヘシ

第四條 前條ノ決算額ハ毎月分ヲ各配給箇所別ニテ之ヲ調査シ關係箇所ニ通知スヘシ

第五條 事務所長又ハ工場長ハ直決算ヲ以テ物品購入又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ之ニ對スル仕拂要求ノ手續

ヲ爲シ要求豫算差引簿ニ別口座ヲ設ケ之ヲ整理シ別紙様式ニ依リ翌月三日迄ニ經理課長ニ報告スヘシ

前項仕拂要求額ハ毎月末ニ於テ經理課ノ負擔ニ更正スヘシ

附 則

第六條 大正四年四月十五日東達甲第一八八號及從來ノ諸達類ニシテ本手續ニ抵觸若ハ重複スルモノハ之ヲ

廢止ス (別紙様式)

(大正四年十月十三日)

局一殿

正改 大正五年五月十一日 中達甲第三四〇號  
大正六年三月三十一日 同 第一〇四號

様式 No.

大正年度 月中物品費仕拂金額報告

事務所長 工場長

(日)

(節)

(細節)

月 日 提出

品名	数量	単價	代價	仕掛要求書番號	記事
計					
					本月末決算額

1. 細節毎=小計ヲ付シ最後=(日)ノ合計ヲ附スルコト
2. (日)ノ當月中決算額ハ歳出要求豫算引法ノ月計ト照合スルコト
3. 一請求ヲ以テ二箇所以上ニ配給ノ物品ヲ請求シタルモノニ對シテハ其ノ配給内課表ヲ添付スルコト
4. 各日支辨ノ物品ニ對シテハ除電氣關係、電氣關係ト記事欄ニ記入スルコト

○工作關係工事豫算過不足整理ニ就テ

(大正四年十一月二十三日) 局報注意

工場及事務所(除保險)ニテ施行スル建設及改良費補充費支辨ノ工作關係(器械場及電氣)工事ニシテ施行ノ結果生シタル自然ノ豫算過不足ハ工事

【中普】

工程表備考欄ニ其ノ事由ヲ附記スルニ止メ特ニ増減額稟申ニ不及但シ設計變更ニ伴フ場合ハ此ノ限ニ在ラス

○歳入徴收事務整理規程

(大正四年九月三十日) 局一般

中途甲第一九七號

正改 大正五年五月三日 中途甲第二三五號

大正六年一月十八日同 第七號

【中普】

中部鐵道管理局歳入徴收事務整理規程左ノ通定ム

大正三年三月東達第七二〇號官舎貸渡宿代並附屬電燈電力料徴收手續東達第七二一號收入濟通知事項及拂込通知書整理方ノ件大正四年四月三十日神管達第一三四八號即納通知書發行ノ件大正三年三月神管達第七一四號技術課主管ニ屬スル雜草刈取料及土地物件使用料金徴收方ノ件其ノ他本規程ニ牴觸スル達ハ之ヲ廢止ス

中部鐵道管理局歳入徴收事務整理規程

第一條 歳入ノ徴收ニ關シテハ會計事務取扱細則第二章及明治四十二年四月達第三二三號官舎貸渡宿代並附屬電燈電力料徴收手續ニ依ルノ外本規程ニ依リ取扱フヘシ

第二條 歳入徴收ノ要求ハ主務ノ官吏左記區分ニ依リ即納通知書ヲ發行スヘシ但シ即納通知書ニ依リ難キモノハ徴收要求書ヲ發行スルモノトス

- 一 局長決裁ニ係ルモノハ經理課長(但シ事務所又ハ支倉庫ニ於テ施行スル競争入札ニ關スルモノヲ除ク)
- 二 事務所長、工場長、支倉庫主任、專決ニ係ルモノ前號括弧但書ニ依ルモノ及官舎宿代及電燈電力料ハ當該所場長又ハ支倉庫主任
- 三 振替收入ヲ要スルモノハ仕拂經費ヲ負擔スル課所場長又ハ支倉庫主任
- 四 第五條列記ノ歳入金ハ當該驛、庫、區、所、長主任又ハ車掌監督

第三條、第四條 (削除)

第五條 第二條第四號ノ職員ヲシテ即納通知書ヲ發行セシムヘキ歳入金ノ種類左ノ如シ

- 一 招牌揭示料
- 二 棧橋使用料

第七編 經理 第一章 金錢會計



三 物品賣拂代  
四 局報賣拂代

五 杠重機使用料(驛所屬ノ取扱ヲ除ク)

第六條 各課長ハ歳入徵收ニ關スル事項ニ付局長ノ決裁ヲ經タルトキハ徵收ニ必要ナル關係書類ヲ經理課長  
(第二條第一號括弧但書ノ場合ハ事務所長又ハ支倉庫主任)ニ送付スヘシ

第七條 第五條ノ歳入金即納通知書中第一號招牌揭示料第二號棧橋使用料ニシテ所定ノ料金ニ依ラサルモノ  
ハ其ノ決議書ヲ第三號物品賣拂代ニシテ驛所ニ於テ競賣シタルモノハ三名以上ノ入札書ヲ支倉庫ニ於テ競  
賣シタルモノハ見積書又ハ大正五年三月達第二五一號歳入歳出並出納計算證明規程第九條第十條ノ關係書  
類ヲ添附スヘシ但シ第四號及第五號ノ歳入金並前記料金ニシテ證憑書類ノ添附ヲ要セサルモノニ對シテハ  
事由欄ニ算出ノ基礎ヲ明記スヘシ

第八條 期間滿了前ニ解約ノ申出又ハ通知ヲ爲ササルトキ若クハ許可(承認)取消ノ通知ヲ爲ササルトキハ更  
ニ或期間繼續スヘキ條項ニ基キ繼續シタル場合該料金ノ徵收ニハ證憑書トシテ第一號若ハ第二號様式ノ仕  
譯書ヲ添附スヘシ  
前項ノ許可(承認)又ハ契約ニシテ繼續セサル場合ハ各課長又ハ事務所長ハ直ニ其ノ旨經理課長ニ通知スヘ  
シ

第九條 定期收入ニ對シ徵收要求書又ハ即納通知書ヲ發行シタルモノノ料金其ノ他ニ異動ヲ生シ又ハ徵收ヲ  
要セサルニ至リタルトキハ事務所長ハ第三號乃至第六號様式ノ報告書ニ關係書類ヲ添ヘ之ヲ徵收事務官ニ  
各課長ハ異動ニ關スル證憑書類ヲ經理課長ニ送付スヘシ  
經理課長前項後段ノ書類ヲ受ケタルトキハ第六號様式ニ依リ異動報告書ヲ調製シ之レヲ徵收事務官ニ提出  
スヘシ

第十條 即納通知書及徵收要求書ニシテ收入濟ノ通知ヲ要スルモノハ欄外見易キ箇所ニ「何箇所ニ收入濟通  
知ヲ要ス」ト附記スヘシ

第十一條 出納官吏又ハ主任出納員ノ取扱ニ係ル即納通知書又ハ拂込通知書ニシテ收入濟通知書ヲ要スルモ  
ノハ第七號様式ノ收入濟通知書ヲ調製シ洩ナク指定ノ箇所ヘ通知スヘシ

第十二條 分任出納官吏又ハ主任出納員宛發行スル拂込通知書ニハ第八號様式ノ送付書ヲ同即納通知書ニハ  
副本ヲ添ヘ主任出納官吏ヲ經テ之ヲ送付スヘシ但シ急速收入ヲ要スルモノ又ハ主任出納官吏ヲ經由スルヲ  
不便トスルモノハ即納通知書ノ欄外ニ直接送付ト朱書シテ當該分任出納官吏又ハ主任出納員ニ送付スヘシ

第十三條 分任出納官吏又ハ主任出納員ハ拂込通知書送付書及即納通知書副本ニ領收年月日ヲ記入シ適宜ノ  
箇所ニ認印シテ自驛發行ノ即納通知書謄本ト共ニ之ヲ編綴スヘシ

第十四條 主任出納官吏ハ所屬分任出納官吏又ハ主任出納員宛發行ノ拂込通知書若ハ即納通知書ヲ受ケタル  
トキハ自己宛發行ノ分ト共ニ適宜ノ帳簿ニ發行月日、番號、金額ヲ記載シ置クヘシ

第十五條 主任出納官吏拂込通知書若ハ即納通知書ニ對スル現金ヲ領收シ又ハ分任出納官吏若ハ主任出納員  
ヨリ現金ノ引繼ヲ受ケタルトキハ番號金額ニ對照シ其ノ收入濟ノモノニ對シテハ領收月日ヲ記入シテ收入  
ノ消込ヲ爲スヘシ

第十六條 主任出納官吏ハ毎月即納通知書ニ對スル未收入額ヲ取調ヘ其ノ番號金額ヲ翌月五日迄ニ經理課長  
ニ報告スヘシ

第十七條 出納官吏又ハ主任出納員即納通知書又ハ拂込通知書ニ對スル金額ノ納付ヲ遲滞スルモノアルトキ  
ハ直ニ督促シ向納付セサルトキハ即納通知書ハ發行官ニ返戻シ拂込通知書ハ未納ノ事由ヲ徵收事務官ニ報  
告スヘシ但シ分任出納官吏又ハ主任出納員取扱ニ係ルモノハ所屬主任出納官吏ヲ經由スルモノトス

〔中略〕

〔中略〕

第一號樣式

繼續條項  
第 條

納		期	
自	至	自	至

第 號	仕 譯 書	大 正 年 度	事 項		納 入	最 初 徵 收 要 求 書 年 月 日 番 號
			許 可 (承 認) 又 ハ 契 約 年 月 日	期 間 年 又 ハ 月 第 一 期 分		

中部鐵道管理局何々事務所長印

【中書】

備考 一、本仕譯書ニハ要求書記番號及科目款(項)(目)(節)ヲ記載スヘシ

二、繼續條項第條ノ下ニハ該條項全文ヲ記載スルコト

第二號樣式

繼續條項  
第 條

第 號	仕 譯 書	大 正 年 度	納 人 住 所 氏 名	許 可 (承 認) 又 ハ 契 約 年 月 日	事 項	期 間	料 金	今 回 徵 收 額	最 初 徵 收 及 要 求 番 號	右 之 通
				年 月 日		許 可 (承 認) 契 約 番 號 條 二 依 リ 自 年 年 月 月 繼 續				

大正 年度

【中書】

中部鐵道管理局何々事務所長印

備考 第一號樣式ニ準シ記載スルコト

記 號 第 號	大 正 年 月 日	電 力 事 務 所 長	徵 收 事 務 官	異 動 報 告	電 力 事 務 所 長
官 舍 所	舊 使 用 變 更 後 貸 附 電 力 計 ノ 異 動	點 火 休 燈	異 動 年 月 日	又 變 更	納
地 號	燈 數	燈 數	舊	現	入
此 欄 六 行					

第 四 號 ( 燈 其 灯 / 分 )

第 號	大 正 年 月 日	保 線 事 務 所 長	徵 收 事 務 官	異 動 報 告	電 力 事 務 所 長
驛 名	號 戶 年 月 日	住 又 官 職 名 氏	退 去	名	名
此 欄 七 行					

第 三 號 ( 官 舍 / 分 )

[ 年 報 ]

記 號 第 號	大 正 年 月 日	電 力 事 務 所 長	徵 收 事 務 官	異 動 報 告	電 力 事 務 所 長
官 令	從 來 使 用 場 力 燈 數	變 更 後 場 力 燈 數	異 動	點 火 休 燈	異 動
所 在 地	ト 以 下	ト 以 下	ト 以 下	ト 以 下	ト 以 下
號 戶	ト 以 下	ト 以 下	ト 以 下	ト 以 下	ト 以 下
名	氏	氏	氏	氏	氏
此 欄 七 行					

第 五 號 ( 定 額 灯 / 分 )

第 六 號

( 三 號 乃 至 五 號 以 外 / 分 )

記 號 第 號	大 正 年 月 日	徵 收 事 務 官	異 動 報 告	最 初 許 可 報 告	納 入 住 所 氏 名	承 認 年 月 日	事 項	料 金	契 約 期 限	納 期	右 之 通 ( 納 入 局 / 納 入 部 合 計 )
徵 收 事 務 官	異 動 報 告	最 初 許 可 報 告	納 入 住 所 氏 名	承 認 年 月 日	事 項	料 金	契 約 期 限	納 期	右 之 通 ( 納 入 局 / 納 入 部 合 計 )		
徵 收 要 求 官 名											

第七號

大正 年 月 日  
御中  
中部鐵道管理局主任現金出納官吏

第 號 收入濟通知書

摘要	金額	納付者氏名	收入濟月日	事由

第八號

大正 年度

拂込通知書送附書

拂込通知書番號	納入	納期	收入月日	金額	備考

〔中管〕

○歳入徵收事務整理規程施行ニ就テ

(大正四年九月三十日) 局報注意

- 一 官舎宿代ハ保線事務所長電燈電力料ハ電力事務所長ニ於テ即納通知書ヲ發行スルコト、ナリタルヲ以テ保線區主任及電力區主任ハ居住退去又ハ休燈點火等徵收ニ必要ナル事項ヲ取調ヘ遲滞ナク翌月五日迄ニ所屬事務所長ニ通知スルコト
- 二 官舎宿代及電燈電力料ノ即納通知書ハ俸給支給日ヲ同フスルモノニ限リ多數連記シテ調製スルモ差支ナキコト
- 三 官舎宿代及電燈電力料金ニシテ過不足徵收ヲ爲シタルトキハ其ノ年度内ニ限リ次期ノ徵收期ニ於テ計算整理スルコト但シ此ノ場合ハ即納通知書事由欄ニ其ノ旨記載スルコト
- 四 規程第三條ノ職員ハ從來用地貸下料營業料金等ノ即納通知書ヲ發行シタルモ改正ノ結果第五條別記ノ歳入金ニ限リ即納通知書ヲ發行スルモノトス隨テ其ノ他ノモノハ總テ事務所長ニ於テ徵收手續ヲ爲スコト
- 五 扛重機使用料ハ支倉庫所屬ノモノニ限リ即納通知書ヲ發行スルモノトス

〔中管〕

○驛構内貨物倉庫使用料其ノ他納期一定ノ件

(大正六年三月二十六日) 中管第五〇號依命通牒

驛構内貨物倉庫使用料貨物積置料同箱番置料等ノ納期ニ付テハ目下調査中ナルモノモ不取敢年二回トシ四月及九月初旬ニ徵收方取計相成度大正五年十月中管運第二三四七號依命通牒ハ之ヲ廢止ス

○驛所繰替拂及戻入傳票取扱手續

(大正四年十月二十一日) 中管甲第二七〇號

局一般

- 驛所ニ於テ執行スヘキ繰替拂及戻入傳票取扱方左ノ通定ム
- 驛所繰替拂及戻入傳票取扱手續
- 一 繰替拂命令官驛所ヲシテ繰替拂傳票ノ仕拂又ハ戻入傳票ニ對スル返納ノ取扱ヲ爲サシメムトスルトキハ左記様式ノ傳票送付書ニ其ノ要項ヲ記入シ之ト共ニ當該驛所分任出納官吏又ハ主任出納員ニ送付スヘシ
  - 二 驛所分任出納官吏又ハ主任出納員前項ノ傳票ヲ受ケタルトキハ傳票送付書ト對照ノ上速ニ仕拂又ハ返納金受領ノ手續ヲ爲スヘシ事故ノ爲傳票受領後三日ヲ經ルモ仕拂ノ執行又ハ返納金ノ受領ヲ爲ス能ハサルトキハ遲滞ナク之カ事由ヲ繰替拂命令官ニ通知スヘシ
  - 三 繰替拂傳票ノ金額ハ分割シテ仕拂フコトヲ得ス

- 四 一 繰替拂傳票ノ金額カ其ノ驛所一日ノ收入金ヲ超過シ仕拂ノ執行ヲ爲シ能ハサル場合ニハ其ノ旨符適ヲ爲シ繰替拂命令官ニ返送スヘシ
  - 五 仕拂ノ執行ニ付テハ左記各項ニ注意スヘシ
    - 一 繰替拂命令官ノ印鑑照査
    - 二 收入印紙ノ貼用
    - 三 債主住所氏名領收年月日ノ記入及捺印
    - 四 受領ノ印章ハ請求書ニ捺捺シタルモノト同一ナルコトヲ要ス改印又ハ紛失等ニ依リ同一ノ印章ヲ捺捺シ能ハサル場合ハ印鑑證明書(職員ノ分ハ届書)ヲ徴シ證憑書トシテ領收證ニ添付スヘシ
    - 五 證憑書類中訂正ノ爲捺印ヲ要スルモノアルトキハ之カ證印
    - 六 仕拂又ハ返納ヲ了シタルトキハ傳票及證憑書類ノ各葉中見易キ場所ニ「年月日拂渡」又ハ「戻入」ノ印章ヲ捺捺シ分任出納官吏又ハ之カ取扱ヲ爲シタル主任出納員認印ヲ爲スヘシ
    - 七 拂渡又ハ戻入濟ノ傳票及證憑書類ハ日々之ヲ取纏メ當日ノ現金引繼書ト共ニ金囊ニ納メ所屬主任出納官吏ニ送付スヘシ
    - 八 傳票送付書ハ仕拂若ハ受領ノ都度分任出納官吏又ハ之カ取扱ヲ爲シタル主任出納員ニ於テ其ノ年月日ヲ記入認印シ編纂ノ上保存スヘシ
    - 九 第四項若ハ他ノ事由ニ依リ傳票ヲ返送シタルトキハ傳票送付書ノ記事欄ニ其ノ要旨及年月日ヲ記入認印ヲ爲シ置クヘシ
- 左記諸達並注意事項ハ之ヲ廢止ス
- 一 大正三年十二月東達甲第一五七號、明治四十二年十月、明治四十二年十一月(二件)西管通牒、大正二年八月神管達第二三二七號、明治四十三年十一月、大正元年八月、大正二年八月西管注意事項

【中書】

【中書】

◎注意 {債主又ハ返納人民氏名欄ニ「傳票」記載セル氏名ヲ記入スルコト}

第	號	傳	票	送	付	書	原	符	發	送	年	月	日
傳票記番號	金額	證憑枚數	債主又ハ返納人民氏名	記	事								

四寸二分

◎注意 {本書ハ「控」トス 押渡又ハ戻入年月日ノ記入方 押渡ハ「證書」戻入ハ「未書」ナルコト}

掛主任印	第	號	傳	票	送	付	書	發	送	年	月	日
押渡又ハ戻入 認印 年月日	傳票記番號	金額	證憑枚數	債主又ハ返納人民氏名	記	事						

四寸二分

様式 本書ハ「證書」紙ヲ用テ一冊トス 原符ハ「薄葉紙」送付書ハ「西管紙」トシ百組ヲ以テ一冊トス

○驛所ニ於テ仕拂證憑書其ノ他整理ニ就テ

(大正五年四月二十七日)

局報注意

- 驛所ニ於テ荷物引換代金、立替金其ノ他諸拂戻金ノ仕拂證憑書ノ作製ニ付テハ今尙不備ノ點アリ左記各項注意ヲ要ス
- 一 代金引換證甲片記載ノ文字不鮮明ノモノアリ殊ニ金額ハ最モ明瞭ナルヲ要ス「驛長、所主任」欄ニハ必驛所及長主任ノ氏名ヲ記載シ職印ヲ押捺スルコト
  - 二 同證荷送人氏名又ハ商號欄ニ商號ノミヲ掲ケタルモノニ對シ仕拂執行ノ際代金領收者トシテ單ニ氏名ヲ記載スル向アリ右ハ正當債主ナリヤ否ヤヲ鑑別スルニ紛ハシキニ付氏名ト共ニ商號ヲ肩書スルコト
  - 三 代金引換濟通知書ニ貨物通知書又ハ切符ノ番號記載ノ向アルモ右ハ必代金引換證ノ番號記載ノコト
  - 又同通知書ニハ發送年月日驛長又ハ主任署名職印ヲ押捺シ宛名ヲ記入ノ上發送ノコト
  - 四 客年十二月二十八日總裁達第一四一六號ニ依リ代金引換濟通知書ニハ「何誰殿宛荷物」ノ次ニ引換月日記入ヲ洩ラササル様注意ノコト
  - 五 代金引換證ハ勿論代金引換濟通知書モ亦仕拂ノ證憑書トシテ提出スヘキ義ニ付共ニ仕拂要求書ニ添付ノコト
  - 六 荷物貸訂正通知書等ニ依ル拂戻ノ場合ハ裏面ニ領收年月日並商號アルモノハ其ノ商號ヲ洩ラササル様注意ノコト
  - 七 若拂荷物ニ對シ支出スヘキ立替金ハ該荷物カ當院ニ託送セララル迄ニ要シタル諸掛賃(持込、荷造費等)ニ限ルモノナレハ要求ノ際其ノ内譯ヲ確認シ置クコト
  - 八 總テ驛所ニ於テ發行スル仕拂要求書ノ日付ハ仕拂ノ日ト一致セシムルコト
  - 九 驛長又ハ主任出務セサル場合ハ驛長又ハ主任ノ名義ヲ以テ當務助役代印ノ上即納通知書又ハ仕拂要求書發行妨ナシ
  - 十 仕拂要求書作製ニ付テハ科目ノ適用ヲ誤ルモノ多シ參考ノ爲左ニ掲載ス尙區間欄ニ乘車區間其ノ他ヲ記入スル向アルモ右ハ不必要ニ付一切記入セサルコト
  - 十一 自驛發行ノ仕拂要求書ハ其ノ謄本ヲ作製シ之ヲ保存シ置クコト又副本ハ提出ニ及ハス

【中略】

【中略】

大正五年度

款	項	目	節	細	節	記	事
							銀道作業費
							諸拂戻及立替金
							通行稅拂戻金
							過渡納金拂戻及
							旅客收入拂戻金
							各種乘車船券買金
							乘客賃金拂戻金
							手荷物賃金拂戻
							小荷物賃金拂戻
							入場料拂戻金
							雜收拂戻金
							保管料、換手、手数料
							貨物收入拂戻金
							貨物賃金拂戻金
							貨物賃金拂戻金
							貸切車賃金拂戻
							運送貨物賃金拂
							戻金
							雜收拂戻金
							保管料、配達料等
							荷物引換代金
							小荷物引換代金
							含入納ノ拂戻
							貨物引換代金
							立替金
							小荷物立替金
							貨物立替金

○驛所ニ於ケル諸拂戻仕拂要求書記載方ニ就テ

(大正五年十月二十八日) 局報注意

驛所ニ於テ發行スル諸拂戻仕拂要求書ノ仕拂金額及債主住所氏名欄ハ從來金額債主氏名等列記シタルモ附令金額ハ集計高ナ債主氏名ハ單ニ何某外何名ト省略記載スルコトヲ得但シ合記シタルモノノ内容ハ何時ニテモ判明シ得ル様取計ヒ置クヲ要ス

○繰替拂日計表並附屬傳票提出ニ就テ

(大正五年五月五日) 局報注意

繰替拂日計表並附屬傳票ヲ提出スルニ數日分取纏ムル向有之決算整理上支障不尠自今貴重品扱トシ毎日經理課會計掛宛送付スヘシ

○仕拂要求書並物品請求券發行ニ關スル件

(大正五年五月十日) 局一 般

仕拂要求書事由欄及物品請求券記事欄ニハ左記關係別ヲ附記スヘシ但シ歲出科目ノ目、節又ハ細節ニ依リ關係別ノ明瞭ナルモノ及鐵道作業費中ノ電氣關係以外ハ省略スルコトヲ得

- 建設及改良費
- 改良費各目
- 工務關係
- 工作關係
- 鐵道作業費
- 事業費各目 (除車輛修繕費及私設鐵道借用料)
- 電氣關係

○仕拂要求書發行並繰替拂調查ニ就テ

(大正五年五月十九日) 局報注意

仕拂要求書發行並繰替拂調查不備ノ爲左記例示ノ如キ誤謬有之決算及種類別統計作業上支障ヲ來ス場合不尠自今誤扱ナキ様特ニ注意スヘシ

一 仕拂要求書合金ト仕拂金額又ハ科目別金額欄ノ内譯ト符合セサルモノ

〔中管〕

〔中管〕

- 二 仕拂憑書ノ科目ト仕拂要求書ノ科目ト一致セサルモノ
- 三 驛所直拂物品取扱手續廢止サレタルニ不拘驛所ニ於テ物品代ノ仕拂要求ヲ爲スモノ
- 四 繰替拂傳票中ニ繰替拂命令官印捺捺洩レノモノ
- 五 過誤納拂戻ニ係ル仕拂要求書中發行者ノ認印ナキモノ又ハ拂渡印ノ捺捺ナキモノ
- 六 科目解脫ニ制定ナキ細節又ハ細々節ヲ附シテ仕拂要求ヲ爲スモノ

○仕拂憑書作成方ニ關スル件

(大正六年五月一日) 局一 般

管理局月報調製上必要ニ付收益勘定歲出中事業費ニ屬スル仕拂憑書ハ四月分以降左記各號ニ據リ取扱フヘシ

- 一 各種仕拂請求書ニハ經費所要箇所(課、所、場、區、庫、驛等)以下同シ(一)名ヲ上部欄外ニ記載スヘシ
- 二 左記科目ニ屬スル請求書各種修繕費以外ノ諸給與領收證ニハ節以下ノ科目ヲ上部欄外ニ記載スヘシ
  - 通信運搬費
  - 旅費
  - 雜事手當
  - 雜費
  - 電燈電力費
  - 器具費
  - 各種修繕費(請求書ニ限ル)
  - 除雪費
  - 器具機械費
  - 機械及器具費
- 三 補充費支辨ニ屬スル請求書又ハ諸給與領收證ニハ科目節ヲ上部欄外ニ記載スヘシ
- 四 科目別金額仕譯書ニハ經費所要箇所名及節以下ノ科目ヲ記載スヘシ
- 五 一仕拂請求書若ハ科目別金額仕譯書ニ對スル經費所要箇所決算科目ニシテ二箇所又ハ二細節以上ニ亘

- ル場合ハ各箇所節、細節別ニ之カ金額ノ内譯ヲ爲スヘシ
- 六 車輛修繕費以外ノ各種證憑書ニシテ電氣關係ニ屬スルモノハ其ノ關係ヲ附記シ又一證憑書ニシテ電氣關係及除電氣關係ニ亘ル場合ハ之カ内譯ヲ爲スヘシ但シ經費所要箇所又ハ科目ニ依リ關係ノ明瞭ナルモノハ之ヲ省略スルコトヲ得
- 七 保存費又ハ補充費支辨ニ係ル認可工事若ハ專決工事關係ノ物品代價明細書ニハ當該保線區又ハ通信區名ヲ記載スヘシ
- 八 保存費車輛修繕費支辨ニ係ル傭人給料仕出ノ場合ハ經費所要箇所毎ニ節及細節別金額ヲ記載シタル仕譯書ヲ作成スヘシ
- 九 節以下ニ屬スル科目更正ノ事由ヲ詳記シタル要求書副本ヲ作成スヘシ
- 十 證憑書類ハ夫々類集シ經費所要箇所順ニ編纂シ經理課會計掛宛ニ八號九號ニ對スル仕譯書、要求書副本ハ之ヲ一括シ經理課庶務掛宛ニ翌月十日迄ニ提出スヘシ

附則

大正五年六月中達甲第四〇四號仕拂證憑書作成方ニ關スル件ハ之ヲ廢止ス

○電燈點火料及電料支出科目編入方

(大正四年十二月二十日) 局一般  
(中達甲第三八九號)  
改正 大正五年六月二十三日中達甲第四二一號

電燈點火料及電料支出科目編入方左ノ通定ム

科	目	節	細目	摘要
總係費	執業費	電燈電力費		本局各課(除經理課倉庫係、購買掛、印刷所)職員集會所、官舎街路及以下各項ニ依リ難キモノノ電燈及電料(電燈點火料及電力供給契約ニ伴フ器具損料、電柱損料、使用料、及送電準備料等ヲ含ム、以下同シ)
				地方教習所、同分教所及同寄宿舎ノ電燈料
				電力事務所、保線事務所、保線區、通信區及電力區ノ電燈料
				保線事務所所屬踏切道及高架線下ノ電燈料
				通信信號用電力料
				電燈具(電燈球、弧光燈、カーボン及セード等)ノ保守ハ總テ本費ヨリ支辨ス但シ工場及列車電燈ノ分ヲ除ク
				機關庫、電車庫、檢車所ノ事務室及同附屬諸所ノ電燈料
				機關庫附屬車庫、專用線、轉車臺、石炭臺、給水所等ノ電燈料及給水唧筒用電力料
				電車庫附屬車庫、專用線、轉車臺等ノ電燈料及電車運轉用電力料
				機關庫、檢車所、電車庫、列車電燈所ニ於テ車輛修繕作業並充電ニ要スル電燈電力料但シ列車電燈所ニ限リ屋舎内使用ノ電燈料ヲ含ム
				運輸事務所、同派出所ノ電燈料
				停車場、信號及同構内(甲號合宿所及運輸事務所所屬踏切道等ヲ含ム)ノ電燈及電力料
				工場治療所ノ電燈及電力料
				經理課(倉庫掛、購買掛)同支倉庫及工場倉庫ノ電燈料但シ院外ヨリ購入ノ分ニ限ル
				經理課印刷所及工場構内(除倉庫)ノ電燈及電力料但シ院外ヨリ購入ノ分ニ限ル

〔中管〕

〔中管〕

保存費	汽車費	車輛修繕費	運輸費	病院及治療所費	用品費	工作費
執業費	執業費	電車運轉費	停車場費	執業費	諸費	諸費
電燈電力費	電燈電力費	電燈及電力費	電燈電力費	電燈電力費	電燈電力費	電燈電力費
地方教習所、同分教所及同寄宿舎ノ電燈料	電力事務所、保線事務所、保線區、通信區及電力區ノ電燈料	保線事務所所屬踏切道及高架線下ノ電燈料	通信信號用電力料	電燈具(電燈球、弧光燈、カーボン及セード等)ノ保守ハ總テ本費ヨリ支辨ス但シ工場及列車電燈ノ分ヲ除ク	機關庫、電車庫、檢車所ノ事務室及同附屬諸所ノ電燈料	機關庫附屬車庫、專用線、轉車臺、石炭臺、給水所等ノ電燈料及給水唧筒用電力料
電車庫附屬車庫、專用線、轉車臺等ノ電燈料及電車運轉用電力料	機關庫、檢車所、電車庫、列車電燈所ニ於テ車輛修繕作業並充電ニ要スル電燈電力料但シ列車電燈所ニ限リ屋舎内使用ノ電燈料ヲ含ム	運輸事務所、同派出所ノ電燈料	停車場、信號及同構内(甲號合宿所及運輸事務所所屬踏切道等ヲ含ム)ノ電燈及電力料	工場治療所ノ電燈及電力料	經理課(倉庫掛、購買掛)同支倉庫及工場倉庫ノ電燈料但シ院外ヨリ購入ノ分ニ限ル	經理課印刷所及工場構内(除倉庫)ノ電燈及電力料但シ院外ヨリ購入ノ分ニ限ル



○二箇以上ノ線名ヲ有スル停車場構内ノ補充工事費科目區分方ノ件

(大正五年五月二十七日) 局一級  
(中達甲第三七七號)

國有鐵道線路名二箇以上ヲ有スル左記停車場構内ノ補充工事費歲出科目(節)左ノ通定ム

品名	科 目(節)
品川	東海道線
名古屋	東海道線
米原	東海道線
新宿	東海道線
代々木	東北線
	中央線

○消毒班ノ費用處理方ニ就テ

(大正五年六月十五日) 局報注意  
改正 大正五年十一月八日局報注意

- 一 消毒班ニ屬スル費用ノ分擔ニ關シテハ左ノ各項ニ依ルヘシ  
但同時ニ二箇以上ノ消毒班ノ費用ハ左ノ各號ニ依リ負擔ノコト  
機關車、電車庫檢車所ノ屋舎ハ汽車費
- イ 驛舎及列車ニ關スルモノハ運輸費
- ロ 發變電所ノ屋舎ハ電氣費
- ニ 工場(派出所、工場内發變電所ヲ含ム)及經理課印刷所ハ工作費  
ホ 前各項以外ノ屋舎及官舎ハ保存費
- 二 旅費其ノ他手當金ヲ要スルトキハ各職員ノ本務所屬ノ費用ヨリ支出スルコト
- 三 行李ノ修繕及補充ノ費用(除第一項ノ場合)ハ保管箇所所屬ノ經費ヨリ支出スルコト

○名古屋變電所ノ經費ニ關スル件

(大正五年九月二十日) 局一級  
(中達甲第五五八號)

(中管)

名古屋變電所ノ經費ハ大正五年十月一日以降工場勘定ヲ以テ整理スヘシ

○決算負擔部所更正ニ就テ

(大正五年五月八日) 局報注意

- 一 仕拂要求官相互間ニ於テ決算負擔部所ノ更正ヲ要スルトキハ自今左記各項ニ依リ取扱フヘシ  
一 所管線替拂命令官ニセサル場合  
一 甲仕拂要求官決算負擔部所ノ更正ヲ要スルトキハ連署ノ更正要求書一通ヲ作製シ乙仕拂要求官ニ送付スルコト  
二 乙仕拂要求官前號ノ更正要求書ヲ受ケタルトキハ直ニ捺印シ要求豫算ノ差引整理ヲ爲シタル上甲仕拂要求官ニ返付スルコト  
三 甲仕拂要求官更正要求書ヲ返付ヲ受ケタルトキハ直ニ所屬線替拂命令官ニ提出スルコト  
二 所管線替拂命令官ニセサル場合  
一 甲仕拂要求官決算負擔部所ノ更正ヲ要スルトキハ連署ノ更正要求書正副二通ヲ作製シ之ニ金額、科目、線替拂ヲ執行シタル出納官吏名及事由等ヲ明記シタル仕譯書ヲ添付シテ乙仕拂要求官ニ送付スルコト  
二 乙仕拂要求官前號ノ更正要求書ヲ受ケタルトキハ之ニ捺印シ要求豫算ノ差引整理ヲ爲シタル上正本ハ甲仕拂要求官ニ返付シ副本ハ所屬線替拂命令官ニ送付スルコト  
三 甲仕拂要求官更正要求書正本ノ返付ヲ受ケタルトキハ連署ニ仕拂ヲ要求シタル線替拂命令官ニ提出スルコト  
四 更正要求書ノ正本ヲ受ケタル線替拂命令官ハ更正額ヲ朱書シ定額豫算ノ整理ヲ爲シ更正傳票トシテ所屬出納官吏ニ交付ノコト  
五 更正要求書ノ副本ヲ受ケタル線替拂命令官ハ更正額ヲ黑書シテ定額豫算ノ差引整理ヲ爲シ該副本適宜ノ場所ニ振替回金ノ印ヲ捺捺シ更正傳票トシテ所屬出納官吏ニ交付ノコト  
六 出納官吏前號ノ傳票ヲ受ケタルトキハ仕譯書ニ仕拂委託書ヲ添付シ連署ニ仕拂ヲ爲シタル出納官吏ニ送付ノコト  
七 仕拂委託書ヲ受ケタル出納官吏ハ第四號ノ更正傳票ト對照シ其ノ相違ヲキナ認メタル上現金出納簿ノ更正ヲ爲シ仕拂委託書及更正傳票ニハ更正年月日ヲ附記認印シ仕譯書ハ委託書ニシタル出納官吏ニ送付スルコト  
八 更正仕譯書ハ證據書トシテ編纂シ當該費目ノ仕拂金額ヨリ増減シ表紙ニ黑書若ハ朱書スルコト(一般科目更正ノ場合ニ同シ)  
九 相互出納官吏ハ線替拂日計表ニ其ノ増減ヲ掲記スルコト

○目以下ノ科目更正ヲ爲ス場合處理方ニ就テ

(大正五年三月四日) 局報注意

大正五年二月七日達第七六號歲入歳出年度末整理規程第二條第二項ニ依リ目以下ノ科目更正ヲ爲ス場合ハ左記各號ニ依リ取扱フヘシ



- 一 從來前年度ニ屬スル歳入金ヲ四月以降徴收スル場合ハ三月三十一日付ヲ以テ徴収要求書ヲ發行シ來リシカ改正ノ結果前年度所屬ノ歳入金ハ歳入歳出年度末整理規程第二條ノ期限迄ニ收入シ得ラルルモノニ限リ同日迄徴収要求書又ハ即納通知書ヲ發行シ得ルモノトス
- 二 立替金ノ如キ四月以降新舊兩年度ノモノヲ收入スルモノニアリテハ收入報告書ハ年度別ニ調製スルコト
- 三 土地物件貸下又ハ使用料並招牌揭示料等ニシテ其ノ期間力四月ヨリ翌年三月ニ互ルモノノ料金ヲ三月中前納セシムルモノハ同月中新年度所屬トシテ徴收手續ヲ爲スコト
- 四 即納通知書及拂込通知書送付書傳票送付書等ハ年度別ニ編製シ尙現金受拂月計表ニハ年度ノ内譯ヲ記載スルコト
- 五 土地及物件ノ賣拂ハ代金領收ヲ俟テ引渡ヲ爲スヘキモノニ付納官吏及主任出納員ハ該代金收入ノ上ハ直ニ指定箇所ニ收入済通知ヲ爲スコト若シ右通知ヲ遅延スルトキハ收入シタル年度ニ引渡ヲ爲スコト能ハサル不都合ヲ生ス

○賠償金、見舞金、報勞金等ノ仕拂要求ニ就テ

(大正五年五月九日) (局報注意)

- 一 賠償金、火災見舞金、報勞金、旅客又ハ公衆ニ對スル慰勞金及治療費ハ經理課ニ於テ仕拂要求ノ手續ヲ爲スコト
- 二 旅客又ハ公衆ニ對スル慰勞金、報勞金、治療費等ニシテ電報承認ニ依リ各事務所ニ於テ要求シタルモノハ當該事務所ノ負擔トシテ整理スルコト
- 三 庶務課ニ於テハ前各項ニ依リ決議書類ヲ關係課所ヘ送付ノコト
- 四 所長專決ニ依ルモノハ前各項ヲ適用セス

○見舞金、弔慰金領收證不徴ノ場合處理方ニ就テ

(大正五年五月九日) (局報注意)

鐵道事故ノ爲死傷者ニ對シ見舞金又ハ弔慰金贈與ノ際相當ノ理由アリテ領收證ヲ徴シ難キ場合ハ左記様式ノ仕拂書ヲ以テ證明スヘシ

第 號 仕 拂 證 明 書

一 金 但何課所長要求書第 號 何 誰 渡 負傷見舞金(死亡弔慰金)

右金額交付済ノ處領收證ヲ徴スルコト能ハサルヲ以テ認證相成度

[中管]

[中管]

年 月 日 何所出納官吏 官 氏 名

右仕拂済ナルコトヲ認證ス 何課所長 官 氏 名

○災害費仕拂要求額報告書提出方

(大正五年五月十日) (局報注意)

大正五年度以降收益勘定所屬歳出金中災害費ノ仕拂要求ヲ爲シタルトキハ左記様式ノ報告書ヲ調製シ毎月十日迄ニ經理課長ニ送付スヘシ

大正二年十月十五日東達第一四七八號ハ之ヲ廢止ス

災害費仕拂要求額報告書

大正 年度 月末	課 所 名	金 額	仕 拂 要 求 額	累 計
(目)	(節)			
(節)	(節)			

備考 1. 本表ハ歳出科目ノ目毎ニ別製ニ調製スルコト

2. 前年度ニ屬スル分ヲ本年度ニ於テ仕拂要求ヲ爲シタルトキハ其ノ金額ヲ相當科目欄ノ上部ニ朱書内譯スルコト

○各廳舍並各官舎水料仕拂要求ニ就テ

(大正五年五月十日) (局報注意)

各廳舍並各官舎ノ水料ハ總テ總務費支拂トシ各運輸事務所管區域内ニアルモノハ當該運輸事務所(新橋所管内ハ經理課)負擔トシテ處理スヘシ

○會計事務檢查規程

(大正五年八月十七日) (中達甲第五二〇號)

會計事務檢查規程左ノ通定ム

會計事務檢查規程

- 第一條 會計事務ノ檢查ハ常時歳入歳出事務ノ全般ニ涉リ之ヲ行フモノトス但シ運輸收入調査事務ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 第二條 檢查ハ之ヲ分テ證憑書類檢查及實地檢查ノ二トス
- 第三條 經理課長ハ常時又ハ必要ノ都度經理課判任官中ヨリ檢查員若干名ヲ指定ス
- 第四條 檢查員ノ檢查事項ハ左ノ通トス
  - 一 徵收要求
  - 一 仕拂要求
  - 一 繰替拂命令
  - 一 歳入歳出及歳入歳出外現金出納
  - 一 其他必要ト認ムル事項

第五條 證憑書類檢查ノ結果審理ヲ要スルモノアルトキハ經理課長ハ繰替拂命令官又ハ當該責任官吏ニ宛照會書ヲ發シ重大ト認メタル事項ハ之ヲ局長ニ報告スヘシ

第六條 實地檢查ノ際檢查員ハ必要ナル書類物品ノ提出ヲ求メ又ハ説明ヲ徵スルコトヲ得

第七條 實地檢查ヲ了シタルトキハ檢查員ハ詳細ナル復命書ヲ經理課長ニ提出スヘシ

第八條 經理課長ハ前條復命書ヲ審查シ重大ト認メタル事項ハ之ヲ局長ニ報告スヘシ

○分任現金出納官吏及主任現金出納員並現金出納員檢查施行手續

(大正五年三月十五日)

中達甲第一三〇號 局一般

- 一 分任現金出納官吏及主任現金出納員並現金出納員檢查施行手續
  - 一 分任現金出納官吏ノ定期檢查ハ三月三十一日現在ヲ以テ施行シ主任現金出納員ノ定期檢查ハ毎年四月一回檢查當日ノ現在ヲ以テ施行スヘシ

〔中管〕

〔中管〕

- 二 分任現金出納官吏及主任現金出納員ノ交替檢查ハ轉免死亡等交替ノ都度之ヲ施行スヘシ但シ主任現金出納員ノ交替檢查ハ時宜ニ依リ定期檢查ト同時ニ施行スルコトヲ得
- 三 分任現金出納官吏及主任現金出納員並現金出納員ノ臨時檢查ハ局所長ニ於テ特ニ必要ト認メタル場合ニ之ヲ施行スヘシ
- 四 定例檢查ノ際提出スル現金出納計算書ハ檢查前日迄ノ分ヲ調製セシムヘシ但シ現金出納計算書受拂高ハ年度ノ區分ヲ内譯記載スルモノトス
- 五 交替檢查ヲ定例檢查ト同時ニ施行スル場合ハ後任者保管ニ係ル現金出納計算書ト曩ニ局所長ニ提出シタル現金出納計算書トヲ對照確認ノ上檢查ヲ爲スヘシ
- 六 交替ノ際特ニ事務引繼ノ時日ヲ指定セサルモノハ發令ノ日ヲ以テ打切り各關係證憑書類ノ整理ヲ爲スヘシ
- 七 檢查員ハ所定ノ現金出納計算書ヲ提出セシメ各關係證憑書類ニ對査シテ其ノ符合ヲ認メタル上尙左記各項ニ就キ檢查ヲ爲スヘシ
  - 一 引繼書原符及證憑書類ヲ審查シ成規ニ違フモノナキヤ否
  - 二 未收入及未拂ニ對シテハ相當事由アルヤ否
  - 三 現金出納員ト主任現金出納員又ハ分任現金出納官吏トノ間ニ於ケル現金引繼方
  - 四 金櫃現在金ハ果シテ保管スヘキ理由アルヤ否
  - 五 證憑書類ノ整理及記帳方ノ適否
  - 六 封緘紙保管ノ状態及受拂ノ正否
  - 七 現金紛失等ノ場合ハ其ノ原因及事實
  - 八 檢查員檢查ヲ了リタルトキハ引繼書原符適宜ノ欄ニ何月何日檢查施行済ノ旨ヲ記シ下部ニ認印シテ別ニ檢定書一通ヲ本人ニ交付シ他ノ一通ハ所屬運輸事務所長ニ提出スヘシ但シ新橋運輸事務所管内各驛ノ分局長ニ提出スルモノトス
  - 九 檢查ノ結果特ニ復命ヲ要スヘキモノハ其ノ詳細ヲ局長ニ申報スヘシ

大正三年三月神管達第七七三號年度未定期檢查執行方ニ關スル件及大正四年三月二十九日東管局報注意事項

出納官吏及出納員検査ニ關スル件ハ之ヲ廢止ス

○各驛收入金立會勘査手續

(大正五年五月十日)

局一般

各驛收入金立會勘査手續

各驛收入金立會勘査手續

- 一 各驛所分任出納官吏又ハ主任出納員收入金ノ引繼ヲ爲サムトスルトキノ立會勘査ハ左記各號ニ依ル
  - (一) 引繼金額ハ收入報告出納員現金引繼書即納通知書拂込通知書等ニ依リ計上シタル當日ノ受入高ヨリ仕拂要求書、繰替拂傳票等ニ依リ計上シタル當日ノ拂出高ヲ差引キ算定スルコト
  - (二) 勘査ハ分任出納官吏又ハ主任出納員ニ於テ所屬出納員ヲ立會ハシメ金額類毎ニ之ヲ數ヘ其ノ現金ノ合計ト前號算定額トノ符合ヲ認メタル上更ニ立會員ニ於テ勘査シ關係證書類ト共ニ之ヲ金囊ニ納メ鎖錠封緘ヲ施スコト但シ分任出納官吏又ハ主任出納員ハ自己ニ代リ其ノ驛所勤務助役ヲシテ勘査ヲ爲サシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該助役ハ封緘紙ニ認印ヲ捺捺スルコトヲ要ス
  - (三) 勘査ノ際不足又ハ贋造變造損傷等ノ貨幣又ハ外國貨幣アリタルトキハ出納員ノ責任ニ屬スヘキモノハ當該出納員然ラサルモノハ分任出納官吏又ハ主任出納員之ヲ償納シ又原因不明ノ過剩アリタルトキハ(項)雜收入(目)雜入(節)雜收ニ編入整理スルコト
- 二 主任出納官吏列車便護送ニ係ル各驛所收入金受領ノ際ニ於ケル立會勘査ハ左記各號ニ依ルモノトス
  - (一) 金櫃ハ自ラ之ヲ開披シ護送員ヲシテ金囊ヲ取出サシメ一々鎖錠封緘ノ状態ヲ檢閲シテ之ヲ受領スルコト
  - (二) 勘査ハ主任出納官吏ニ於テ所屬吏員ヲ立會ハシメ金囊ノ錠ヲ外ツシ在中ノ現金ヲ精算スルコト(金庫派出所ノ設置アル箇所ニ在リテハ金庫員ニ精査セシムルコトヲ得)同時ニ關係書類ヲ調査シ引繼書面金額別並合計額ト現金トノ符合ヲ認メタルトキハ引繼書ニ立會吏員認印ノ上領收證ヲ送付スルコト但シ主任出納官吏ハ自己ニ代リ所屬吏員ヲシテ勘査ヲ爲サシムルコトヲ得
  - (三) 引繼書面ニ對シ現金ノ過不足アリタルトキハ直ニ成規ノ手續ニ依リ處理スルコト

〔中管〕

〔中管〕

- (四) 勘査上贋造變造損傷等ノ貨幣又ハ外國貨幣ヲ發見シタルトキハ更ニ分任出納官吏又ハ主任出納員ヨリ追送セシメ該貨幣ヲ返付スルコト但シ贋造及變造貨幣ハ切斷ノ上返送スルヲ要ス
- (五) 前二號ノ場合ニ於テハ事故ノ解決ヲ告クル迄金囊ノ封緘紙ヲ保存スルコト

大正三年三月二十六日東達第六〇八號各驛收入金立會勘査手續ハ之ヲ廢止ス

○兼掌車掌ノ金櫃取扱方

(大正五年五月十日)

局一般

- 收入金護送ヲ兼掌スル乘務車掌ノ中繼驛ニ於ケル金囊又ハ金櫃ノ取扱方並主任現金出納官吏所在地ニ於テ同官吏ニ成規ノ引渡ヲ爲ス餘裕ナキ場合ノ取扱手續左ノ通定ム
- 一 收入金ノ護送ヲ兼掌スル乘務車掌(以下單ニ兼掌車掌ト稱ス)カ中繼驛ニ於テ金囊又ハ金櫃ヲ繼承列車ノ兼掌車掌ニ引渡ヲ爲ス場合ハ當該驛長之ニ立會ヲ爲スコシ
  - 二 兼掌車掌カ繼承列車ノ兼掌車掌ニ金囊又ハ金櫃ノ引渡ヲ爲ス餘裕ナキ場合ニ於テハ之ヲ中繼驛ノ驛長ニ同驛長ハ繼承列車ノ兼掌車掌ニ引渡スヘシ
  - 三 收入金護送用金櫃ヲ開披スル鍵ハ中繼驛長常ニ金庫ニ保管スヘシ
  - 四 兼掌車掌カ主任出納官吏ノ所在地ニ於テ同官吏ニ金櫃ノ引渡ヲ爲ス餘裕ナキ場合ハ金櫃ノ儘取卸ノ驛長ニ同驛長ハ之ヲ主任現金出納官吏ニ引渡シ會計事務細則第三十三條ノ手續ヲ爲スヘシ
  - 五 前各項ニ依リ金囊又ハ金櫃ノ引渡ヲ爲ス場合ニ於テハ各關係者ハ其ノ異狀ナキヲ確認シタル上受渡ヲ爲シ引渡簿ニ認印ヲ爲スヘシ
  - 六 本達ニ於ケル驛長ノ事務ハ當務助役ニ代務セシムルコトヲ得
- 大正二年十一月東達第一八四九號兼掌車掌ノ金櫃取扱方ニ關スル件明治四十五年六月西管達第二一八五號中繼驛ニ於ケル金櫃開披並受取扱手續大正三年二月神管達第四二五號中繼驛ニ於ケル金櫃鍵保管方ノ件ハ之ヲ廢止ス

○各驛收入金護送員ノ件

(大正五年五月十日)

運輸事務所、驛、車掌監督

各驛收入金ハ左記區間ニ限リ專務護送員ヲシテ護送セシメ其ノ他ノ區間ニ在リテハ荷扱專務車掌若ハ手小荷物扱普通車掌ヲシテ兼掌セシム

- 一 山手線(大塚駒込間ヲ除ク)
  - 一 中央線萬世橋中野間
- 本達ハ五月十一日ヨリ之ヲ施行ス

○驛所收入金保管用金庫ノ鍵取扱方

(大正四年十月三十日) (中達甲第三一六號)

局一級

- 驛所收入金保管用金庫ノ鍵ハ自今左記ニ依リ取扱フヘシ
- 一 常用鍵ハ分任出納官吏又ハ主任出納員自ラ之ヲ保管スヘシ但分任出納官吏又ハ主任出納員ヲ置カサル所ハ主席出納員之ヲ保管スルモノトス
  - 二 主任出納員又ハ出納員勤務交替ノ際ハ必ス雙方立會ノ上常用鍵ノ引繼ヲ爲スヘシ
  - 三 豫備鍵ハ鍵毎ニ驛所名札ヲ附シ所管運輸事務所ニ於テ金庫ニ之ヲ保管スヘシ
  - 四 常用鍵ノ亡失又ハ毀損ノ際ハ直ニ電報ヲ以テ所管運輸事務所ニ届出テ豫備鍵ノ交付ヲ受クヘシ
  - 五 新ニ金庫ヲ配給スルトキ附屬ノ豫備鍵ハ物品會計官吏ヨリ驛所主管ノ運輸事務所ニ送付スヘシ
  - 六 現ニ豫備鍵ヲ保管セル驛所ハ此ノ際所管運輸事務所ニ引繼クヘシ
- 大正四年一月東達甲第一四號明治四十四年六月西管達第一七一號ハ之ヲ廢止ス

○仕出書調製並仕出務表整理方

(大正四年八月七日) (中達甲第六二號)

運輸事務所、驛所、機關庫、檢車所、電車庫、列車電燈所

- 自今俸給給料及賄料ノ仕出書(職工ノ分ヲ除ク)ノ調製並仕出務表ノ整理方左記ノ通取扱フヘシ
- 一 各驛、庫、所ニ於ケル出務表ハ雇員以上ト備人トニ區分シ各別業ニ調製スルコト
  - 二 仕出書ハ原本一通トシ副本ヲ作製セサルコト
  - 三 仕出書作製ノ際出務表記事欄ニ仕出書作製者及檢算者ノ氏名ヲ記載シ各自捺印ノ上提出スルコト
  - 四 事務所ニ於テ出務表ト仕出書トヲ調査對照シ要求濟ノ上ハ雇員以上ノ分ハ二十日迄ニ備人ノ分ハ二十五

[中管]

[中管]

日迄ニ出務表ヲ各驛、庫、所ニ返付スルコト

- 五 總代人ニ於テ俸給給料賄料ノ仕拂ヲ爲シタルトキハ出務表領收欄(上部ハ給料、下部ハ賄料)ニ捺印セシメテ拂渡ラ明カナラシムルコト
- 六 出務表様式ハ本日中達甲第六一號ニ依ルコト
- 但シ從來ノ用紙ニシテ拂切ニ至ラサルモノハ其ノ所ニ於テ適宜處理スルコト
- 七 出務表ニハ出仕書ノ如ク計算上ノ基礎タルヘキ事項ハ無漏記事欄ニ記載スルコト
- 八 追給及戻入ノ場合ハ記事欄ニ其ノ事由及金額ヲ明記シタル上受領ノ印ヲ捺捺セシムルコト
- 九 代務整理ノ爲出務表氏名上部ニ雇員以上、備人共各別ニ壹號ヨリ順序次番號ヲ朱書スルコト
- 一〇 代務ヲ爲サシメタルトキハ相當欄ニ「代」ト冠シ代務ヲ受クル者ニ對スル番號ヲ朱記スルコト
- 但シ雇員備人相互間代務アリタル場合ハ番號ノ傍ニ尙「コ」「ヨ」ノ符號ヲ冠スルコト(例令ハ備人カ雇員)
- (10)ニ當ル者ノ代務ヲ爲シタルトキハ「代(10)」ト記入スルカ如シ
- 一一 出務表ノ保存期限ハ五箇年トス
- 一二 大正三年九月東達第二二〇六號、大正三年十月東達第二四四七號及大正二年十二月神管ノ通牒並ニ大正三年五月神管局報注意事項ハ本達施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

○休職者俸給支拂上必要ナル事項報告方ニ就テ

(大正四年十月十五日) (局報注意)

- 事務所以下現業員休職ヲ命セラレタルトキハ左記事項庶務課ヘ報告スヘシ
- 一 文武官恩給アル者ハ其ノ年額(増加恩給アル者ハ恩給本額ト増加恩給トナ區別ス)
  - 二 國庫納金ノ整理未済ノ者若ハ在職中減俸處分ヲ受ケ其ノ整理未済ノ者ハ其ノ事由金額及減俸發令ノ日付
  - 三 俸給支拂上必要ナル俸給費途其ノ他ノ事項

○機關庫及檢車所職工ノ給料支拂方

(大正四年九月六日) (中達甲第一三二號)

運輸事務所、機關庫、檢車所

自今機關庫及檢車所職工ノ從業時間及之ニ對スル從事工事ハ毎日職工勤休簿ニ記入シ之ニ基キ給料領收證正本一通ヲ作製シ勤休簿ト共ニ所定ノ期日迄ニ事務所へ提出シ事務所ハ兩者對照ノ上確認ノ證トシテ勤休簿各葉毎ニ取扱者認印シ之ヲ機關庫及檢車所へ返戻シ機關庫及檢車所ハ該簿ニ依リ給料支拂ヲ爲スヘシ該簿ハ甲乙二部ヲ設ケ隔月毎ニ交互使用スヘシ之カ保存期限ハ五ヶ年トス(記載例ハ關係ノ向ヘ別ニ配付ス)  
大正三年九月東達第二二〇二號及同年十一月注意事項ハ之ヲ廢止ス

○月給料領收證作製方ニ就テ (大正四年十二月二十八日) (局報注意)

月給鐵道手及雇員ニシテ月給料額ト其ノ月分支給額ト同額ナル時ハ給料領收證ノ月給額欄ハ記入ナ省略シ空欄ト爲シ置クモ差支ナシ

○月給雇員ヨリ日給傭人ニ轉シタル場合給料支給方ニ就テ (大正五年五月十日) (局報注意)

月給雇員ヨリ日給傭人ニ轉シタル場合當月分ノ給料ハ發令前日迄ノ月給料額ニ依リ日割計算シ更ニ發令當日ヨリ日給額ニ依リ傭人給テ支給スルモノトス

○連結手ノ割増金支給方ニ就テ (大正四年十二月二十五日) (局報注意)

- 一 連結手ノ缺勤又ハ缺員ノ場合ニ於テ非番ノ連結手カ代務ヲ爲シタルトキハ代務ト非番トヲ通シテ割増金一箇分ヲ支給スルモノトス
  - 二 連結手以外ノ非番者ナシテ一晝夜勤務ヲ二分シ各其ノ一ヲ代務セシメタルトキハ割増金ハ一箇分宛支給ス
  - 三 連結手カ驛夫其ノ他ノ代務ヲ爲ス場合ハ割増金ヲ支給セズ
  - 四 試備中ノ者ニハ割増金ヲ支給セズ
  - 五 連結手カ轉勤ヲ命セラレ未赴任ノ場合ハ赴任前日迄前勤務場所ノ割増金ヲ支給スルモノトス
  - 六 減給處分ヲ受クルモ割増金ニハ關係セズ
  - 七 割増金ハ救済組合掛金ニハ關係ナキヲ以テ掛金内課書前月末日給額ニハ割増金額ヲ併記セサルコト
  - 八 給料領收證用紙ノ記載方ハ日給額欄ニ割増金、錢出勤日數欄ニ割増金ニ對スル日數ヲ附記シ支給金額ハ本給料ニ合算スルコト
- 本件ニ關スル左記注意事項ハ之ヲ廢止ス  
明治四十五年一月十七日中管局報注意事項

〔中管〕

明治四十四年九月西管局報注意事項

○鐵道院給料支給規程第十五條ニ依ル給料一部加給ノ件 (大正五年五月十日) (局一報)

鐵道院給料支給規程第十五條ニ依リ非番ノ者ヲ出勤セシメタルトキ當日ノ勤務時間カ所定ノ勤務時間ノ二分ノ一ヲ超ヘサル場合ハ給料ノ半額ヲ支給ス但シ當日ノ勤務時間カ所定ノ勤務時間ノ四分ノ一ヲ超ヘサル場合ハ之ヲ支給セズ  
大正三年十月東達甲第二五八五號給料一部加給ノ件及大正三年四月神管達第一三六三號非番日勤務ニ對スル加給方ノ件ハ之ヲ廢止ス

〔中管〕

○鐵道院給料支給規程第十一條ニ依ル三割加給ニ就テ (大正五年五月十日) (局報注意)

鐵道院給料支給規程第十一條第一項乙種傭人ノ割増加給ハ午前五時前ノ早出、午後七時後ノ居殘又ハ當日ヨリ翌日ニ互ル勤務ニシテ勤務定時間ヲ超ヘタル時間カ午後七時ヨリ午前五時迄ノ範圍内ナルトキニ限ルモノトス

○給料一部加給ニ對スル給料領收證出務表整理方ニ就テ (大正五年五月十日) (局報注意)

本日中途甲第二八八號ヲ以テ給料一部加給ノ件制定セラレタルニ就テハ給料領收證ニ在リテハ日給半額ハトシテ計算シ出務表ニ在リテハ半代ト附記シ置クヘシ

○甲種傭人第二種始業終業時限ノ件 (大正六年一月三十日) (中途甲第二二號) (保險事務所)

鐵道院給料支給規程(大正三年四月總裁達第三二二號)第九條ノ二甲種傭人第二種ノ始業終業時限左ノ通定ム  
大正五年二月中達甲第三九號ハ之ヲ廢止ス

自十一月至翌年二月 始業午前七時三十分 終業午後四時三十分  
 自三月至四月 同 午前七時 同 午後五時  
 自九月至十月 同 午前七時 同 午後六時  
 自五月至八月

○甲種傭人第二種增務給支給方其ノ他ニ就テ

(大正六年二月十六日) 局報注意

- 一 中途甲第二種ノ指定勤務時間ハ平常ノ勤務時間ヲ示シタルニ過キサルヲ以テ規程第九條ノ二第二項及第十二條但書ノ增務給ハ規程ノ勤務時間ト無增務給時間トヲ控除シタル殘餘ノ時間ニ對シテノミ支給シ得ルモノトス
- 二 一日中ニ二回以上勤務ノ場合ハ通算差支ナキモノトス
- 三 一日中ニ線路巡檢ト他ノ作業トニ從事シタル場合ニ於ケル増務支給方ハ先ツ當日ノ總勤務時間ヨリ規程勤務時間ヲ控除シタル後午前五時前、午後八時後ノ線路巡檢ニ對スル増務時間ヲ算定シ次テ其殘餘中無增務給時間ヲ控除シタル上第九條ノ二第二項又ハ第十二條但書ノ增務時間ヲ算定シ夫々支給スルモノトス
- 四 前各號ノ計算ハ總テ當日ノ午前零時ヨリ起算シ午後十二時ヲ以テ打切ルモノトス
- 五 増務給ノ計算ハ一時間ニ付13 $\frac{1}{100}$ 一分三厘1 $\frac{1}{10}$ 一分ノ割合ヲ以テ奇零以下二位即厘位ニ止ムルモノトス
- 六 出務表ニハ増務數、缺勤數ヲ記入スルモ給料領收證ニハ掲記ニ及ハス

○甲種傭人第二種用出務表及勤務日報制定ノ件

(大正六年二月十六日) 局報注意

甲種傭人第二種用出務表及勤務日報別表ノ通定ム

局一殿

○點閱令狀ニ依リ參會シタル當日ノ給料支給方ニ就テ

(大正五年九月二十二日) 局報注意

未タ教育ヲ受ケサル補充兵ニ對シ市町村長ノ名義ヲ以テ發行ノ點閱令狀ヲ受ケ之ニ參會シタル者ノ點閱當日ノ給料ハ當院給料支給規程第十四條ノ簡閱點呼ニ準シ支給差支ナキモノトス

[中管]

○各支倉庫配給區域

(大正四年十二月二十一日) 局一殿

改正 大正六年四月二十日中途甲第一三二號

鐵道院內國旅費規程第十三條ニ該當スル各支倉庫ノ區域左ノ通定ム

- 一 橫濱支倉庫 新橋及靜岡運輸事務所管内
- 一 江尻支倉庫 新橋及靜岡運輸事務所管内
- 一 名古屋支倉庫 名古屋運輸事務所管内
- 一 金澤支倉庫 金澤運輸事務所管内

大正二年十月神倉達第一一號、大正三年六月東京倉庫長通牒東倉發第一〇〇四號ハ之ヲ廢止ス

○多人數旅行ノ場合旅費請求方

(大正五年二月十五日) 局一殿

多人數旅行ニシテ出張箇所、旅費金額、旅行ノ内容領收總代人等總テ同一ナル場合ハ一人當ノ金額内容ヲ示シタル旅行明細書ヲ添付シ左記様式ニ依リ一通ノ請求書ニ連署請求ヲ爲スコトヲ得

旅費請求書 (用紙半紙トス)

一金 何 程 內 國 旅 費 何 某 外 何 人 分 一 人 當 金 何 程 ノ 割 (內 譯 書 添 付)

右請求候也

年 月 日

何 所 在 勤

官 職 氏 名

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

右領收候也

年 月 日

右總代人 何 誰

仕務命令官鐵道院總裁殿

(備考) 本文一人當リノ旅行明細書ハ規定ノ旅費請求書用紙ヲ用ヒ「請求書」トアルヲ「內譯書」ト訂正シ「右請求候也以下宛名迄」ヲ抹消スルモ



大正三年十一月東達甲第七一號、大正三年十月神管注意事項ハ之ヲ廢止ス

○旅費支給ニ關スル件

(明治四十三年八月二十三日)

局報指令

- 中部鐵道管理局長何(七月二十三日)中管第一二二一號)
  - 一 線路踏査實測等ノ爲第十四條該當ノ近距離用務地ニ出張ノ場合ハ到着ノ翌日ヨリ用務終了出發ノ前日マテ第十二條ニ依リ第三號表日額旅費ヲ支給シ其ノ發着ノ日及外出作業ヲ爲ササル日ニ對シテハ第十四條第一項但書ヲ適用支給スル義ナルヤ
  - 二 第十三條ノ旅行力第十四條ニ該當スルトキハ同條ニ依リ取扱フヘキ義ナルヤ果シテ然ラハ線路巡視、測量又ハ物品檢收等ノ爲現場巡回ヲ爲シタル場合ニ陸路二里ノ制限ハ巡回區域ノ終極點マテ指シ又ハ巡回距離ヲ通算スルヲ得ル義ナルヤ
  - 三 事務所並派出所所管内ニ各主管區域ヲ有スルヤ通信區及保線區域職員カ其ノ主管區域外ニ出張ノ場合ハ第一號表旅費ヲ支給スヘキヤ又ハ其ノ出張力所屬事務所並派出所所管内ナルトキハ第十三條ニ依リ第四號表ノ日額旅費ヲ支給スル義ナルヤ
  - 四 機關車、電車車員並職員カ前項後段ノ如ク事務所所管内ヲ旅行スルトキハ第四號表ニ依リ旅費ヲ支給スヘキ義ナルヤ
  - 五 第十三條ノ職員カ鐵道線外ノ地ニ出張ノ場合ニ於テハ停車場所在市町村區域ノ内外ヲ以テ管内外ヲ區分シ旅費支給可然哉
  - 六 左記ノ出張ノ場合ハ從來ノ支給例ト同様非乘務トシテ第十八條ヲ適用セルモノト解シ可然乎
  - 一 電車運轉手又ハ機關手又ハ火夫カ庫内仕業若ハ構内入換乘務助勤ノ爲出張スルトキ
  - 二 車掌若ハ驛長助役等カ同遊團體旅客附添ノ爲出張スルトキ
  - 三 指導法ニ依リ指導者ヲ命セラレ乘務スルトキ(車掌カ命セラレタル場合トモ)
  - 四 機關手火夫カ乘務指導ノ爲特ニ機關車ニ添乗出張スルトキ
  - 七 第十九條二項及第二十條ノ從來ノ通用務ノ性質ヲ問ハス所屬區域(保線區在勤者ハ其ノ保線區域事務所並派出所所在勤者ハ其ノ所所管ヲ以テ所屬區域トス)内外ヲ以テ常務非常務ヲ區分シ取扱フヘキ義ト解シ可然乎
  - 八 第十三條ノ職員管外出張ノ場合ニ於テ用務ノ爲所管内ニ宿泊シ管外ニ互フサル日ハ第四號表ノ日額旅費ヲ支給スヘキニ依リ當日旅行ニ對スル鐵道賃車馬賃ハ支給ノ限リニアラサルカ
- 總裁指令(八月十一日)會第一五五號)
  - 七月二十三日中管第一二二一號何旅費支給上ノ件左ノ通心得ヘシ
  - 一 第十四條ニ規定セル距離内ノ出張旅行ハ用務ノ如何ヲ問ハス總テ同條ニ依リ
  - 二 第十四條ニ依リ陸路二里ノ制限ハ巡回區域ノ終極點迄即チ出發地ヨリ用務地迄ノ直路ニ依リ計算ス
  - 三 後段何ノ通
  - 四 何ノ通

〔中管〕

- 五 停車場所在市町村內ハ當然管内ナリ停車場所在市町村區域外ト雖驛長カ出貨勸誘ノ爲附近ノ市町村ニ出張スルトキ或ハ保線事務所員カ變更線路測定等ノ爲建設事務所員カ當該建設工事ノ爲附近ノ市町村ヲ旅行スルカ如キ其ノ他之ニ類スル場合ハ管内旅行トシテ日額旅費ヲ支給スヘシ
- 六 一號三號四號ハ第十八條ニ依リ旅費ヲ支給スニ號事務所管内及主管區域内ノ旅行ニハ第十二條ノ管内旅費ヲ支給シ管外ニ互ル場合ハ第一號表ニ據ル
- 七 旅行ノ常務非常務ハ區域ノ内外ニ依リ定ムヘキモノニアラス用務ノ性質ニ依リ區分スヘキモノトス即チ常務旅行トハ線路工夫、建築工夫等カ保線建設工事又ハ線路巡回ノ爲旅行スルカ如キ職務ノ執行力常ニ旅行ナル事實ヲ伴フ場合ヲ指シタルモノトス
- 八 何ノ通

〔中管〕

○旅費支給方ニ就テ

(大正五年五月十日)

局報注意

- 一 旅費規程第三條ニ依リ旅費支給ニ際シ二途以上ノ經路アル場合ハ各經路ニ對スル給與額ヲ比較シ最少額ニ相當スル經路ヲ順路トシテ取扱フモノトス
- 二 元中部鐵道管理局長何ニ對スル總裁指令第五項ノ所謂附近ノ市町村トハ停車場又ハ線路等ノ所在市町村ニ隣接セル市町村ヲ指示スルモノトス
- 三 教習所入學志願者ニシテ選拔試験ノ爲往復シタル場合並教習生臨時服務ノ爲旅行シタル場合旅費支給方ハ左ノ通トス
  - イ 選拔試験ノ爲往復シタル場合ハ官職相當ノ旅費ヲ支給ス
  - ロ 教習期間中臨時服務ノ爲旅行シタルトキハ服務地往復ニ對シテハ旅費規程第二十三條ニ依リ第一號表旅費ヲ支給シ服務地カ所屬事務所所管内ナルトキハ服務中其ノ所屬員ト等シク第四號表ニ又乘務ノ場合ハ第十八條ニ依リ
- 四 概算旅費受領後用務ノ都合上旅行ヲ中止シタル場合ハ其ノ理由ヲ詳記シタル返納書ヲ作製シ直ニ返納ノ手續ヲ爲スヘシ其ノ手續ニシテ遲延セルモノハ尙該返納書ニ其ノ理由ヲ附記スヘシ

○乘務旅費支給方ニ就テ

(大正五年五月十日)

局報注意

- 一 乘務員カ乘務旅行中天然變等ノ爲汽車不通區間ヲ陸行シタル場合ハ所管内外ヲ問ハス旅費規程第二條ニ依リ車馬賃ノミヲ支給シ日當又ハ日額旅費ヲ支給セス
- 二 乘務旅行中公務負傷又ハ疾病ノ爲途中驟下車後ノ旅費支給方ハ左記ニ依ル
  - (イ) 所屬事務所々管外ニ在リテハ下車當日ノ乘務鐵道賃ノ外第一號表旅費ヲ支給ス
  - (ロ) 所屬事務所々管内ニ在リテハ第四號表旅費ヲ支給シ下車當日ノ乘務鐵道賃ハ支給セス
- 三 鐵道院內國旅費規程第十八條第四項ニ依リ宿泊料ヲ支給スル場合ニ於ケル時間ノ計算方ハ當該列車ノ遲延一時間以上ニ渉ル場合ノ外總テ所屬事務所

定ノ列車發着時刻表ニ依ル但シ一時間以上遅延ノ爲宿泊料請求ノ場合ハ遅延ノ證明書添付ノコト  
四 機關車廻送其ノ他ノ場合ニ於ケル乗務旅費ハ乗務旅費領收證ヲ用ヒ請求スヘシ

○指導機關手兼運轉巡視員旅費支給ニ就テ

(明治四十三年十月二十五日)

四十二年十月三日甲府運轉事務所長照會

運轉事務所所屬指導機關手兼運轉巡視員ニシテ出張旅行シタル場合旅費ハ左記ニ依リ支給可然哉何分ノ回報煩度

一 乗務員指導ノ爲旅行シタルトキハ第十八條ニ依リ旅費支給ス

二 列車運轉監督又ハ機關車狀態取調ノ爲其ノ他乗務員指導ニアラサル旅行ニ對シテハ所管内外ノ區分ニ依リ第一號表又ハ第四號表ニ依リ相  
當旅費ヲ支給ス

四十二年十月二十二日計理課長回答

本月三日付甲運發第八〇一號照會指導機關手兼運轉巡視員旅費支給方ノ件御來意ノ通ニテ可然

○旅費規程第十五條ノ滞在日數計算方ニ就テ

(明治四十四年九月一日)

局長伺(明治四十四年八月十日中管甲第一一七號)

別紙旅行明細書ニ掲出セル如キ旅行ノ實例アリ此ノ場合ニ於テ當院内國旅費規程第十五條ニ所謂同一地ノ滞在日數ハ滞留シタル日數ノミナ計算  
スルヤ又ハ著當日ノ日數ヲモ加算スルヤ(則チ別紙ニ示ス名古屋滞在日數ハ前者ニ依ルトキハ三十二日トナリ後者ニ依ルトキハ三十六日トナル)

至急何分ノ指示相成度(別紙ヲ略ス)

會計課長依命通牒(明治四十四年八月二十一日鐵會發第一五三八號)

本月十日中管甲第一一七號何旅費規程第十五條ニ所謂滞在日數トハ泊數ヲ指シタル義ト承知相成度

○旅費規程第十條及第六條ノ解釋ニ就テ

(大正元年十月三日)

旅費規程第十條及第六條ノ解釋ニ關シ左記ノ如ク照會並依命通牒ニ依リ決定セリ

局長照會(大正元年八月二十六日中管計第一七號)

旅費規程第十條ハ旅行中廢官退官休職退職トナリタルモノ若ハ旅行中死亡シタルモノニ對スル特別支給ノ規定ニ對シ前旅行ハ退官若ハ死亡ト  
同時ニ終了シ受ニ新ニ規程第十條ニ據ル支給ノ關係ヲ發生スルモノニ係リ退官若ハ死亡前ノ旅行ト退官若ハ死亡後ニ於ケル支給ノ關係トハ各  
自別箇ニ對立スルモノニ外ナラサレハ

一 廢官退官休職退職若ハ死亡當日ノ日當ト規程第十條ニ據リ支給スヘキ日當トハ重複支給スルヲ妨ケス

二 規程第十條ノ規定ハ退官若ハ死亡ト同時ニ支給ノ關係ヲ發生セルモノニ屬シ實際退官退職者ニ於テ舊任地ニ歸還スルト否トニ論ナク又死  
體ヲ舊任地ニ還送スルト否トヲ論セス又其ノ舊任地ニ歸還日ノ如何ト死體還送日ノ如何トヲ問ハス凡テ同條ニ據リ支給ヲ妨ケス規程第六  
條「公務ノ都合上其ノ他已ムコトヲ得サル事由云々」ノ條文ハ此ノ場合當然適用ニ終ルヘキモノナルハ其ノ支給事實ノ性質ニ照シテ明カナ  
リ

ト解釋スルヲ當然ト思料候ヘ共異論者アリ退官又ハ死亡當日ノ日當ハ重複支給ヲ許サス從テ規程第十條ニ據ル支給トシテハ退官若ハ死亡當日  
ノ日當ハ之ヲ支給スヘキニアラストナシ若シ退官當日舊任地ニ歸還スルヲ得サルモノ又ハ死亡ノ當日死體還送シ能ハサルモノハ第六條ニ據  
ル旅費一日ナル場合ニハ翌日ニ跨リ當日ノ宿泊料及翌日ノ日當ヲ支給スルモ差支ナシトスルモノアリト雖道ハ規程第十條ヲ以テ強テ前旅行ノ  
繼續ト看做シ從テ舊任地ニ歸還又ハ死體還送ヲ以テ旅費支給ノ必要條件トナシ且ツ退官若ハ死亡ノ場合ニモ公務ノ都合其ノ他已ムコトヲ  
得サル事由云々ノ適用ヲ爲サントスルモノニ屬シ正當ノ見解ニアラスト思料ス貴見如何至急御回答相成度

會計課長依命通牒(大正元年九月六日鐵會發第二四〇九號)

八月二十六日付中管計第一七號照會旅行中廢官退官休職若ハ退職ト爲リ又ハ死亡シタル場合ノ旅費支給方ニ關スル件ハ廢官退官等事故發生  
ノ場合ニ於テ舊任地迄ノ旅費ヲ支給スルハ畢竟引續キ前官職ト同一ノ待遇ヲ與フル趣旨ニ過キサルヲ以テ日當ハ重複支給セス亦旅費ハ旅行ノ  
事實ヲ基礎トシテ支給スヘキモノナルニ依リ其ノ事故發生後歸還旅行又ハ屍體還送ヲ爲ササル明確ナル反證アル場合ニハ旅費ヲ支給セサルハ  
當然ノ義ニ有之第六條第四號ニ對シテモ同條第一號乃至第三號同様已ムコトヲ得サル事由アルトキハ規定哩數ノ制限ヲ除外シ得ルモノト御承  
知相成度

右ノ如ク決定ノ結果尙實際ノ取扱方ニ付左記ノ如ク往復決定シタリ

計理課長依命照會(大正元年九月二十日中管會第二七八號)

旅行中廢官退官休職若ハ退職ト爲リ又ハ死亡シタル場合ノ旅費支給方ニ關シ鐵會發第二四〇九號依命通牒ノ次第モ有之候處退官若ハ死亡後ノ  
支給關係ヲ以テ退官若ハ死亡以前ノ旅行ノ繼續ナリシト前後其ノ性質ヲ同フスルモノナリト看做スヘキヤ否ヤ旅費給額ノ算定ニ當リ差異有之  
此ノ點ニ關スル依命通牒ノ意義判然タラス候モ通牒文ニ於テ廢官退官等事故發生ノ場合ニ於テ舊任地迄ノ旅費ヲ支給スルハ畢竟引續キ前官職  
ト同一ノ待遇ヲ與フル趣旨ニ過キサルヲ以テ日當ハ重複支給セスト有之ヨリ推考スルニ事故前後ヲ通シテ同一旅行ノ繼續ト看做サルノ意義  
ナルカ如シ果シテ然ラハ旅費計算方ハ左記ノ通ト承知致シ可然哉御回答相成度

一 規程第十三條ニ依ル旅行中事故發生シタル場合ニハ前後ヲ通シ凡テ第四號表ニ依リ計算スルコト

第七編 經理 第一章 金銭會計

- 二 規程第十八條ノ乗務旅行同第十九條ノ助勤旅行同第二十條ノ常當旅行中事故發生シタル場合ニハ前後ヲ通シテ各本條所定ノ旅費ヲ支給スルコト
  - 三 火葬ニ附シテ遺骨ヲ送還スル場合ハ遺體ヲ送還スル場合ト同一ニ取扱ヒ凡テ相當ノ旅費ヲ支給スルコト
  - 四 死亡地ニ於テ左記各項ノ爲ニ要シタル日數ハ已ムコトヲ得サルノ理由アルモノトシテ旅行日數計算シ各相當ノ旅費ヲ支給スルコト
    - 一 遺族(若ハ他ノ親族)ノ召集ニ要シタル日數
    - 二 葬儀執行ニ要シタル日數
    - 三 火葬ニ付スル爲ニ要スル日數
- 會計課長回答(大正元年九月二十七日鐵會發第二四七八號)  
九月二十日付中計會第二七八號御照會旅費支給方ニ關スル件左ノ通御承知相成度
- 一 御意見ノ通
  - 二 所管ノ内外ニ依リ第四號表又ハ第一號表ニ據リ旅費ヲ支給ス
  - 三 御意見ノ通
  - 四 列舉ノ事項ハ規程第六條ノ已ムヲ得サル事由中ニ包含セルモノト認メ難シ

○臨時職工人夫ヲ出張セシムル場合旅費支給方ニ就テ

(大正五年五月十日) 局報注意

作業上特ニ必要ノ爲臨時職工人夫ヲ出張セシムトスルトキハ左記ノ條件ヲ具備スル場合ニ限ル

- 一 各需要課所ニ於テ直接(請負人ヲ介セス)ニ傭入シタルモノナルコト
- 一 出張スヘキ目的ノ爲特ニ傭入シタル者ニ在ラサルコト但シ特種ノ技能又ハ經驗ヲ要シ使役地方ニ於テ傭入ヲ爲スコト能ハサルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ニ依リ出張セシメタル場合ハ傭人相當ノ旅費ヲ支給ス

○下ノ關門司間旅費支給方ニ就テ

(大正六年三月十四日) 局報注意

下ノ關門司間海路ハ從來一海里五トシテ旅費支給ノ處自今一海里トシテ支給ノコトニ決定セラレタリ

○旅費規程第八條第二項ニ依リ支給スヘキ家族移轉料

(中管)

旅費規程第八條第二項ニ依リ支給スヘキ家族移轉料左ノ通定ム

(大正四年九月二十五日) 中管甲第一七一號

局一發

勅任官	五十	四十哩未滿	二百哩未滿	二百哩以上
奏任官	三十	十八	四十五	五十
判任官	二十	十	二十五	三十
雇員	十	四	十	十五

- 一 陸路、水路旅行若ハ是等旅行ト汽車旅行ト相跨ルトキハ旅費規程第十四條第二項ノ標準ニ依リ哩數ニ換算ス
  - 一 移轉料ハ家族カ實際移轉シタル場合ニ之ヲ支給ス
  - 一 同一市町村内ニ於ケル家族移轉ニ對スル移轉料ハ其ノ轉勤(同一市町村内轉勤)ノ結果ニ因ル轉居ト認ムルモノニ限リ之ヲ支給ス
  - 一 移轉ノ事實ハ當該上長ニ於テ之ヲ證明スヘシ
- 大正二年六月東達第四二五號、大正三年十月東達第二五四五號明治四十三年七月西管達第一五九六號ハ之ヲ廢止ス

○家族移轉料支給方ニ就テ

(明治四十三年十二月一日) 局報注意

局長伺(明治四十三年十一月十四日中管甲第一五七八號)

- 一 舊任地ニ於テハ家事ノ都合上居住地以外ニ居住セシメ全然同棲セサリシ家族ヲ新任地ニ移轉セシムル場合ト雖モ移轉料支給スルヤ果シテ支給スルモノトセハ家族ノ舊居住地カ赴任順路ニ在ルト否トヲ問ハサルヤ(例之東京ヨリ名古屋ニ赴任スルモノノ家族カ静岡ニ居住シ居タル場合ノ如キ順路ニ在ルト云レ其ノ否ヲサルモノトハ水戸若ハ神戸等ノ如キ地方ニ居住シ居タル場合ヲ云フ)

二 甲地在勤者カ乙地ニ轉勤シ其ノ家族ハ無賃乘車證發行規程第二十三條第二項ニ依リ認可ヲ受ケ移轉セシメサル内更ニ丙地ニ轉勤シ其ノ家族ヲ移轉セシムル場合ハ移轉料支給シ差支無之哉又移轉料支給ノ期限ニ付テハ明文無之ニヨリ移轉ノ事實ヲ認メタル上ハ其ノ時期ヲ問ハス支給スル義ナルヤ

三 茲新宿在勤官舎居住者ニシテ同一通勤許可區域内即チ新橋ニ轉勤シ官舎退去ヲ命セラレ許可ヲ得テ澁谷若ハ目白ニ家族ヲ移轉シタル場合ハ移轉料ヲ支給スルヤ又官舎居住ニアラサル者ニ對シ給否如何

總裁指令(明治四十三年十一月二十一日會第二五七號)

- 一 何ノ通
  - 二 前段何ノ通後段事實上轉勤ノ結果家族ヲ移轉スルモノト認定シ得ル者ニ對シテハ之ヲ支給ス
  - 三 官舎居住者ト否トナ問ハス實際轉勤ノ結果移轉シタル者ニハ之ヲ支給ス
- 前記各項ニ關スル本局取扱方左ノ通決定セリ
- 一 第一項ノ場合ニ於ケル支給區分ノ哩程ハ家族ノ居住地カ新舊任地間順路區域内ニ在ルトキ及順路區域外ノ居住地ト新任地トノ距離カ新舊任地間ノ距離ヨリ近キトキハ其ノ居住地ヨリ、然ラサルトキハ新舊任地間ノ距離ニ依ル又不得已事情ノ爲新任地ヘ家族ヲ移轉セシメル若ハ他ノ地方ヘ居住セシムル場合ニ於テ事實上轉勤ノ結果ヲ確認シ得ル者ハ前段ニ準シ移轉料ヲ支給ス
  - 二 第二項前段ノ場合ニ於ケル支給區分ノ哩程ハ甲丙間順路ノ距離ニ依ル又轉勤ヲ命セラレタル日ヨリ一年以内ニ移轉セシムルモノニ限リ無賃乘車證發行規程第二十三條第二項ニ依リ豫メ認可ヲ受ケタルト否トナ問ハス移轉料ヲ支給ス
  - 三 第三項ノ場合ニ於テ官舎居住外ノ者ハ勿論官舎居住者ト雖モ當該上官ハ果シテ轉勤ノ結果ナルヤ否ヤ正確ノ取調ヲ要ス

### ○家族移轉料支給方ノ件

(明治四十三年八月二十四日) (局報指令)

鐵道院內國旅費規程第八條第二項ニ依ル家族移轉料支給方ニ關シ金澤運輸事務所長何(四十三年八月四日)

- 一 轉勤者戸主ニシテ父母妻子女共ニ一戸籍内ニ兄弟又ハ甥姪等ノ家族アリテ同居スルトキ其ノ家計ヲ異ニシ若ハ別ニ扶養スヘキ狀態ニアラサルモノノ轉勤者ト共ニ移轉スル場合ニアリテハ移轉料支給ノ限リニ無之哉
- 二 移轉者非戸主ニシテ共ニ一戸主ニ屬スル家族ト同居スルト雖モ民法上扶養ヲ受ケタル狀態ニアラサルモノ(兄弟甥姪ノ如キ)轉勤者ニ伴ハレ新任地ヘ移轉スル場合ニアリテモ轉勤者ニ於テ他ニ家族ヲ伴ハサルトキハ移轉料支給ノ限ニ無之哉
- 三 中管乙第一二四二號移轉料區分方備考第二項ニ依リハ移轉料ノ支給ヲ必要トスルトキ云々トアルハ現實ニ家族ノ移轉スル場合ヲ指スモノト思考ス然ラハ轉勤者ニ後レテ家族ノ移轉スルトキ赴任旅行ニ對シ先ツ旅費規程第八條第一項ノ旅費ヲ支給シ其ノ後家族移轉ニ對シ同第二項ノ移轉料支給ノコトニ整理可然哉
- 四 前項ノ通トセハ無賃乘車證發行規程第二十三條ニ於テ家族ニ對スル職務乘車證發行期間ハ一箇月内ト定メアルモ移轉料支給ニ關シテハ別ニ

(中管)

(中管)

支給期間ノ制限ナキモノトシテ整理可然哉

局長指令(四十三年八月十九日)

- 第一項第二項 轉勤者戸主タルト否トニ拘ラス其ノ親族ニシテ同居ヲ要シ且生計ヲ異ニセサルモノノ轉勤者ト共ニ移轉スル場合ト雖モ移轉料ヲ支給ス
- 第三項 何ノ通
- 第四項 無賃乘車證發行規程第二十三條ニ據リ家族ノ乘車證ヲ發行シ得ル場合ニハ移轉料ヲ支給ス

### ○八王子機關庫構内入換仕業ニ従事スル乘務員ヘ賄料支給ノ件

(大正三年五月八日) (東管經第二六七號)

甲府運輸事務所長照會(五月一日甲計第七八號)

當所八王子機關庫構内入換仕業ノ内「入」仕業ニ従事スル乘務員ハ午後六時ヨリ翌午前六時迄ノ夜間入換機關庫乘務ニシテ他ノ徹夜勤務者ト格別差異アルモノニハ無之ニ付一般徹夜勤務者ト看做シ賄料支給可然哉何分ノ回報煩度

經理課長同答

甲計第七八號ヲ以テ照會相成候八王子機關庫構内入換仕業ニ従事スル乘務員ヘ賄料支給ノ件ハ差支無之候

### ○貯藏品ヨリ配給スル物品代並貯藏品扱修繕代ノ振替計算方

(大正五年五月十日) (中管甲第三〇一號)

局一般

貯藏品ヨリ配給スル物品代並貯藏品扱修繕代振替計算方左ノ通定ム

- 一 「貯藏品ヨリ賣渡シタル物品代價明細書」(倉庫事務規程並書)並「物品賣拂代價調書」(大正五年三月三十一日)ハ經理課ニ於テ調製シ別記様式ニ依ル送付票ヲ添付シ決算負擔箇所ニ送付スヘシ
- 二 決算負擔箇所物品代價明細書又ハ物品賣拂代價調書ヲ受ケタルトキハ即日所屬出納官吏ヲ納入並債主トシテ即納通知書及仕拂要求書ヲ發行スヘシ
- 三 物品代價明細書又ハ物品賣拂代價調書ニ添付セル送付票ニハ即納通知書發行月日及記番號ヲ記入シ遲滞ナク經理課ニ返付スヘシ

- 四 物品代價明細書ニ對スル仕拂要求書ハ一送付票毎ニ必ス一要求書ヲ發行スベシ  
切捨ツヘキ厘位ハ物品代價明細書調製ノ際適宜ノ箇所ニ於テ其ノ切捨額ヲ指定シ置クヘシ  
前項切捨額ハ即納通知書ニ掲記シ朱書ヲ以テ之ヲ抹消スヘシ
- 五 第二項ニ依リ振替計算ヲ爲シタル後科目更正又ハ戻入ヲ要スル場合ハ左記ニ依リ處理スヘシ  
イ 科目ノ更正ヲ要スルトキハ仕拂要求官ハ經理課ヘ照會ノ上更正代價明細書ノ送付ヲ俟テ仕拂更正要求書ヲ發行スヘシ  
ロ 戻入ヲ要スルトキハ經理課ハ用品費ノ拂戻要求書ヲ發行シ又當初振替計算ヲ爲シタル箇所ハ戻入要求書ヲ發行スヘシ  
(別記様式)

第 號  
大正 年 月 日

御中  
中部鐵道管理局經理課

代價明細書又ハ代價調書送付原票

年度 月分 倉庫

甲

代價明細書番號 又ハ代價調書月別	金額	件	名	通數	事由	由

(薄葉)

第 號  
大正 年 月 日

御中  
中部鐵道管理局經理課

代價明細書又ハ代價調書送付票

年度 月分 倉庫

乙

[中書]

代價明細書番號 又ハ代價調書月別	金額	件	名	通數	領收印	即納通知書 記番號及月日

(洋紙)

○物品賣拂代價調書ニ依ル振替計算ニ就テ

(大正五年七月十四日) 局報注意

本年三月達第二五八號物品賣拂代價調書ニ依リ振替計算ヲ爲ス場合ハ即納通知書事由欄ニ仕拂要求書記番號或科目及何月分割掛費並賣拂代價調書發行箇所名ヲ記入スヘシ

○關稅立替金仕譯書作製方

(大正五年五月十日) 中達甲第三一〇號 運輸事務所、關係課

關稅立替金ノ仕拂ニ對シテハ左記様式ノ仕譯書ヲ作製シ仕拂要求ノ手續ヲ爲スヘシ  
大正三年二月東達第二五八號關稅立替金仕拂要求方ノ件ハ之ヲ廢止ス  
様式 (用紙半紙半野紙ヲ用フ)

仕 譯 書

(款) 鐵道作業費(項) 訖拂戻及立替金(目) 立替金

關稅立替金

但何稅關所屬稅關分任收入官吏何某ニ仕拂ヲ要スル分

荷受人

差出人

發地	著地	品名	數量	鑑定額	稅目	稅率	立替金	稅額	其ノ他	計	摘要
					番號						

右之通  
年 月 日

何々驛長印

○貯藏品賣拂代ニ對スル即納通知書又ハ徵收要求書記載方ニ就テ

(大正四年九月十三日)  
局報注意

納品證ヲ以テ貯藏品代價明細書ト看做シ(大正二年七月十一日公報注意事項配給物品代整理方ニ關スル件第三項)振替計算手續ト爲ス場合ハ當該即納通知書又ハ徵收要求書ニハ納品證ニ依リ振替トト朱書スヘシ

○團體輸送擔保取扱手續

(大正五年四月十八日)  
中達甲第一九六號 局一較

- 第一條 團體割引規程第九條ニヨリ擔保金ノ受入ヲ要スルトキハ驛長ハ申込人ヨリ現金納付書ヲ提出セシメ該納付書ニ驛長受入命令ヲ附シ現金ハ自驛分任出納官吏又ハ主任出納員ニ提供セシムヘシ
- 第二條 分任出納官吏又ハ主任出納員現金ヲ受ケタルトキハ所定ノ領收書ヲ納人ニ交付シ現金ハ受入命令ト共ニ收入金引繼ノ例ニ依リ之ヲ所屬主任出納官吏ニ引繼クヘシ
- 第三條 擔保金ノ還付ヲ要スルトキハ驛長ハ前條ノ領收書ノ裏面ニ拂戻ヲ要スル旨ヲ附記シ之ヲ分任出納官吏又ハ主任出納員ニ交付スヘシ但シ收入金不足ニシテ拂戻ヲ執行シ難キトキハ之ヲ所屬主任出納官吏ニ送付スルモノトス
- 第四條 分任出納官吏又ハ主任出納員前項ノ拂戻命令ヲ附シタル領收書ヲ受ケタルトキハ直ニ拂戻ノ手續ヲ爲シ該領收書ハ繰替拂證憑書引繼ノ例ニ依リ所屬主任出納官吏ニ引繼クヘシ
- 第五條 違約ノ爲擔保金ノ沒收ヲ要スルトキハ驛長ハ領收書裏面ニ其ノ旨ヲ附記シ(沒收スヘキ金額カ一部)

(中管)

(中管)

分ナルトキハ「内金何程何々ノ爲沒收ヲ要ス」トシ(之ヲ)所屬事務所長(新橋運輸事務所管内各驛ハ經理課長)ニ提出スヘシ

所屬事務所長(又ハ經理課長)ハ前項領收書ニ基キ即納通知書ヲ發行シ之ヲ主任出納官吏ニ交付スヘシ

第六條 主任出納官吏ハ第三條但書及第五條ニ依リ領收書並即納通知書ヲ受ケタルトキハ送金拂戻及振替收入ノ手續ヲ爲スヘシ

○著拂貨物運賃及附帶料金ニ對スル無保證小切手納付ニ關スル擔保取扱手續

(大正六年三月七日)  
中達甲第六〇號

運輸課、經理課、運輸事務所  
關係驛、及荷扱所、支倉庫

著拂貨物運賃及附帶料金ニ對スル無保證小切手納付ニ關スル擔保取扱手續左ノ通定ム

第一條 著拂貨物運賃及附帶料金ニ對シ擔保ヲ供シテ無保證小切手ノ納付ヲ希望スルモノアルトキハ驛長ハ

本人ヨリ願書ヲ徵シタル上最近一ケ年間ノ著拂運賃納入高及一日分納入ノ最高額ヲ取調ヘ且ツ提供セシムヘキ擔保ノ種類ヲ附記シテ所屬運輸事務所長經由局長ニ具申スヘシ

第二條 局長ニ於テ無保證小切手ノ納付ヲ許スモ差支ナシト認メタルモノハ所屬運輸事務所長經由當該驛長ニ擔保ヲ納付セシムヘキ旨ヲ通知スヘシ但シ擔保カ現金有價證券又ハ銀行ノ支拂保證證書ナルトキハ納付額(又ハ保證額)ヲ併テ通知スルモノトス

第三條 當該驛長前條ノ通知ヲ受ケタルトキ擔保カ現金又ハ有價證券ナルトキハ局長ノ通知額ヲ納付セシメ銀行ノ支拂保證證書ナルトキハ同通知額ニ對スル保證證書ヲ保證人ナルトキハ驛所所在地ニ住所ヲ有シ其ノ資力信用充分ナリト認メタルモノ二人以上ヲ選ミ保證證書ヲ徵スヘシ

第四條 驛ニ於テ擔保ノ受入ヲ了シタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ  
一 保證證書ハ驛長ニ於テ貴重品扱ヲ以テ即日經理課長ニ送付スルコト

- 一 現金又ハ有價證券ハ當該分任出納官吏主任現金出納員又ハ分任物品會計官吏ニ於テ所屬主任現金出納官吏又ハ主任物品會計官吏ニ引繼ヲ爲スト同時ニ受入濟ノ旨ヲ經理課長ニ報告スルコト
- 經理課長ハ前項ノ保證證書又ハ報告ヲ受ケタルトキハ局長ノ決裁ヲ受ケ本人及當該驛長並分任現金出納官吏又ハ主任現金出納員ニ無保證小切手納付承認通知ノ手續ヲ爲スヘシ
- 保證證書ハ經理課長之レヲ保管シ少クトモ一ケ年毎ニ更新ノ手續ヲ爲スモノトス
- 第五條 承認期間滿了若クハ納人ニ於テ無保證小切手ノ納付ヲ中止シタルトキ該擔保物ノ返還請求ヲ受ケタルトキハ當該驛長ハ其ノ擔保カ現金又ハ有價證券ニ在リテハ曩ニ本人ニ交付シタル領收證ヲ徴シ之レニ拂戻命令ヲ附シテ所屬主任現金出納官吏又ハ主任物品會計官吏ニ送付シ保證證書ナルトキハ其ノ旨經理課長ニ報告スヘシ
- 第六條 主任現金出納官吏主任物品會計官吏又ハ經理課長ハ前條領收書又ハ報告ヲ受ケタルトキハ各擔保物返還ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第七條 本取扱手續ニ依リ受入タル擔保ニシテ處分ヲ要スルモノアルトキハ當該驛長ハ直ニ局長ニ報告シテ指揮ヲ請フヘシ
- 第八條 本取扱手續ニ關スル納付書領收書及保證證書ノ書式ハ第一號乃至第三號ノ通トス
- 第九條 明治四十一年十月公達第七七〇號鐵道運輸規程第百條ニ於ケル擔保ノ取扱手續第三條乃至第五條第一〇條乃至第一四條ノ規定ハ本擔保物ノ取扱ニ之ヲ準用ス

〔中管〕

〔中管〕

第一號

受入ナ 要ス 印		納 付 書	
一金何程 若シクハ 有價證券額面何程			
但シ何年何月以降利札付			
種	類	記	番
枚	數	額	面
金額	額		

右ハ貴驛ニ納付スル者拂貨物運賃並附帶料金ニ對シ無保證小切手納付ノ儀御承認相受候ニ付テハ擔保トシテ右金額(又ハ有價證券)納付候間後日不渡等ノ際若シ貴院ニ損害相懸候節ハ右擔保物ヲ任意ニ處分相成候共異議申問敷尙不足相生シ候ハハ御通知次第納金可致候也

年 月 日

局 長 殿

住所 氏 名 〇

備考 有價證券ナルトキハ納付書正副二通ヲ作成シ正ハ主任物品會計官吏ニ送付シ副ハ驛ニ保存シテ物品出納簿ノ代用トス

領收書

第三號

甲	第 號 納人	一金何程 若クハ 有價證券額面何程 何年何月以降利札付 但著拂運賃並附帶料金小切手納付ニ對スル擔保 大正 年 月 日領收
乙	此證券ハ賣買讓與又ハ買入スルコトヲ得ス	拂戻ヲ要ス 驛長印 領收證 一金何程 若クハ 有價證券額面何程 何年何月以降利札付 但著拂運賃並附帶料金小切手納付ニ對スル擔保
種	類 記 番 號 枚 數 額 面 金 額	右領收候也 年 月 日 前記(金額)下渡相成正ニ領收候也 大正 年 月 日 何驛分任(現金出納官吏 物品會計官吏 現金出納員 主任 現金出納員 氏 名印

備考  
一 甲片ハ驛控トス  
一 甲片領收處所ニ取扱者捺印整理スルモノトス

局長 殿	住所本人 氏 名印
	住所保證人 氏 名印
	住所保證人 氏 名印

保證證書  
何々驛ニ納付スル者拂貨物運賃並附帶料金ニ對シ無保證  
小切手納付ノ儀御承認相受候ニ付テハ自分納付ニ係ル小  
切手ニシテ不渡等ノ際若シ貴院ニ損害相懸候節ハ保證人  
連帶シテ賠償可致候  
年 月 日

○責任噸數付貨物運送特約ニ對スル擔保取扱方ニ就テ

(大正六年二月十四日)  
局報注意

〔中管〕

責任特約ニ對シ特約者ヨリ擔保ノ提供又ハ還付ノ請求アリタルトキハ左記各項ニ依リ取扱フヘシ

一 擔保ノ收納  
(イ) (現金)擔保カ現金ナル時ハ其ノ旨運輸課ニ通知セハ成入成出外現金納付書ヲ送付スヘキニ付之ニ現金ヲ添ヘ當該出納官吏ニ納付セシメ更ニ出納官吏ヨリ交付ノ領收證書ヲ契約書ト共ニ運輸課ニ送付セハ上記領收證書ニ對スル預リ書ヲ發行スヘキニ付之ヲ特約者ニ交付スルモノトス  
(ロ) (國債證券)擔保カ國債證券ナル時ハ其ノ種類券面記載ノ金額記號及番號ヲ明記シタル書面ヲ契約書ト共ニ運輸課ニ提出セハ寄託通知書ヲ發行ス之ニ擔保現品ヲ添ヘ金庫ニ提出セシメ更ニ金庫ヨリ交付ノ保管證書ヲ運輸課ニ送付セハ同證書ニ對スル預リ書ヲ發行スヘキニ付之ヲ特約者ニ交付スルモノトス

二 擔保ノ還付  
(イ) (現金)特約者ヨリ糞ニ交付シタル預リ書ヲ提出セシメ之ヲ運輸課ニ送付セハ領收證書ニ相當裏書ヲ爲シ返還スヘキニ付特約者チシテ之ヲ出納官吏ニ差出サシメ現金ノ還付ヲ爲スモノトス  
(ロ) (國債證券)特約者ヨリ糞ニ交付シタル預リ書ヲ提出セシメ之ヲ運輸課ニ送付セハ保管證書ニ相當裏書ヲ爲シ返還スヘキニ付特約者チシテ之ヲ金庫ニ提出セシメ擔保ノ還付ヲ爲スモノトス

○收入濟通知ニ就テ

(大正四年七月六日)  
局報注意

〔中管〕

拂込通知書又ハ即納通知書ニ收入濟通知ヲ爲スヘキ旨附記シアルニ拘ハラヌ往々該通知ヲ洩ラシ又ハ甚シク遅延セルモノアリ整理上支障不鮮候ニ付爾今收入濟ノ上ハ速カニ指定箇所ニ通知ヲ爲スヘシ

○引換代金仕拂ニ對スル資金回送取扱方

(大正四年十一月二十六日)  
中途甲第三五七號 局一殿

一 驛所ニ於テ引換代金支拂通知ヲ發送スル場合ハ必ス當該分任出納官吏又ハ主任出納員ヲ經由スヘシ  
二 拂戻資金ニ充ツル爲收入金ノ留置ハ二日分ヲ限度トシ尙不足ノ場合ハ主任出納官吏ニ請求スヘシ  
三 主任出納官吏ニ於テ資金ノ派出交付ヲ要スル場合ハ所屬出納員ヲシテ派出拂ニ準シ派出仕拂ヲ爲サシムルコトヲ得但シ派出拂計算書ノ作製ヲ省略シ驛所分任出納官吏又ハ主任出納員ヨリ資金領收書ヲ徴セシム



ルモノトス

- 四 列車便ニ依リ現金ヲ回送セントスルトキハ貴重品ノ取扱ニ依リ受授ヲ明確ニスヘシ
- 五 特別ノ事情アルモノヲ除クノ外公休日ハ同金ヲ爲ササルモノトス
- 六 収入金ヲ留置キタル爲引繼金ナキ場合ト雖現金引繼書、收入報告書其ノ他關係書類ハ當日主任出納官吏ニ引繼ヲ爲スヘシ
- 七 課所長ノ承諾書及拂戻資金領收書ハ左ノ書式ニ依ル  
前項ノ場合ニ於テハ丙片ノ領收書ノ到着ヲ俟テ之ヲ貼付ノ上主任出納官吏保管シ乙片ハ交付ヲ受ケタル主任出納官吏又ハ主任出納員記帳ノ資料ト爲シ處理濟ノ上順次編綴保管スヘシ

<p>第 號</p> <p>1金</p> <p>引換代金拂戻資金領收書</p> <p>但局所主任現金出納官吏書記</p> <p>回金ノ分</p> <p>右領收也</p> <p>大正 年 月 日</p> <p>主任出納官吏 鐵道院書記</p>	<p>第 號</p> <p>1金</p> <p>付回金</p> <p>局所主任出納官吏鐵道院書記</p> <p>大正 年 月 日</p> <p>主任出納官吏 鐵道院書記</p> <p>主任出納員 拂戻資金請求</p>	<p>第 號</p> <p>1金</p> <p>課所長</p> <p>主任出納官吏書記</p> <p>主任出納員</p> <p>大正 年 月 日</p> <p>局所主任現金出納官吏</p> <p>鐵道院書記</p>
--	--	---

〔中管〕

〔中管〕

### ○公衆電報配達賃請求書ノ件

(大正四年八月四日 中途甲第五八號)

運輸事務所、關係課

公衆電報配達賃請求書ハ左記様式ニ依リ請負人ヲシテ之ヲ調製セシメ關係課長ハ前月分ヲ毎月六日迄ニ所管

運輸事務所ニ提出スヘシ

大正二年十二月東達第二一一八號ハ之ヲ廢止ス

<p>1金 圓 錢也</p> <p>但シ九丁毎ニ金 錢ノ割</p> <p>右轉掛渡相成度候也</p> <p>年 月 日</p> <p>住 所 何 之 罷</p>	<p>右領收也</p> <p>年 月 日</p> <p>右 同 人</p> <p>鐵道院御中</p> <p>内附左ノ通</p>	<p>配達月日 受信人居所氏名 里程 賃金</p> <p>月 日</p> <p>里 丁 金 錢</p>
--	---	---

### ○國際連絡乗車船券ヲ以テ經路變更ノ場合ノ拂戻金額ニ就テ

(大正五年二月十六日 局報注意)

本年一月達第四〇號日支、日滿及西歐連絡乘車船券ヲ以テ經路變更ノ場合取扱方第一項ハニ基キ旅客賃金又ハ手荷物料金ノ拂戻ヲ爲ス場合ハ左記分配表ニ依ルヘキ旨運輸局ヨリ通報アリタリ

一日滿旅客連絡運輸ニ於ケル朝鮮鐵道、南滿洲鐵道及大阪商船會社分配表

區間	急行列車		旅客及郵便列車		運賃運送限度廿五 疋ヲ超過スル每五 疋ニ付
	大人	小兒	大人	小兒	
釜山 安東	三、三〇	一、五三	二、九〇	一、四〇	〇、四〇
安東 長春	二、八〇	一、三三	二、四〇	一、〇〇	〇、二五
大連 長春	二、四〇	一、一七	二、〇〇	〇、八〇	〇、二五
大連 大連	一、八〇	〇、八〇	一、四〇	〇、六〇	〇、二五
下關 大連	一、八〇	〇、八〇	一、四〇	〇、六〇	〇、〇九

當院分配表ハ明治四十三年三月達第一七八號ニ依ル  
二 西歐連絡運輸ニ於ケル南滿洲鐵道及大阪商船會社分配表

區間	急行列車		手荷物無貨運送限度五十疋ヲ超過ス ル毎十疋ニ付
	大人	小兒	
大連 長春	二、九〇	一、四、七三	〇、五〇
大連 大連	三、六〇	一、八、〇〇	〇、一八

當院分配表ハ大正二年五月達第四三四號ニ依ル南滿洲線ハ二等乘車券ヲ以テ總テ一等ニ有效ナリ  
三 日支連絡運輸ニ於ケル當院、朝鮮鐵道及南滿洲鐵道分配表ハ大正二年九月達第七八四號ニ依ル

○旅客收入過納金處理方ニ就テ

(明治四十三年十月四日) 局報注意

[中管]

中部鐵道管理局長傳(明治四十三年七月二十五日中管甲第一二二三號)

從來各課所ニ於テ乘客賃ノ訂正通知書ヲ受ケタルトキハ(特ニ急速ヲ要スル場合ニ於ケル乘客賃訂正要求書亦同シ)之ニ依リ現金扱ノ不足ハ追納ヲナシ過納ハ會計事務取扱規則第四十一條ニヨリ當該課長ニ於テ仕拂要求書ヲ調製シ拂戻ヲ執行シ來候處本年三月二十八日達第二二三號(同五月二十八日達第五一號更訂)改正ニ係ル運輸收入帳表類取扱手續ニアリテハ當日ノ乘客賃總計日報又ハ不足賃日報並乘客賃旬報ニ訂正通知書面ノ過不足金額ヲ即載シ差引計算ヲナスコトニ相成候右改正ノ要旨ハ從來ノ課所現金ノ取扱方ナ一變シ乘車券及切符引換拂戻手續ノ如ク特ニ定メタル場合ヲ除クノ外過不足共現金ノ差引計算ヲ許シ一般歳出金仕拂ノ例ニ倣ハス課所限リ當日ノ收入金ヨリ適宜ノ方法ヲ以テ債主ニ交付スルモ差支ナキ義ニ候哉疑義ニ屬シ候間至急何分ノ指示相成度  
總裁指令(明治四十三年九月二十六日會第一六一號)  
中管甲第一二二三號旅客賃過納金處理方ニ關スル件ハ何出ノ通處理セラレ可然候  
但シ本件拂戻ニ對シテハ其ノ金額事由ヲ關係帳簿ニ掲記シ置クヘシ

[中管]

○塵芥取捨料ニ就テ

(大正五年五月十日) 局報注意

一 構内ニ事務所、庫、區等數箇所存在スル場合ニ各箇所ニ於テ構内所定ノ場所ニ取捨シタル塵芥ハ保險區主任之ヲ始末シ其ノ取捨料ハ保存費、線路修繕費、停車場修繕費ヲ以テ支辨スルコト  
一 構内事務所、庫、區、場等ノ内一箇所ノミ存在スル場合之ヨリ生スル塵芥ハ其ノ長之ヲ始末シ其ノ取捨料ハ相當科目ヲ以テ支辨スルコト  
一 前各項ノ場合ニ塵芥ヲ取捨ツル爲取捨場ヲ設ケル費用ハ保存費ヲ以テ支辨スルコト

○隨意注文始末方ニ就テ

(大正六年一月二十七日) 中管經第一二三號決裁

一 簾子圓未滿ノ隨意注文品ニシテ値引ノ結果單價ニ毛位ヲ生シタル時ハ之ヲ切捨テ厘位止トス

○會計ニ關スル帳表書類保存期限ノ件

(大正五年七月二十一日) 中管甲第四八六號

會計ニ關スル帳表書類保存期限左ノ通定ム

種別	期限
現金出納簿(各課備付ノ分)	一
現金出納簿(內譯簿)	一

第七編 經理 第一章 金錢會計



第三條 大正四年十二月中達甲第四四六號常用物品取扱手續ニ依リ各課ニ割當アル月割配給品ハ全部之ヲ經理課ニ配給ヲ受ケ各使用者ノ請求ニ應ジ之ヲ交附シ準備ナキ物品（不定期配給ノ常用品又ハ常用品以外ノ拂切品）ニ對シテハ直ニ請求ノ手續ヲ爲スヘシ

第四條 各課ニ於テ物品ノ交附ヲ受ケムトスルトキハ物品領收票各相當欄ニ必要事項ヲ記入シ經理課調度掛ニ提出スヘシ但シ物品ノ修繕ヲ要スル場合ハ總テ物品領收票ヲ用ヒ記事欄ニ修繕ト朱書スヘシ

前項ニ依リ使用者ニ於テ供用品ヲ受領シタルトキハ供用品專用票ニ署名捺印スヘシ

第五條 經理課ニ於テハ前條領收票ヲ各費目別ニ整理シ過去ノ使用數量ニ應ジ其ノ以後配給ヲ受クヘキ物品ノ數量並之カ支辨費目ヲ加減調整スヘシ

第六條 總テ物品ハ使用者ニ於テ必要ノ都度之ヲ受領スヘシ

第七條 常用品以外違例ノ物品及供用品ヲ請求セムトスルトキハ所屬課長ノ認印ヲ受クヘシ

附 則

本達ハ大正六年度ヨリ之ヲ施行ス大正四年三月東達甲第一五一號各課廳中用物品取扱規程ハ之ヲ廢止ス

### ○物品準備手續

物品準備手續左ノ通定ム

物品準備手續

第一條 本手續ニ依リ準備ヲ爲スヘキ物品左ノ如シ

#### 一 工事用品

軌條並附屬品（特種繼目板ヲ含ム）、タイプレート及アンチクリバー、轉轍器、轍又、聯動機、轉轍叉動機、信號機（ランプ及リバーヲ含ム）、同上用針金網、轉轍標識、鋼橋桁、鐵製跨線橋、轉車臺、遷車臺、鐵製貯水器、其ノ他ノ給水用品並同鑄鐵管、チヨックボルト、フアングボルト、スパイキ（四ツ頭釘）、木製チヨック、軌條製車留、計重臺、鐵構造物、鋼材料、トランシット及ワイレベル、工事用機械類、煉化石、砂利、枕木、セメント、鐵釘、土砂用シヨベル、塗料、電柱、腕木、碍子、電線（被

〔中管〕

覆線ヲ含ム）電燈球、乾電池、蓄電池其ノ他經常所要品

二 車輛修繕及工場用品

〔中管〕

#### イ 各種軟鋼

ロ ※各種硬鋼、※各種煉鐵、器具、瓦斯燈裝置用品、瓦斯槽車用主要品、酸素

ハ ※各種外輪、※船管、銅棒、銅板、銅管、鐵管、鋼管

ニ 各種鋼製彈機（座席及寢臺用ヲ除ク）、※車軸及車軸用鋼（客貨車及機關車用）、※銑鐵、※ツール用硬鋼

ホ 緩衝器（彈機ヲ除ク）、各種鑄鋼製品、※可鍛鑄鐵製品、※ゲージ類、※窓硝子

ヘ 客車蒲團用織物、笹縁、窓掛地、床敷物、※屋根用麻布、※帆布綿、フェルト、其ノ他主要ナル外國注文品

ト 護謨管、護謨彈機類、ヴァキユアムプレートキ用護謨類、窓受護謨、塗料木材（但シ鹽地、杉、檜、胡桃、枋、桂、桐等ノ特種材ヲ除ク）バツキング類、毛糸、ゲージ硝子、同護謨輪、機關車用煉化石、メタル類、釘鉸類、金網（スパークアレスタ）、コークス其ノ他經常所要品

#### 三 運輸用品

石炭、重油、原油、種油、車軸油、機械油、汽筒油、糸屑、輕油（以上工作用ヲ含ム）、燈火油、電燈球、火夫及石炭用シヨベル其ノ他ノ經常所要品

#### 四 事務用品

第二條 保線事務所長ハ自己ノ權限ニ屬スル毎年度ノ保存及補充工事用品ノ所要見込數量ヲ調査シ使用時期、使用場所、又ハ現品引渡場所毎ニ區分シタル調表（以下準備調表ト稱ス）ヲ作成シテ工務課長ニ送付スヘシ

工務課長ハ前項ノ調表ヲ審査シ並其ノ他ノ保存及補充工事用品ノ所要見込數量ヲ調査シ準備調表ヲ作成シ併セテ經理課長ニ送付スヘシ

第三條 運輸事務所長及電力事務所長ハ毎年度ニ於ケル電力工事用品及運輸用品中工作用ノモノヲ調査シ準

備調表ヲ作製シテ工作課長ニ送付スヘシ  
 工作課長ハ前項ノ調表ヲ審査シ其ノ他ノ電力工事用品及運轉用品中工作用ノモノヲ調査シ準備調表ヲ作成シ併セテ之ヲ經理課長ニ送付スヘシ  
 第四條 工場長ハ毎年度ニ於ケル車輛修繕及工場用品(建設改良費支辨ノ機械其ノ他ノ裝置用品ヲ除ク)並第一條第三號ノ運輸用品中工作用ノモノノ所要見込數量ヲ調査シ準備調表ヲ作成シテ工作課長ニ送付スヘシ  
 工作課長ハ前項調表ヲ審査シ其ノ他ノ車輛修繕及工場用品ヲ調査シ準備調表ヲ作成シ併セテ之ヲ經理課長ニ送付スヘシ  
 第五條 經理課長ハ毎年度ニ於ケル運輸用品(工作用ノモノヲ除ク)及事務用品ノ所要見込數量ヲ調査シ準備調表ヲ作製スヘシ  
 第六條 經理課長ハ準備調表ヲ調査決定ノ上大正四年十一月達第一二三號第一條ノ物品ハ夫々準備要求調表ヲ作成シ局長ノ決裁ヲ經テ本院へ送付ノ手續ヲ爲シ其ノ他ノモノハ適宜準備購入ノ手配ヲ爲スヘシ  
 第七條 課所場長ハ準備調表ノ作成又ハ審査ニ際シ貯藏品、決算品、再用品及不用品等ヲ調査シ充當又ハ代用方ヲ講究スヘシ  
 第八條 經理課長ハ經理局長ヨリ送付スル準備決定調表並當局ニ於テ準備手配ヲ爲スヘキ物品ノ數量使用時期及準備豫定倉庫ヲ査定シタル準備決定調表ヲ當該關係課所場長ニ送付スヘシ  
 第九條 課所場長ハ常ニ實際ノ所要ニ注意シ設計又ハ企畫ノ變更其ノ他ノ事由ニ依リ調表ノ數量、使用時期、使用場所又ハ現品引渡場所等ニ異動ヲ來シ準備計畫ニ影響ヲ及ホスヘシト認メタルトキハ遲滞ナク第二條乃至第四條ニ準シ經理課長ニ通知スヘシ  
 經理課長ハ前項通知ニ依リ第六條及第八條ニ準シ其ノ手續ヲ爲スヘシ  
 第十條 新ナル企畫若ハ豫定外ノ必要ニ依リ準備ヲ要スヘキ物品ハ其ノ時々準備調表ヲ作成シ第二條乃至第五條ノ手續ヲ爲スヘシ  
 第十一條 所場長ヨリ主管課長ニ提出スル準備調表ハ左記ノ區分ニ依リ作成送付スヘシ  
 一 保存及補充並電力工事用品(電氣用品ヲ除ク)ハ前年度九月十五日迄ニ

〔中管〕

但シ右ニ依リ難キモノハ左記ノ區分ニ從ヒ計畫決定後調表ヲ送付スヘシ  
 橋桁ハ所要時期前九ヶ月半以上  
 其ノ他ハ所要時期前六ヶ月半以上  
 外國ニ注文ヲ要スルモノハ所要時期前九ヶ月半以上  
 二 保存工事用電氣用品ハ前年度十一月十五日迄ニ  
 補充工事用電氣用品ハ所要時期四ヶ月半以前ニ  
 三 車輛修繕用品並工場用品中第一條第二號イ乃至ヘニ掲クルモノハ毎半年ノ所要數量(※印ヲ附シタルモノハ每一ケ年ノ所要數量)ヲ同號所定ノイロハ順ニ從ヒ毎月一種別宛使用開始期八ヶ月半以前ニ(後半期所要數量調表ニハ※印ノモノヲ除ク)同號トニ掲クルモノハ前年度九月十五日迄ニ  
 四 運輸用品中工作用ノモノハ前年度九月十五日迄ニ  
 第十二條 工務課長及工作課長ハ前條送付期限後十五日以内ニ於テ所場長ヨリ提出スル準備調表ヲ審査シ自己ノ作製スル準備調表ト同時ニ之ヲ經理課長ニ送付スヘシ

〔中管〕

本手續施行ニ要スル調表類ノ様式左ノ通定ム

品名	品目形狀寸法	使用場所	數量	年度(自大正 年 月 日 至大正 年 月 日)		所要數量(前半年)高	所要數量(後半年)高	準備ヲ要スヘキ見込高	用途	決定高	使用時期	記事
				年 月 日	年 月 日							
				大正	年度(自大正 年 月 日 至大正 年 月 日)							

備考 1. 本表ハ保存補充工事用品、電力工事用品、車輛修繕及工場用品、運輸用品、事務用品等各別ニ調製スヘシ  
 第七編 經理 第二章 物品會計 七十七

2. 補充工事用品ニハ前年度使用高ノ記入ヲ要セス
3. 本表ハ一品毎ニ(車輛修繕及工場用品ハ品實形状寸法ヲ異ニスル毎ニ)別表トシテ工務課長ニ於テ作製スルモノニ限リ各使用場所別ニ列記スヘシ
4. 品名ノ種ヲ物品數表稱呼儘ニ依ルヘシ
5. 前年度(又ハ前々々年間)使用高ハ未嘗ニス
6. 所要數ニシテ前年度(又ハ前々々年間)ニ比シ著ク増減スルモノハ記事欄ニ其ノ事由ヲ説明スヘシ
7. 常時運轉シテ均等ノ使用ヲ爲スモノハ使用時期ヲ記載スルヲ要セス
8. 所要數ニ充當シ得ヘキ物品ノ見込高ニ對シテハ記事欄ニ貯藏品、決算品、再用品、不用品等(代用品ハ品實形状寸法ヲ記入)ノ別、現品所在箇所ヲ記入スヘシ
9. 金物類ノ數ニ總テ員數ヲ左位ニ、重量ヲ右位ニ併記スヘシ但シ員數ニ依リ準備スルモノトス
10. 用途欄ニハ可成詳細ニ記入シテ機關車用ノモノニテハ機關車ノ形式ヲ併記スヘシ
11. 定規以外ノ設計ニ係ル物品ニ在リテハ圖面八通ヲ添付スヘシ

大正 年度(自大正 年 月 半々年)(何々)準備決定調表

品名	品實形状寸法	使用場所	數量稱呼	査定所要量	準備額			記事
					充當品	購入品	未品	
					數量	納入	數量	

- 備考
1. 本表ニ保存補充工事用品、電力工事用品、車輛修繕及工場用品、運輸用品、事務用品等各別級トスヘシ
  2. 保存及補充工事用品、車輛修繕及工場用品運輸用品等各品使用場所別ニ區分連記スヘシ
  3. 使用場所ハ保險、運輸、電力各事務所各工場名ヲ記載スルモノトス
  4. 充當品ニ對シテハ記事欄ニ貯藏品、決算品、再用品、不用品等(代用品ハ品實形状寸法ヲ記入)ノ別現品所在箇所ヲ記入スヘシ

○横濱支倉庫宛發送スヘキ物品ハ高島驛ニ宛テ託送スヘキニ就テ

横濱支倉庫宛發送スヘキ物品中東横濱驛ニ宛テ託送ノ向有之其ノ都度轉送ヲ要シ當該驛ニ於テ手數ナルノミナラス貨車使用上時間ナ多カラシメ不經濟ニ付同倉庫宛ノ物品ハ高島驛宛ニ託送スヘシ

○物品請求手續

物品請求手續左ノ通定ム

物品請求手續

- 第一條 本手續ニ依リ取扱フヘキ物品ハ大正四年一月中旬迄甲第二五八號物品費豫算決算整理手續第一條ノ支辨科目並用品費(諸費)支辨ニ屬スルモノトス
- 第二條 物品請求券ノ常用物品取扱手續其ノ他特ニ規定アルモノヲ除クノ外總テ課、所、驛、庫、所、區ノ長主任又ハ車掌監督之ヲ作製シ經理課長ニ提出スヘシ
- 第三條 左記科目支辨ニ屬スル物品ノ請求ハ一箇月間ノ所要高ヲ見積リ使用月ノ前々月二十五日迄ニ之ヲ爲スヘシ

- 資本勘定所屬
- 建設費—總保費(諸費)。改良費—線路建造物費(諸費)。改良費—電氣費(諸費)。用品及工作費—用品費(諸費)
- 第四條 供用品ノ新設増備請求ヲ爲ストキハ其ノ理由書ヲ添付シ主管事務所ヲ經由スヘシ但シ簡單ナル理由ハ物品請求券乙片ニ附記スルコトヲ得
  - 第五條 供用品ノ補充請求ヲ爲ストキハ物品請求券乙片記事欄ニ亡失又ハ毀損報告書ノ番號ヲ記入スヘシ但シ補充品ノ到着ヲ待テ毀損ノ手續ヲ要スルモノハ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第六條 傳染病ノ發生、電燈ノ故障、軍事輸送及天災事變等ニ際シテ急施ヲ要スル場合普通手續ニ依リ物品ノ配給ヲ受クル違ナキトキハ第二條ノ請求券作製者ニ於テ直接所要物品ノ購入ヲ爲スコトヲ得

第七條 前條ニ依リテ購入シタル物品ノ關係書類(物品請求券代金見積書納品書代金請求書)ハ左記主管箇所ニ送付スヘシ

新橋事務所々管 經理課調度掛 靜岡事務所々管 主管事務所 甲府事務所々管  
主管事務所 名古屋事務所々管 名古屋支倉庫 金澤事務所々管 金澤支倉庫

第八條 物品ノ修理請求ヲ爲ストキハ加修スヘキ部分ヲ詳記シ尙改造ヲ要スル場合ニハ收支年月日收支番號單價等ヲ記入シ前條主管箇所ニ送付スヘシ

但シ改造物品領收書ハ主管物品會計官吏ヲ經由返戻スヘシ

第九條 各課、新橋、靜岡、甲府事務所々管ノ時計類(電氣時計ヲ除ク)及名古屋、金澤事務所々管ノ袖時計類ノ修理請求ハ經理課(倉庫掛宛)ニ之ヲ爲スヘシ

第十條 工場ニ於テ加修スヘキ物品ハ左ノ通トシ工場物品及修繕品送狀添付所所屬工場ニ送付スヘシ

一 運輸費所屬 屋根燈  
二 汽車費所屬 スリスロウポンプ、ウオシントンポンプ、石油發動機  
三 經理課長ニ於テ工場修繕ヲ便利ト認ムルモノ

第十一條 工場ニ修繕ノ請求ヲ爲シタル物品ハ一ヶ月分ヲ取纏メ其ノ品名員數ヲ翌月三日迄ニ經理課調度掛ニ報告スヘシ

第十二條 地方ニ於テ修繕不能又ハ不利益ト認ムル物品ハ經理課調度掛ニ送付スヘシ

第十三條 物品購入權限アル事務所長ハ物品請求券ヲ整理シ又經理課長ヨリ回付ヲ受ケタル物品請求券ニ對シ其ノ購入及修繕ノ手續ヲ爲スヘシ

第十四條 本達ハ大正四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔中管〕

第十五條 大正四年四月十五日東達甲第一八九號及從來ノ諸達類ニシテ本手續ト重複若ハ牴觸スルモノハ之ヲ廢止ス

〔中管〕

○物品請求券ニ記載スヘキ品名及科目ニ就テ

(明治四十三年五月二十三日) 局報注意

各課所ニテ物品請求券發行ノ際該券ニ記載スヘキ品名ハ倉庫物品並數量稱呼鑑ニ據ルヘキ管ノ處往々其ノ名稱ニ當テ辨マラサルモノアリ爲ニ整理上支障不尠候ニ付今後ハ必ス該名稱鑑ニ相當スヘキ品名並品實形狀寸法等詳細ニ記載スヘシ又科目等ノ相違モ多數アルニ依リ特ニ注意ヲ要ス

○物品請求券其ノ他科目記載方省略ニ就テ

(大正元年十二月十一日) 局報注意

爾今物品請求券科目欄ノ記載ハ日以下ニ止メ(建設費總保費ニ限リ項ノ記載ヲ要ス)款及項ハ記載方省略差支ナシ物品事務ニ關スル各種ノ報告調表並其ノ他ノ書類ニシテ科目ノ記載ヲ要スルモノニ在リテモ亦前項ニ同シ

○物品請求券ニ見本品添付方

(大正三年三月二十日) 東達第五〇號

物品請求券ニ見本品添付方ニ就キ明治四十年十一月二十七日公報注意ノ次第モ有之候ヘ共近來見本品圖面及修繕品等ニシテ往々各別ニ到著シ或ハ木札ノ附著セサルモノ又ハ脱落ノモノ有之爲不尠手數ト日子トヲ要シ候ニ付爾今尙一層左記ノ條項ニ注意スヘシ

記

- 一 見本品ニハ必ス品名請求號及發送元ノ明記シアル木札又ハ紙札ヲ脱落セサル様ニ付スル事
- 一 金物ノ見本品ニハ木札ヲ針金ニテ嚴重ニ付スル事
- 一 請求券ト見本品ト別途(嵩高品)ニ送付ノ已ムヲ得サル場合ハ東京倉庫命令宛ニ發送ノ事
- 一 見本品ハ總テ破レ易キ西洋紙狀袋ニ入ルル事ハ嚴禁ノ事
- 一 修繕品ハ同上ノ如ク尙修繕品ト明記ノ上届先ハ從來ノ通取扱ノ事

○物品請求券丙片ニ請求年月日附記ニ就テ

(大正四年八月二十日) (局報注意)

○物品請求券番號冠記號制定ノ件

(大正六年三月三十一日) (中管經第五八〇號通牒)

自今物品請求券丙片領收者名ノ下ニ請求年月日ヲ附記スヘシ  
 大正四年九月中達甲第二五七號物品請求手續第二條ニ依リ作製スヘキ物品請求券番號ニハ大正六年度ヨリ左ノ冠記號ヲ附シ一ヶ年度ヲ通シ一貫番號ヲ以テ取扱相成度  
 一 各箇所ニ於テ請求券作製ノ場合

所名	冠記號	所名	冠記號
各 東京市内營業所 橫濱同 名古屋同 東京車掌監督 濱松同 新宿同 甲府同 名古屋同 金澤同 東京檢車所 新宿同 沼津同 名古屋同 米原同	冠記號ヲ附セサル事	各 品川電車庫 東神奈川同 新宿同 東京列車電燈所 甲府同 靜岡同 名古屋同 金澤同 大井治療所 濱松同 四日市同 金澤同	冠記號ヲ附セサル事
市內營業所 車掌監督 檢車所	冠記號ヲ附セサル事	電車庫 列車電燈所 治療所	冠記號ヲ附セサル事
東京機關庫 品川同 高島同 國府津同 山北同 飯田町同 沼津同 靜岡同 濱松同 名古屋同 米原同 中津川同 八王寺同 甲府同	冠記號	上諏訪同 松本同 木曾福島同 敦賀同 福井同 金澤同 富山同 糸魚川同 本倉庫 橫濱支倉庫 江尻同 名古屋同 金澤同 印刷所	冠記號
東 品 高 國 山 飯 沼 靜 濱 名 米 中 八 甲	冠記號	東 品 高 國 山 飯 沼 靜 濱 名 米 中 八 甲	冠記號

(中管)

(中管)

所名	冠記號	所名	冠記號
新橋運輸事務所 甲府運輸事務所 靜岡同 名古屋同 金澤同	冠記號	新橋電力事務所 品川電力區 甲府電力區 靜岡同 名古屋同 金澤同	冠記號
運輸費 汽車費 總係費 保存費 電氣費	冠記號	運輸費 汽車費 總係費 保存費 電氣費	冠記號
新橋 甲府 靜岡 名古屋 金澤	冠記號	品川 甲府 靜岡 名古屋 金澤	冠記號
東 品 高 國 山 飯 沼 靜 濱 名 米 中 八 甲	冠記號	東 品 高 國 山 飯 沼 靜 濱 名 米 中 八 甲	冠記號





○常用品取扱手續

(大正四年十二月二十八日)

局一般

改正 大正五年六月六日 中達甲第三九三號

中達甲第四四六號

第一條 本手續ニ常用品トハ物品請求手續(大正四年十月中達甲第二五七號)ニ依リ取扱フ物品ニシテ當時使用スルモノヲ云フ

第二條 常用品ハ之ヲ分チテ左ノ三種トシ其ノ品名ヲ使用箇所毎ニ別表常用品豫算並月割配給表(第一號様式)ノ通り定ム

第一種品 豫定月割表ニ依リ毎月配給スルモノ

第二種品 豫定月割表ニ依リ隔月配給スルモノ

第三種品 使用箇所ノ請求ヲ俟ツテ配給スルモノ

第三條 常用品ハ經理課長ニ於テ使用箇所別ニ一箇年ノ所要數量豫算ヲ編成シ翌年度分ヲ前年度一月十五日迄ニ各課及主管課所(主管課所トハ驛、機關車、保線區等ニ於テハ其ノ所屬事務所又ハ本局直轄ノ箇所ニ在リテハ其ノ所屬課ヲ云フ以下同シ)ニ通告スヘシ

第四條 各課及各主管課所ハ前條豫算ニ對シ意見ヲ附シテ一月末日迄ニ經理課長ニ送付スヘシ

第五條 經理課長ハ前條豫算ヲ審査シ關係各課合議ノ上局長ノ決裁ヲ經ヘシ

第六條 前條決定豫算ハ第一種品及第二種品ニ在リテハ其ノ月割配給數量ヲ定メ第三種品ハ其ノ豫算額ヲ記入シ每半期分常用品豫算並月割配給表ヲ調製シ上半期分ハ三月末日下半年期分ハ九月末日限リ各主管課所經由各使用箇所ニ配付スヘシ

第七條 各使用箇所ハ毎年十二月末日現在ニ依リ第一種品及第二種品ノ翌年度ニ繰越スヘキ見込數量ヲ調査シ一月十五日限リ之ヲ經理課長ニ報告スヘシ

第八條 作業狀態ノ變更又ハ其ノ他ノ事由ニ因リ決定豫算ノ増減又ハ月割配給數量ニ變更ヲ要スル場合ハ左記各號ニ依ルヘシ

- 一 各使用箇所ニ於テ決定豫算額ニ不足又ハ剩餘ヲ生スルモノト認ムル場合又ハ月額配給數量ニ變更ヲ要スルトキハ配給ノ前月三日迄ニ別紙様式(第二號ノ乙丙共)ニ依リ其ノ豫算額又ハ配給數量ノ變更ヲ經理

(中管)

課長ニ申請スヘシ

二 經理課長ハ決定豫算ノ増額ノ申出ヲ審査シ局長ノ決裁ヲ受クヘシ

三 前二章ニ依リ決定豫算額又ハ月割配給數量ニ變更ヲ生シタルトキハ經理課長ハ更正承認通知書(第二號ノ乙様式)ヲ以テ其ノ箇所ニ通知スヘシ

第九條 甲箇所ニ過剩ヲ生シ乙箇所ニ不足スル物品アルトキハ經理課長ハ保管轉換命令(第三號様式)ヲ發行シ直接轉換セシム

第十條 各使用箇所ニ於テ前二條ノ更正承認通知、轉換命令又ハ臨時配給ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク月割配給表ヲ訂正シ轉入ノ場合ハ受欄ニ轉出ノ場合ハ拂欄ニ朱書スヘシ

第十一條 常用品ニシテ緊急已ムヲ得サル事由ニ由リ次回ノ配給期日迄支持シ能ハサルトキ(配給月ノ前月三日迄ニ申請シ難キ場合)ハ其ノ所要數量ニ限リ直接物品請求券ヲ提出スヘシ前項ノ場合ニ於テハ其ノ記事欄ニ事由ヲ詳記シ尙決定豫算ノ範圍ヲ超ヘタルトキハ第八條ノ手續ヲ爲スヘシ

第十二條 第一種品及第二種品ハ請求ヲ俟タズ既定月割表通配給シ第三種品ハ必要ニ應シ決定豫算ノ範圍内ニ於テ物品請求券ヲ以テ左ノ期日ニ請求スヘシ

四月十五日 六月十五日 八月十五日 十月十五日 十二月十五日 二月十五日

但シ驛、機關庫、檢車所ニ在リテハ別紙様式(第四號)ヲ以テスルコトヲ要ス

第十三條 常用品ハ(第十四條ノ物品ヲ除ク)物品受拂簿ノ記帳ヲ省略シ毎月末日現在高ヲ取調ヘ常用品豫算並月割配給表相當欄ニ毎月ノ受拂及殘高ヲ記入スヘシ但シ必要ノ場合ニ於テハ現品ニ受拂出納票ヲ附シテ整理スルコトヲ得

收入印紙通信切手類(電車切符ヲ含ム)ハ通信切手受拂簿ニ之カ受拂ヲ記帳シ備考欄ニ其ノ用途ヲ明記スヘシ

薪炭油其ノ他ノ特種品(月割配給表ノ種別欄ニ特字ヲ附シタルモノ)ハ補助簿ヲ以テ受拂ヲ整理スヘシ

第十四條 機關庫、檢車所、電車庫ニ於テハ左記物品ニ限リ受拂簿ニ登記シ受拂月報(第五號様式)ヲ調製シ毎月五日迄ニ經理課長ニ提出スヘシ

石炭、原油、石油滓、各種油類、獸脂、糸屑代用品各種木炭、松薪及代用品、石炭炭、棕枳皮、糸燈心、砂、電燈球、革管、帆布綿管、カーバイト、シヨベル  
 前章ノ物品ニ對シテハ月割配給數量ノ取消又ハ變更ノ申請ヲ爲スヲ要セス  
 第十五條 各箇所ニ於テハ三月末日及九月末日現在ニ於テ毎半期受拂及殘高報告ヲ別紙様式(第六號)ニ依リ四月十日及十月十日迄ニ經理課長ニ提出スヘシ  
 第十六條 配給車ヲ以テ常用品ヲ配給スルトキハ左記各號ニ依ルヘシ  
 一 薪炭油類ハ毎月、帳表及用紙類ハ偶數月其ノ他ノ雜品類ハ奇數月ニ定期配給ス但シ石炭其ノ他特種ノ物品ハ別途隨時給ス  
 二 使用箇所ハ豫メ配付シアル常用品豫算並月割表ニ依リ配給車乗務員ト立會物品ヲ授受シ常用品配給領收表(第七及第八號様式)ニ領收捺印スヘシ  
 三 配給車ノ運行又ハ停車セサル箇所ノ配給物品ハ最寄驛長之ヲ代理領收スヘシ  
 四 配給車ノ運行配給區域及期日ハ別途局報ニ掲載スヘシ  
 第十七條 常用品以外ノ拂切品ノ配給ヲ受ケタルトキハ常用品豫算並月割配給表餘白ニ記入シ常用品同様取扱フヘシ

附 則

第十八條 本手續ハ大正五年度ヨリ之ヲ實施ス  
 第十九條 明治四十二年四月西管庶第五〇五號(物品支給廢止ノ件)明治四十三年十二月西管達第二五六七號(驛所常用物品豫算調製並請求及購入手續)明治四十三年十二月西管達第二六七〇號(驛所物品受拂簿取扱手續)大正三年三月東達第四五五號(通信切手類及電車切符受拂記帳方)大正三年十二月東達甲第一六五號(常用物品取扱手續)ハ之ヲ廢止ス  
 第二十條 本手續ニ關スル別表及様式ハ關係ノ向ヘ配給ス

【中略】

【中略】

○常用品取扱手續ニ對スル別表及様式 (大正五年一月十四日)

(局報注) 局報注

客年十二月二十八日局報號外中途第四四六號常用品取扱手續改正ニ關スル別表及様式左ノ通

別 表

第一號表様式

常用品豫算並月割配給表

種 別	記 號	品 名	稱 呼	單 價	決 算 見 込 高 越 高	配 給 月 別												上 遣 半 期 高	備 考
						四 月	五 月	六 月	七 月	八 月	九 月	遺 拂 及 殘 高			上 遣 半 期 高				
						遺 拂	遺 拂	遺 拂	及	及	及	殘 高	殘 高	殘 高					

第二號様式

(甲)

大正 年度常用品豫算及月割配給更正申請書原票

大正 年 月 日

中管 經理 課長

長、主任

No.

科 目	目 節	記 號	品 名	稱 呼	摘 要	決 定 豫 算 高	配 給						記 事	
							月	月	月	月	月	月		
					月割表高 更正高									
					月割表高 更正高									

此欄四行

備考 (1) 記事欄ニハ決定豫算額ノ増減又ハ月割數量ノ變更ヲ要スル理由ヲ記入スヘシ但炭油類ノ如キ重要品ニハ算出ノ基

礎ヲ附記スヘシ

(2) 二點以上申請ノ場合ハ常用物品豫算並月割表ノ品名順ニ據リ記入スヘシ

(3) 本書ハ配給月ノ前月三日以前ニ提出スヘシ

(4) 繰越品ヲ以テ充當セズ現品配給ノ要ナキモノハ其區記事欄ニ記入スヘシ

【印】

【印】

第二號様式

(乙)

大正 年度常用品豫算及月割配給更正承認通知書

大正 年 月 日

中管 經理 課長

長、主任

No.

科 目	目 節	記 號	品 名	稱 呼	摘 要	決 定 豫 算 高	配 給						記 事	
							月	月	月	月	月	月		
					月割表高 更正高									
					月割表高 更正高									

此欄四行

上肥ノ通承認候也

大正 年 月 日

經理 課長 印